

令和 6 年度教科用図書第二採択地区調査委員会 報告書

令和 7 年度使用 中学校 種目 国語

提出書類	別添	様式 1 (1) 枚
		様式 2 (4) 枚
		様式 3 (2) 枚

【様式 1】

中学校 種目 国語 令和7年度使用教科用図書調査研究観点 第二採択地区

項目	観 点		観点の内容
1 観 点	A 知識 及び 技能	①言葉の特徴や使い方に関する教材・学習活動が工夫されているか。	・言葉の働きや語感を磨き語彙を豊かにする教材・学習活動であるか。
		②情報の扱い方に関する教材・学習活動が工夫されているか。	・情報を整理し、実践的に知識・技能を習得できる教材・学習活動であるか。
		③我が国の言語文化（古典、言葉の由来等）に関する教材・学習活動が工夫されているか。	・我が国の言語文化に関する関心や理解を深めるのに役立つ教材・学習活動であるか。
	B 思考力・ 表現力等	④話すこと・聞くことの力を高めることのできる教材・学習活動が工夫されているか。	・話したり聞いたりする活動や話し合う活動を取り上げ、「話すこと・聞くこと」の学習過程が明確に提示されているか。
		⑤書くことの力を高めることのできる教材・学習活動が工夫されているか。	・様々な文章を書く活動を取り上げ、「書くこと」の学習過程が明確に提示されているか。
		⑥読むことの力を高めることのできる教材・学習活動が工夫されているか。	・説明的な文章、文学的な文章、本などから情報を得て活用する活動を取り上げ、「読むこと」の学習過程が明確に提示されているか。
	C 学びに 向かう 力・人間性 等	⑦学習指導要領に記載してある様々な言語活動について工夫されているか。	・学習指導要領に記載してある様々な言語活動について具体例を挙げて学習過程が明確に提示されているか。
		⑧日常生活における読書を活性化させる教材・学習活動が工夫されているか。	・進んで読書をし、自分の考えを広げたり深めたりして人生を豊かにしたりする教材・学習活動であるか。
2 か資 料 わ・ る学 構 習 成 指 導 に		⑨教材・資料の構成等（デジタル教材含む）について	・写真・挿絵・図表の配置は適切であるか。 ・文字のフォント（字体・色・大きさ等）はユニバーサルデザインの視点から適切な配慮がなされたものになっているか。 ・教材の分量およびバランスは適切で、生徒の実態や発達段階に応じた系統的・発展的な学びができるよう工夫されているか。 ・教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできるデジタル教材について、教科書の内容と適切に関連付けられているか。
3 地第 区二 観採 点択		⑩「多様性の尊重」、「人権尊重」、「世界平和」、「いじめ」「環境」等の現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているか	・生徒が生きる社会を取り巻く現代的な諸課題について取り上げられているか。 ・視野を広くもち、現代的な諸課題に対して主体的に取り組むことのできる内容になっているか。

【様式 2】

中学校 種目 国語

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 1

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	東京書籍 新編 新しい国語	評価
1	・「読むこと」の学習に関連して、教材の欄外に文章中から語句を取り上げて示したり、「広がる言葉」というスペースを設けて語彙を活用する場面を設けたりすることで、語彙を豊かにする工夫がされている。また「日本語探検」では、ストーリー仕立てになっていることで興味を引くものとなっている。 ・「文法の窓」の説明が少なく、巻末の説明のみで練習問題がなく、定着が難しい。文法巻末の活用表が細かく、一年生では掲載されていない。	B
2	・「情報の扱い方に関する事項」を論理的な考え方と関連付けて取り上げた「情報と論理の学び」が、「話すこと・聞くこと」や「書くこと」、「読むこと」に関する教材の前後に各学年配置されている。「読むこと」の学習を通して身に付けた力をさらに深めたり、次の「書くこと」の学びに生かしたりすることができるように構成されている。	A
3	・古典教材において資料が豊富で現代語訳が全文掲載されている。 ・「平家物語」「枕草子」「徒然草」→「漢詩」というように古典教材がひとまとまりに続いているため、生徒の興味を継続し続けることが難しい。	B
4	・各単元のテーマに沿って、「読むこと」と「話すこと・聞くこと」や「書くこと」を関連付けて学ぶことができるように教材が配置され、領域間のつながりが明確である。一方で他教科との関連性がイメージしづらい。また、「話す・聞く」領域の教材が少ない。 ・学習を支える基礎力を鍛える「学びを支える言葉の力」が用意されている。 ・「読むこと」の文種や文章構成、文章量は発達段階に適したものである。 ・単元の目標が教材文の後ろに来るので見通しが持ちづらい。資料の提示も中学生にとってわかりづらいものがある。振り返りの設定が同じ様式である。	B
5		
6		
7	・言語活動の各過程の具体例や完成作品例、対話の例が豊富で、支援を必要とする生徒にとっては参考、模倣という点で有効的である。しかし説明や討論に関して、不十分さを感じる。 ・1つの観点で身につけた言語力を他観点に生かし、確実に定着させる仕組みにしているが、紙面上の情報の読み方（順番）がわかりづらい。	B
8	・「ポップ作成」「ビブリオバトル」等が紹介されているが活動の種類は少ない。 ・各学年5か所に図書紹介のコーナーを設け、3学年で422冊が紹介されている。本の一部分を掲載したり、生徒が興味をもつように紹介文の表現を工夫したりすることで、読書への関心が高まるような内容となっている。	B
9	・本文は行ごとに点と数字が付されており、行数の示し方は分かりやすい。色の違いで区別する場合はマークや文字情報を加え、色以外の要素でも区別できるよう配慮されている。	A
10	・「未来を考えるための9つのテーマ」を設定し、自分や社会の未来について主体的に考えられるように工夫されているが、SDGsについては、具体的にのどの目標と関連しているかがわかりづらい。各学年末には、特定のテーマについて多角的な視点から考える教材「未来への扉」が設けられ、現代社会の課題と向き合えるようになっている。 ・教科書に登場する4人の生徒のキャラクターは様々なルーツやジェンダーレス制服、左利き等実際の教室を想定して描かれているが、特別支援への配慮はない。	B

【様式 2】

中学校 種目 国語

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 2

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	三省堂 現代の国語	評価
①	・「語彙を豊かに」では、教材の学習に関連付けながら、多様な語句を身につけられるようになっている。一方「言葉発見」では説明の文章が長い。 ・文法の導入部分の説明が乏しい。巻末の説明は適切で練習問題もあり、学びの定着が図れるものとなっている。また、漢字の仕組みがわかりやすくまとめられている。	B
②	・グラフや図表等の情報と文章とを関連付けながら、自分の考えを深める「情報の扱い方」に関する単元が各学年に設けられている。また資料編に「著作権と引用」や「辞書を活用する」などの内容を掲載し、3学年にわたって資料を収集・整理・活用する力が身に付けられるようになっている。	A
③	・古典の資料が豊富で、古文の現代語訳が色分けされていてわかりやすい。ただ、現代語訳がすべてあるものと注釈のみのものがあり、苦手な生徒には難しい。	A
④	・「話す・聞く」「書く」の単元が前の単元の学習内容に関連した学習設定がされている。読みもの教材学習を活かして発展的に「話す・聞く」「書く」に取り組める。 ・「話すこと・聞くこと」の教材では、学習内容を項目別に系列づけ、他者と関わり合いながらコミュニケーション能力のこつを身に付けられるよう工夫されている。 ・「書くこと」の手順が丁寧に示されている。「語彙を豊かに」というコラムに具体例が示されており、例はQRコードから参照できる。	A
⑤	・「考えを深める」学習の中にはほぼ毎回意見交流を取り入れている。 ・学んだことを生活や次の学習に「生かそう」とする具体的な記述がある。振り返りの形がパターン化されており、書くこと（まとめる）ばかりになっている。 ・「読み方を学ぼう」では、課題を解決する力を高め、表現活動などの主体的な学習につながる内容となっている。各学年最初の説明的な文章の学習の前には、学年に応じたプレ教材が配置され、文章を正確に読み解くための工夫がされている。	
⑥	・教材の難易度が高めで「トロッコ」「少年の日の思い出」等、似た作品が続く。	
⑦	・学習指導要領に示された議論・討論・解説・報道など多くの活動において活動例が不足している。手順や思考の過程を示す工夫はあるが活動例に偏りがある。 ・創作活動においては自らの関心や発想を生かせるよう多くの選択肢を提示する工夫が見られる。	B
⑧	・「私の読書体験」や「読書活動」で、著名人の語る読書体験から読書の意義や効果について理解を深めたり、ビブリオバトルやブックトーク等の活動を通して読書に親しむ習慣を形成したりできるようになっている。 ・「読書の広場」として巻末にまとめて読書教材が配置されている。 ・紹介されている本の冊数は283冊（デジタルテキスト含む）	A
⑨	・挿絵・図版が適所に配置され、生徒の学習意欲を喚起し、内容の理解を支えるものとなっている。本文は行ごとに数字が付されている。見開きで情報が完結するように配置されている。色による区別に加えて形の違いや記号・番号・説明文などの補助的な手掛かりを設けている。 ・思考の方法（思考ツール）が丁寧に説明されており、わかりやすい。	A
⑩	・現代的な諸課題に対応した教材が配置されているが、SDGsとの関連について述べられているページや資料がない。 ・教科書に登場する生徒のキャラクターは男女バランスに配慮してあるものの、様々な背景をもつ生徒は描かず、〇〇レンジャーのようなキャラクターを多用している。	B

【様式 2】

中学校 種目 国語

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 3

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	教育出版 伝え合う言葉 中学国語	評価
①	- 文法や言語学習の導入として用いる「文法(言葉)の小窓」が、文章による説明が多く、図やイラストがほとんどない。また、巻末の説明の箇所についても同様である。「漢字の広場」でも文章による説明が多く、視覚的資料が乏しい。 - 練習問題が少なく、実践的に考える機会が少ない。	B
②	- 情報を扱う単元と、「書く」「話す・聞く」等の他の言語活動とが関連付けられており、学びを深めるものとなっている。 2年生における SNS を題材にした教材が興味を持って取り組める内容になっている。	A
③	- 古典の資料がやや少ない。古文の現代語訳の記載が一部しかなく、苦手な生徒には難しい。教材によっては現代語訳が色分けされていることで視覚的に理解を深めやすい工夫がされている。 2年生における古典分野を取り扱う順序が、「平家物語」→「枕草子」「徒然草」とひとまとまりになっているため、単元のまとまりがわかりやすい。	B
④	「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材では、他者の表現を受容するとともに自分の表現力を高められる構成となっている。 「読むこと」の教材では、学習の手引きとなる「みちしるべ」が設けられ、生徒が自分の力で読みを深め、考えを他者と伝え合う学びができるよう工夫されている。学習活動の流れと重点となる指導事項のつながりが明確に示されていることで、見通しを持って学ぶことができ、汎用的な読む力を形成することができる構成となっている。 「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、学習の見通しと重点、言語活動を示しているが、文字での情報量が多く、活用しづらい。 「学びナビ」が設定され、解説や図解で活動内容の視覚化・明確化を図っているものの説明が難解で、生徒が主体的に学習することが難しい。 - 教材文の要旨や趣旨がわかりづらいものがある。「読む」という観点で授業を行う際に扱いづらい教材がある。	B
⑤		
⑥		
⑦	- 学習指導要領に示された言語活動例の中の報告・報道の活動例が不十分である。 - 情報の扱い方や活用についての考えを深められる内容であるため、身近な媒体の活用を通して、学びに向かう力を引き出し、涵養できると考えられる。	B
⑧	- 読書活動として「ポップ作成」「ビブリオバトル」等が紹介されているが、種類は少ない。 - 各学年に「読書への招待」という情報の扱い方や学校図書館の活用と関連付けで学習できる教材が掲載されており、読書の幅を広げるとともに学びを深められるようになっている。紹介冊数334冊。	B
⑨	- 本文は行ごとに点と数字が付されており、行が数えやすくなっている。資料において、単色で扱う色調は色覚の特性による見え方の少ない青色ではあるが、色調が明るすぎる。色以外の判別を狙った数字の記載は情報量をかえって多く感じさせる。見開きに複数の字体が混在しすぎていて見づらい。ページによって、写真やイラスト・図表活用の有無の差が大きい。 - 教材のはじめに「学びナビ」を設け、活動内容を示しているが、事前の情報量が多く、学びの楽しみが半減し、効果的でないと思われる。	B
⑩	- 生徒が課題を発見し、自ら考え、対話を通じて課題を解決できるような学習として、各学年に SDGs に関する教材が設定されている。 - 国籍・性別などによる偏りがなく、身体的な特徴の表現にも配慮されており、多様な生徒の姿が見られるよう配慮されている。	A

【様式 2】

中学校 種目 国語

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 4

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	光村図書出版 国語	評価
①	- 文法において説明とイラストのバランスがよい。漢字や言語に関する練習問題に解答スペースがある。 - 各学年の巻末にブックインブック形式の「語彙ブック」が置かれ、描写、言動、思考に関する語句が多数紹介されている。また、「語彙を豊かに」や「言の葉ポケット」「言葉を味わう」などでも、主体的に語彙を増やし、語感を磨く方法が系統的に学べるようになっている。	A
②	情報の扱い方のページと他の言語活動の内容を分けてまとめている。説明の下に練習問題が設けられているので、すぐに実践的に考えやすい。	A
③	2年生において「枕草子」と「平家物語」「徒然草」等古典分野の配置が分かれている。資料として登場人物や全体像を解説するコラム、絵巻や地図が掲載されている。年表が良い。 - 古典の現代語訳が全文掲載されている。本文（原文）の横に掲載されている単元と原文と現代語訳を分けて書いている単元があり、適宜扱える。	A
④	「話すこと・聞くこと」の領域では、テーマや例が中学生にとって取り組みやすい題材を取り上げて活動が設定され、目的意識をもって学習に取り組めるよう工夫されている。	A
⑤	「書くこと」の領域では、「書くことのミニレッスン」の練習問題を通して書き方の基礎・基本を確認した後に、学習活動に取り組めるよう構成されている。	
⑥	「学びの扉」が対話的に理解や考えを深める構成になっており、学習の過程をわかりやすく示している。振り返りも3観点に即したものとなっており具体的で学習しやすい。また言語能力を伸長するために学習を通して身につける資質・能力を「学びのカギ」で明示している。 「読むこと」の教材は、分量が適切であるとともに、共感しやすい内容となっている。読みもの教材の学習活動にも「話し合い」が多く取り入れられている。	
⑦	- 紹介・説明・提案・議論・案内・報告・創作・編集・論述・批評等、学習指導要領に示された言語活動例を概ね網羅している。 - 生徒の興味を引き、主体的に課題解決に取り組みたくなるような課題や発問の吟味は必要だが、課題解決能力を育む仕組みは評価できる。 - 日常の言語生活から題材を取り上げ、生きて働く言語力の育成を図っている。	A
⑧	「ポップ作成」「ブックトーク」「ブックレビュー」等、多様な読書活動が紹介され、国語科の学習が結びついている。 - 読書教材内の「本の世界を広げよう」や教材末の「広がる読書」などで、発達段階に合わせた多様なジャンルの図書が3学年で447冊紹介されている。	A
⑨	- 挿絵や写真・グラフは目的に応じて効果的に活用できるよう配置されている。 - 図表は色に頼らず線の種類や濃淡、地紋で判別できる。字詰め・行詰めは生徒の発達段階や可読性を考慮したものである。本文は行ごとに点と数字が付されており、行が数えやすくなっている。	A
⑩	- SDGsに代表される現代的な諸課題を題材として幅広く取り上げている。特に、SDGsについては、3年間の中で、17の全目標について関連した教材を学習できるように配置されている。また、全学年に情報活用能力を養いながら現代的な諸課題について、主体的に考えられる教材が配置されている。 - 写真やイラストには多様性や多文化共生を意識したさまざまな背景をもつ生徒が登場するよう配置されている。	A

【様式 3】

中学校 種目 国語

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 1

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	東京書籍 (東書)	・「読むこと」の学習に関連して、教材の欄外に文章中から語句を取り上げて示したり、「広がる言葉」というスペースを設けて語彙を活用する場面を設けたりすることで、語彙を豊かにする工夫がされている。また「日本語探検」では、ストーリー仕立てになっていることで興味を引くものとなっている。 ・「情報の扱い方に関する事項」を論理的な考え方と関連付けて取り上げた「情報と論理の学び」が、各領域に関する教材の前後に各学年配置されている。「読むこと」の学習を通して身に付けた力をさらに深めたり、次の「書くこと」の学びに生かしたりすることができるように構成されている。 ・各単元のテーマに沿って、「読むこと」と「話すこと・聞くこと」や「書くこと」を関連付けて学ぶことができるように教材が配置され、領域間のつながりが明確である。一方で他教科との関連性がイメージしづらい。また「話す・聞く」領域の教材が少ない。 ・単元の目標が教材文の後ろに来るので見通しが持ちづらい。資料の提示も中学生にとってわかりづらいものがある。振り返りの設定が同じ様式である。 ・言語活動の各過程の具体例や完成作品例、対話の例が豊富で、支援を必要とする生徒にとっては参考、模倣という点で有効的である。しかし説明や討論に関して、不十分さを感じる。 ・本文は行ごとに点と数字が付されており、行数の示し方は分かりやすい。色の違いで区別する場合はマークや文字情報を加え、色以外の要素でも区別できるよう配慮されている。
教科書の 記載番号	国語 002-72 002-82 002-92	
書名	新編 新しい国語	
発行者 (略称)	三省堂 (三省堂)	・「語彙を豊かに」では、教材の学習に関連付けながら、多様な語句を身につけられるようになっている。 ・グラフや図表等の情報と文章とを関連付けながら、自分の考えを深める「情報の扱い方」に関する単元が各学年に設けられている。また資料編に「著作権と引用」や「辞書を活用する」などの内容を掲載し、3学年にわたって資料を収集・整理・活用する力が身に付けられるようになっている。 ・古典の資料が豊富で、古文の現代語訳が色分けされていてわかりやすい。ただ、現代語訳がすべてあるものと注釈のみのものがあり、苦手な生徒には難しい。 ・「話す・聞く」「書く」の単元が前の単元の学習内容に関連した学習設定がされている。読みもの教材学習を活かして発展的に「話す・聞く」「書く」に取り組める。 ・「読み方を学ぼう」では、課題を解決する力を高め、表現活動などの主体的な学習につながる内容となっている。各学年最初の説明的な文章の学習の前には、学年に応じたプレ教材が配置され、文章を正確に読み解くための工夫がされている。 ・学習指導要領に示された議論・討論・解説・報道など多くの活動において活動例が不足している。手順や思考の過程を示す工夫はあるが活動例に偏りがある。 ・挿絵・図版が適所に配置され、生徒の学習意欲を喚起し、内容の理解を支えるものとなっている。本文は行ごとに数字が付されている。見開きで情報が完結するように配置されている。色による区別に加えて形の違いや記号・番号・説明文などの補助的な手掛かりを設けている。
教科書の 記載番号	国語 015-72 015-82 015-92	
書名	現代の国語	

【様式 3】

中学校 種目 国語

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 2

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	教育出版 (教出)	・ 文法や言語学習の導入として用いる「文法(言葉)の小窓」が、文章による説明が多く、図やイラストがほとんどない。また、巻末の説明の箇所についても同様である。 ・ 情報を扱う単元と、「書く」「話す・聞く」等の他の言語活動とが関連付けられており、学びを深めるものとなっている。 ・ 古典の資料がやや少ない。古文の現代語訳の記載が一部しかなく、苦手な生徒には難しい。教材によっては現代語訳が色分けされていることで視覚的に理解を深めやすい工夫がされている。 ・ 「読むこと」の教材では、学習の手引きとなる「みちしるべ」が設けられ、生徒が自分の力で読みを深め、考えを他者と伝え合う学びができるよう工夫されている。学習活動の流れと重点となる指導事項のつながりが明確に示されている。「学びナビ」が設定され、解説や図解で活動内容の視覚化・明確化を図っているものの説明が難解で、生徒が主体的に学習することが難しい。
教科書の 記載番号	国語 017-72 017-82 017-92	
書名	伝え合う言葉 中学国語	・ 「読む」という観点で授業を行う際に扱いづらい教材がある。 ・ 学習指導要領に示された言語活動例の中の報告・報道の活動例が不十分である。 ・ 本文は行ごとに点と数字が付されており、行が数えやすくなっている。資料において、単色で扱う色調は色覚の特性による見え方の少ない青色ではある。 ・ 国籍・性別などによる偏りがなく、身体的な特徴の表現にも配慮されており、多様な生徒の姿が見られるよう配慮されている。
発行者 (略称)	光村図書出版 (光村)	・ 各学年の巻末にブックインブック形式の「語彙ブック」が置かれ、描写、言動、思考に関する語句が多数紹介されている。また、「語彙を豊かに」や「言の葉ポケット」「言葉を味わう」などでも、主体的に語彙を増やし、語感を磨く方法が系統的に学べるようになっている。 ・ 情報の扱い方のページと他の言語活動の内容を分けてまとめている。説明の下に練習問題が設けられているので、すぐに実践的に考えやすい。
教科書の 記載番号	国語 038-72 038-82 038-92	
書名	国語	・ 「学びの扉」が対話的に理解や考えを深める構成になっており、学習の過程をわかりやすく示している。振り返りも3観点に即したものになっており具体的で学習しやすい。また言語能力を伸長するために学習を通して身につける資質・能力を「学びのカギ」で明示している。 ・ 紹介・説明・提案・議論・案内・報告・創作・編集・論述・批評等、学習指導要領に示された言語活動例を概ね網羅している。生徒の興味を引き、課題解決能力を育む仕組みは評価できる。 ・ 挿絵や写真・グラフは目的に応じて効果的に活用できるよう配置されている。図表は色に頼らず線の種類や濃淡、地紋で判別できる。字詰め・行詰めは生徒の発達段階や可読性を考慮したものである。本文は行ごとに点と数字が付されており、行が数えやすくなっている。 ・ 写真やイラストには多様性や多文化共生を意識したさまざまな背景をもつ生徒が登場するよう配置されている。

令和 6 年度教科用図書第二採択地区調査委員会 報告書

令和 7 年度使用 中学校 種目 書写

提出書類	別添	様式 1 (1) 枚
		様式 2 (4) 枚
		様式 3 (2) 枚

【様式 1】

中学校 種目 書写 令和7年度使用教科用図書調査研究観点 第二採択地区

項目	観 点	観点の内容
1 観 点	① 【A 知識及び技能】 基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるための教材・学習活動について	・字形、文字の大きさ、配列の例示など、書き方についての基礎、基本がわかりやすく示されているか。 ・楷書と行書や漢字とかなとの関連的な指導を工夫し、目的や必要に応じた書き方を判断したり効果的に文字を書いたりできるように示されているか。（基本的な筆脈、点画の形や方向、筆順等）
	② 【B 思考力・判断力・表現力】 ・硬筆による書写の能力の基礎を養うことを目的とした毛筆による書写の指導が効果的に行われるための教材・学習活動について	・硬筆及び毛筆を使用する書写の指導が各学年で効果的に行われるための手本が示されているか。 ・毛筆を使用する書写の指導により、硬筆による書写の能力の基礎が養えるように、手本から確認する事項や留意点、特徴等が示されているか。（実際に書く時の点画、筆順等の留意点）
	③ 【C 学びに向かう力・人間性等】 ・身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書こうとする書写の能力を育成するための教材・学習活動について	・書写の学習で身に付けた資質・能力を、各教科等の学習や生活の様々な場面で積極的に生かすように工夫されているか。 ・目的や必要に応じて効果的に書くなど、様々な場面の紹介がされているか。 (例) 手紙を書く、作品を作る、メモをする、ポスターやレポートにまとめる、新聞やリーフレットで発信する、掲示する等、日常生活に生かす。
2 資料・学習活動にかかわる構成等	④ 教材・資料の構成等（デジタル教材含む）について	・写真数、挿絵数、図表数、イラスト数、コラム数などについて配慮されているか。 ・図や写真のバランス、適切な文字の大きさおよびユニバーサルデザインの視点からの配慮がなされているか。 ・総ページ数（分量）、題材数、補充的・発展的な内容の扱い方およびページ数、重さ、大きさについて工夫・配慮がなされているか。 ・教科書に掲載されている二次元コードからアクセスできるデジタル教材について、教科書の内容とどのような関連があるか、理解を深める内容となっているか。
3 地区第二採択 観 点	⑤ 「多様性の尊重」、「人権尊重」、「世界平和」、「いじめ」「環境」等の現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているか	・「多様性の尊重」、「人権尊重」、「世界平和」、「いじめ」「環境」等の現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているか。

【様式 2】

中学校 種目 書写

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 1

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	東京書籍（東書） 新しい書写	評価
①	・学習の流れ「目標」→「見つけよう」→「確かめよう」→「生かそう」 ・「書写のかぎ」として学習のポイントが言葉でまとめられている。 ・「行書のまとめ」や学年ごとに「書写テストに挑戦！」を設け、学習の振り返りや身につけた知識・技能の定着と学力の向上を図ることができるよう工夫している。	A
②	・毛筆で学んだことを硬筆にも生かす意図で、「生かそう」の表示を付け、硬筆に生かす場が示されている。毛筆の授業の中で活用するためには工夫が必要となる。 ・巻末に「書写活用ブック」があり、さまざまな書式がわかりやすくまとめられており、活用しやすい。	B
③	・学年ごとに生活の中に生かす場面が例示されている。 ・コラム「文字といっしょに」において、我が国の伝統的な文字文化についての資料が示されている。	A
④	・本文書体は、手書き文字の字形に近づけた特別な明朝体を使用している。 ・UDフォントが紹介されている記事がある。また小さい文字には、UD書体が採用されている。 ・教科書はB5変型判を採用しており、半紙と同じ縦横比率（128%拡大で、原寸大）を実現している。そのため手本として集中して集中することができる。 ・国語教科書と連動した教材の掲載がある。 ・写真資料が非常に多く掲載されており、詰め込み過ぎかつ写真内の情報量が多すぎて学びにくい。色が濃く、配色が重い。 ・色の区別による説明は最小限に留め、用いる場合は見分けやすい配色に工夫されている。 ・原則として文節で改行され、読むことに困難を抱える生徒への配慮がなされている。 ・左利きの生徒に配慮した教科書紙面になっている。 ・「生活に広げよう」の中でイラストが多用されており、学習がイメージしやすい。 ・QRコードによる作品づくりの動画は筆圧や点画の配置等音声でも解説されており、生徒が自ら取り組めるようなものとなっている。	B
⑤	・地域の防災訓練といった災害に関するテーマを取り上げ、日常生活に即して考えさせる学習を展開している。また教科書全体を通して、SDGsに関係するものには、目標の数字が記載されている。 ・バリアフリーを取り上げたポスター、フリップが見られ、人権尊重、福祉を意識したものが多く掲載されている。 ・人物の写真やイラスト、教科書に掲載する作品の氏名において、男女比率や役割に偏りがないうように配慮されている。また、固定的なイメージで性の区別をしないよう、男女の服装に配慮している。	A

【様式 2】

中学校 種目 書写

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 2

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	三省堂（三省堂） 現代の書写	評価
①	- 楷書3つ行書7つの目標設定が紙面上にタブで示されており、学習の流れが見える。 - 字形、文字の大きさや配列については言葉での説明が中心で視覚的な支援に乏しい。 2年生の最後に学力テスト問題が示され、知識の確認ができる。 - 篆刻が掲載されていることは良いが、分量としては少ない。	A
②	- 毛筆で学んだことを硬筆に生かす項目が目標ごとに設定されている。 3年生のページにおいて書く機会が少ない。国語の教科書のまま掲載されており、扱いが難しい。	B
③	- 生活の中で活用する例示が少ない。 - 文字の変遷や毛筆道具の発達、文字に関わる職業に就く人の思いなどが紹介されているが、文字文化の豊かさに触れられるような教材の情報量や例示が全体的に少ない。 - 学年末教材として、「グループ新聞の作成（1年）」、「情報誌の作成（2年）」、「名言集の作成（3年）」が配置され、学習内容を他教科や社会生活で活用できるよう工夫している。 - 葉書の書き方の掲載については巻末の資料を参照する必要がある。	B
④	- 現代のアーティストの歌を題材として取り上げ、生徒の興味を引く作りとなっている。 - 楷書、行書の基本的な知識・技能を身に着ける段階では写真、イラスト等は少ないが、生活と結び付けた活用においては写真、イラストを取り入れている。 - 動画・資料・補充教材等、合計31点のQRコンテンツがあり、生徒の学習の補助となっている。また動画による作品づくりのお手本があるが、その際には音声による解説はない。 - 国語教科書と連動した連動した教材の掲載がある。 - 見開き完結のすっきりとしたレイアウトである。 - 色覚の特性を考慮し、誰でも見やすく学びやすい配色となるよう工夫されている。 - 左利きの生徒に配慮した解説動画がある。（二次元コード参照先コンテンツ） - 大きなフォントで示したり、項目と項目の間には区切り線を引くなど、区別を明瞭にした示し方になっている。 - 読みやすさ、学びやすさを追求して開発した独自の明朝体・ゴシック体を使用している。 - 教科書サイズはA4版を採用しており、そのままお手本として用いるといった配慮はない。	B
⑤	- 多様性・人権・環境等の現代的な課題を意識したものは少ないが、国際的な視点からの教材が取り上げられている。 - 学習をサポートする役割を持ったキャラクターの男女バランスは配慮されている。服装への配慮はされていない。 - 教科書全体を通してSDGsの達成に向けた教材の工夫はみられない。また現代的な教育課題への意識を高められるような活動例についても特に掲載はなかった。	B

【様式 2】

中学校 種目 書写

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 3

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	教育出版（教出） 中学書写	評価
①	・学習の流れ「目標」→「考えよう」→「生かそう」→「振り返ろう」 ・話し合い活動を通した書写の学び方ができるよう工夫されている。 ・筆の入れ方や穂先の向き、力の入れ方等がわかりやすく写真で示されている。 ・練習する例文が国語の教科書等で学習した文なので生徒が興味を持って取り組むことができる。 ・3年間のまとめの書写テストによって書写の知識を確認することができる。	A
②	・毛筆での学習と硬筆を関連付けて書いてみる「試し書き」と「まとめ書き」が設定されており、毛筆で学んだことを硬筆に生かせるように構成されている。	A
③	・学校行事等を多数例示しているため、生活の中で活用することができる。 ・レポート・ポップ・ポスターのいずれかを選択して作成する課題選択教材を設けるなど、生徒の興味や関心に沿って主体的に学習に取り組める工夫がとられている。 ・身の回りで見られる書や地域のシンボルである城跡写真のコラムなど、多角的な視点での文字資料が豊富に掲載されている。	A
④	・合計 97 点のQRコードコンテンツ（動画・資料・リンク・ワークシート）があり、特に筆使いに関する動画は充実しており、学習者が直接筆の運び方等が見えるようになっている。 ・資料は豊富かつ適切な分量である。 ・国語教科書と連動した教材の掲載あり。 ・見開きを基本とした見やすく使いやすいレイアウトである。また色覚特性を踏まえた、範読しやすい配色の工夫がされている。 ・読みやすさに配慮したUDフォントが採用されているとともに、UDフォントについてのコラムが設けられ文字の見え方の多様性について理解できるよう工夫されている。 ・A B 判サイズにすることで、半紙形を維持した紙面となっており、教材文字に集中できる。	A
⑤	・ポスター、ポップ等生活の中に書写を生かす例がSDGsと関連付けられている。 ・環境、平和、人権といった現代的な課題が多く取り上げられている。 ・社会の多様性を踏まえ、イラストや図版、教材の文言等を含め教科書内の表現に配慮されている。また、教材の生徒名、キャラクター写真の男女比、人種等も多様性に配慮し適切に配慮されている。 ・左利きの生徒に配慮した写真掲載や「学びリンク」で左利き生徒用の毛筆用具の置き方、筆の持ち方の動画がある。	A

【様式 2】

中学校 種目 書写

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 4

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	光村図書出版（光村） 中学書写	評価
①	・学習の流れ「考えよう」→「確かめよう」→「生かそう」 ・各教材において目標と「学びのカギ」が明示されており、書写の知識が身に付くようにまとめられている。 ・運筆の示し方が擬態語を用いてイメージしやすい。	B
②	・毛筆で学習したことを生かして硬筆で書く活動が「生かそう」として明示されている。	B
③	・文学の歴史や地域ゆかりの活字を学べる「コラム」や各地の看板や石碑が紹介された「全国文字マップ」などが随所に配置されている。 ・生活の様々な場面で生かす教材が各学年に示されている。 ・手書きのよさや文字の使い分けの理由について考える思考や対話を学習の中心とした活動も紹介されている。 ・「日常に役立つ書式」として学校生活において必要なものの書き方がまとめられているが、時代の流れの速さに対応することが難しい。 ・別冊「書写ブック」が設けられているが、分量が多く活用方法が難しい。	A
④	・UD書体の採用およびUDフォントについてのコラムが設けられ、文字の見え方の多様性について理解できるよう工夫されている。 ・合計463点のコンテンツ（動画・写真・補充教材）があり、QRコードからの動画による点画の種類や筆使い、作品づくり等は図による解説が加えられており大変見やすいものとなっている。 ・国語教科書と連動した教材の掲載あり。 ・情報が精選され、大切なことがひと目でわかる、混乱の生じにくいすっきりとしたレイアウトである。複数の色を用いる文字や図表は、明確に識別できる色の組み合わせに配慮されている。 ・教科書サイズを5ミリワイドにすることで、半紙と同じ比率を実現している。半紙原寸大の大きく分かりやすい教材文字の大きさと、手本として集中して見ることができる。 ・左利きの生徒に配慮した写真掲載や二次元コードから読み取れるコンテンツとして左利き生徒用の教科書紙面や動画があり、配慮がうかがえる。	A
⑤	・随所にミニコーナーを設け、教科書全体を通してSDGs達成に向けた教材化を図っている。防災・安全への意識を高められるような活動例が掲載されている。 ・環境、防災、ユニバーサルデザインといった現代的な課題を広く取り上げている。 ・性や人種の多様性に配慮した写真が掲載されている。写真やイラスト、生徒の名前や活動場面、漫画の題材として男女の働き方について固定概念を破る取り上げ方がされている。 ・アイヌ文化を取り上げるなど、多様な文化理解への配慮ありと謳っているが、生徒作品例として小さく取り扱いがあるのみ。	A

【様式 3】

中学校 種目 書写

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 1

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	東京書籍 (東書)	・「書写のかぎ」として学習のポイントが言葉でまとめられている。 ・「行書のまとめ」や学年ごとに「書写テストに挑戦!」を設け、学習の振り返りや身につけた知識・技能の定着と学力の向上を図ることができるよう工夫している。 ・毛筆で学んだことを硬筆にも生かす意図で、「生かそう」の表示を付け、硬筆に生かす場が示されている。毛筆の授業の中で活用するためには工夫が必要となる。
教科書の 記載番号	書写 002-72	・巻末に「書写活用ブック」があり、さまざまな書式がわかりやすくまとめられており、活用しやすい。学年ごとに生活の中に生かす場面が例示されている。 ・教科書はB5変型判を採用しており、半紙と同じ縦横比率（128%拡大で、原寸大）を実現している。そのため手本として集中してみることができる。
書名	新編 新しい書写	・色の区別による説明は最小限に留め、用いる場合は見分けやすい配色に工夫されている。原則として文節で改行され、読むことに困難を抱える生徒への配慮がなされている。左利きの生徒に配慮した教科書紙面になっている。 ・QRコードによる作品づくりの動画は筆圧や点画の配置等音声でも解説されており、生徒が自ら取り組めるようなものとなっている。 ・防災訓練やバリアフリーを取り上げ、災害、人権尊重、福祉等、日常生活を意識したものが多く掲載されている。人物の写真やイラスト、教科書に掲載する作品の氏名において、男女比率や役割に偏りが無いよう配慮されている。また、固定的なイメージで性の区別をしないよう、男女の服装に配慮している。
発行者 (略称)	三省堂 (三省堂)	・楷書3つ行書7つの目標設定が紙面上にタブで示されており、学習の流れが見える。 ・字形、文字の大きさや配列については言葉での説明が中心で視覚的な支援に乏しい。 ・2年生の最後に学力テスト問題が示され、知識の確認ができる。 ・毛筆で学んだことを硬筆に生かす項目が目標ごとに設定されている。
教科書の 記載番号	書写 015-72	・文字の変遷や毛筆道具の発達、文字に関わる職業に就く人の思いなどが紹介されているが、文字文化の豊かさに触れられるような教材の情報量や例示が全体的に少ない。 ・学年末教材として、「グループ新聞の作成（1年）」、「情報誌の作成（2年）」、「名言集の作成（3年）」が配置され、学習内容を他教科や社会生活で活用できるよう工夫している。 ・動画・資料・補充教材等、合計31点のQRコンテンツがあり、生徒の学習の補助となっている。また動画による作品づくりのお手本があるが、その際には音声による解説はない。
書名	現代の書写	・色覚の特性を考慮し、誰でも見やすく学びやすい配色となるよう工夫されている。左利きの生徒に配慮した解説動画がある。大きなフォントで示し、項目と項目の間には区切り線を引く等、区別を明瞭にした示し方である。 ・多様性・人権・環境等の現代的な課題を意識したものは少ないが、国際的な視点からの教材が取り上げられている。

【様式 3】

中学校 種目 書写

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 2

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	教育出版 (教出)	・話し合い活動を通じた書写の学び方ができるよう工夫されている。 ・筆の入れ方や穂先の向き、力の入れ方等がわかりやすく写真で示されている。 ・3年間のまとめの書写テストによって書写の知識を確認することができる。 ・毛筆での学習と硬筆を関連付けて書いてみる「試し書き」と「まとめ書き」が設定されており、毛筆で学んだことを硬筆に生かせるように構成されている。 ・学校行事等を多数例示している。レポート・ポップ・ポスターのいずれかを選択して作成する課題選択教材を設けるなど、生徒の興味や関心に沿って主体的に学習に取り組める工夫がとられている。 ・合計97点のQRコードコンテンツ（動画・資料・リンク・ワークシート）があり、特に筆使いに関する動画は充実しており、学習者が直接筆の運び方等が見えるようになっている。 ・見開きを基本とした見やすく使いやすいレイアウトである。また色覚特性を踏まえた、範読しやすい配色の工夫がされている。読みやすさに配慮したUDフォントが採用されているとともに、UDフォントについてのコラムが設けられ文字の見え方の多様性について理解できるよう工夫されている。 ・A B判サイズにすることで、半紙形を維持した紙面となっており、教材文字に集中できる。 ・社会の多様性を踏まえ、イラストや図版、教材の文言等を含め教科書内の表現に配慮されている。また、教材の生徒名、キャラクター写真の男女比、人種等は多様性に配慮し適切に配慮されている。
教科書の 記載番号	書写 017-72	
書名	中学書写	
発行者 (略称)	光村図書出版 (光村)	・各教材において目標と「学びのカギ」が明示されており、書写の知識が身に付くようにまとめられている。 ・運筆の示し方が擬態語を用いてイメージしやすい。 ・毛筆で学習したことを生かして硬筆で書く活動が「生かそう」として明示されている。 ・文学の歴史や地域ゆかりの活字を学べる「コラム」や各地の看板や石碑が紹介された「全国文字マップ」などが随所に配置されている。 ・手書きのよさや文字の使い分けの理由について考える思考や対話を学習の中心とした活動も紹介されている。 ・合計463点のコンテンツ（動画・写真・補充教材）があり、QRコードからの動画による点画の種類や筆使い、作品づくり等は図による解説が加えられており大変見やすいものとなっている。 ・教科書サイズを5ミリワイドにすることで、半紙と同じ比率を実現している。半紙原寸大の大きく分かりやすい教材文字の大きさで、手本として集中して見ることができる。 ・性や人種の多様性に配慮した写真が掲載されている。写真やイラスト、生徒の名前や活動場面、漫画の題材として男女の働き方について固定概念を破る取り上げ方がされている。 ・多様な文化理解への配慮ありと謳っているが、生徒作品例として小さく取り扱いがあるのみ。
教科書の 記載番号	書写 038-72	
書名	中学書写	

令和 6 年度教科用図書第二採択地区調査委員会 報告書

令和 7 年度使用 中学校 種目 社会（地理的分野）

提出書類	別添	様式 1 (1) 枚
		様式 2 (4) 枚
		様式 3 (4) 枚

【様式 1】

中学校 種目 社会（地理的分野） 令和7年度使用教科用図書調査研究観点(案) 第二採択地区

項目	観 点		観点の内容	
1 観 点	A	知識及び技能	①	地理的な見方や考え方，概念などの基礎・基本を習得できる学習内容となっているか。
			②	調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べ，まとめる技能が身に付くような工夫がされているか。
	B	思考力・判断力・表現力等	③	世界や日本の諸地域の特色を，位置や自然環境・他地域との関係性などから多面的・多角的に捉えさせる工夫や配慮がなされているか。
			④	世界・日本の諸地域，または地球規模で見られる課題の解決に向け，選択・判断する資質や能力を育成することができる学習内容となっているか。
			⑤	思考・判断したことを論理的に説明したり，他者の意見を踏まえて議論したり，発展させることができるような工夫があるか。
	C	学びに向かう力・人間性等	⑥	世界・日本の諸地域，または地球規模で見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度につながる学習活動が設定されているか。
			⑦	よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察，構想したことを社会に生かそうとする態度を養うような工夫がなされているか。
2 か資 か料 わ・ る学 構習 成指 導に	⑧	教材・資料の構成等について	(1) 図や写真がバランスよく入っており，文字の大きさが適切であるか。 (2) ユニバーサルデザインの視点から適切な配慮がなされているか。 (3) 分量や重さ，大きさが適切であるか。	
3 地第 区二 観採 点択	⑨	「多様性の尊重」，「人権尊重」，「世界平和」，「いじめ」「環境」等の現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているか	(1) 人権について，公正な見方や考え方を育てる工夫がなされ，尊重していくことの大切さを自覚できる内容となっているか。 (2) グローバル化する国際社会の中で，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重し，共に生きていくことの大切さを自覚できる内容となっているか。 (3) 地球環境を保全する大切さを自覚できる内容となっているか。	

【様式 2】

中学校 種目 社会 地理

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 1

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	東京書籍（東書） 新編 新しい社会 地理	評価
①	・地理的な見方や考え方，概念などの基礎・基本を習得する教材・学習活動が数多く掲載されている。 ・用語解説や側注・コラムなどが数多く充実しており，コラム「もっと知りたい」では，教科書の内容からさらに一步進んで学びを掘り下げ，視点を変えたりすることで，より深い学びができるように工夫がなされている。また，単元ごとに学習目標に対応した振り返りが設定され，学習内容の深い定着が図れる構成となっている。	A
②	・「スキルアップ」や「鉛筆マーク」のコーナーでは，調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べ，まとめる内容となっている。また必要に応じて，虫眼鏡のマークを付け，どの見方・考え方を働かせたらよいかを意識できるようにしている。	A
③	・社会的事象の意味や意義，特色や相互関連を多面的・多角的に考察するために，複数の国や地域のことを取り扱った資料がとても充実している。また，小学校の社会科や「スキルアップ」などで身に付けた技能を活用して思考させる項目や「チェック&トライ」など，思考・判断・表現する力を養う内容が数多く設定されている。	A
④	・「世界の諸地域」の各節末の「地球的課題を振り返ろう」という項目で，学習したことをふまえ，その地域の持つ地球的課題について思考・判断させる設定がされている。	A
⑤	・章末の「探究課題を解決しよう」では，思考・判断したことを説明したり，それらを議論したりする対話的な学習活動が数多く設定されている。また，「みんなでチャレンジ」では小集団での対話的な学習活動も数多く設定されている。	A
⑥	・各単元において，探究課題を生徒自身で考えさせるような問いかけを行い，生徒達の主体的な学びを促す工夫がされている。また，各章末では，探究課題に対する自身の学びを振り返らせる活動を取り入れ，主体的な学びを深めるための工夫がみられる。	A
⑦	・「世界の諸地域」の単元では，各章末に「地球的課題を振り返ろう」という活動を設定し，学習した内容を生かして，これからのよりよい社会をつくろうとする態度を養う工夫がされている。しかし，そういった学習活動の数がやや少ない。	B
⑧	・構成やレイアウトに統一感があり，見やすい。写真の色は明るく，見やすい構成となっている。また，章ごとにインデックスを色分けして，見開きの右ページに記載し，使いやすい工夫をしているが，サイズがやや小さい作りとなっている。	B
⑨	・「未来にアクセス」や「もっと知りたい」で，持続可能な社会の実現を考えるヒントになるコラムが数多く掲載されている。また，それぞれのコラムがこういった視点を持ち，どの学習内容と関連したものになっているかを明確にすることで，生徒達がSDGsの視点を持ちながら学習を進めていきやすい工夫をしている。	A

【様式 2】

中学校 種目 社会 地理

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 2

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	教育出版（教出） 中学社会 地理 地域にまなぶ	評 価
①	・地理的な見方や考え方，概念などの基礎・基本を習得する教材・学習活動が数多く掲載されている。 ・用語解説や側注・コラムなどが数多く充実しており，コラム「地理の窓」では，環境や自然災害などについて掘り下げ，深い学びができるように工夫がなされている。また，単元ごとに学習目標に対応した振り返りが設定され，学習内容の深い定着が図れる構成となっている。	A
②	・「地理の技」や「TRY」，「Q」などのコーナーの数が多く，調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べ，まとめる内容が掲載され，技能を身に付ける学習内容が充実している。しかし，その箇所数はやや少ない構成であった。	B
③	・社会的事象の意味や意義，特色や相互関連を多面的・多角的に考察するために，複数の国や地域のことを取り扱った資料が充実している。また，小単元毎の「確認！」「表現！」など，思考・判断・表現する力を養う内容が数多く設定されている。	A
④	・各章・節末にある「学習のまとめと表現」の「学習したことを振り返ろう」で学習したことを整理させることで，次の「学習したことを活用してまとめよう」で，課題解決に向けて選択・判断する資質・能力を育成できる構成となっている。	A
⑤	・各章・節末にある「学習のまとめと表現」の「学習したことを活用してまとめよう」では，学習したことを活用して議論し，解決方法をまとめる対話的な学習活動が設定されている。	A
⑥	・各単元には，単元を貫く問いが立てられており，単元を通して生徒たちが探究課題を意識できるようにしている。また，章末ではその問いを振り返ることのできる構成となっている。しかし，生徒自身が主体的に探究課題を設定したり，生徒自身の言葉で振り返る活動が少ない。	B
⑦	・「世界の諸地域」の単元では，各章末に学習した内容を生かして，地球的課題を考えさせる活動が設定されている。また，「クロスロード」という特設ページにも同様の活動が設定されており，これからのよりよい社会の実現に向けて考えさせるための活動が充実している。	A
⑧	・構成やレイアウトに統一感があり，見やすい。また，一つひとつの資料が大きく，特に地図資料は大きくて見やすい。見開き右ページにあるインデックスが細かく色分けされていて，使いやすい工夫がなされている。	A
⑨	・「世界の諸地域」の各章の導入において，各地域の地球的課題とSDGsの関連を示している。また，「地理の窓」というコラムにもSDGsに関連する内容が数多く記載されている。しかし，「地理の窓」ではその内容とSDGsとの関連は明記されておらずSDGsの視点を生徒達が自覚しながら学習を進める工夫が少ない。	B

【様式 2】

中学校 種目 社会（地理的分野）

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 3

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	帝国書院（帝国） 社会科 中学校の地理 世界の姿と日本の国土	評 価
①	・地理的な見方や考え方，概念などの基礎・基本を習得する教材・学習活動が数多く掲載されている。 ・用語解説や側注・コラムなどが数多く充実しており，「地理＋」で教科書の内容からさらに一歩進んで学びを掘り下げ，視点を変えたりすることで，さらに深い学びができるように工夫されている。また，單元ごとに学習目標に対応した振り返りが設定され，学習内容の深い定着が図れる構成となっている。	A
②	・「技能をみがく」や「やってみよう」，「資料活用」など，調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べ，まとめる内容が数多く掲載され，技能を身に付ける学習内容が充実している。また「地図帳活用」で，教科書と地図帳との関連を示し，地図帳を活用する技能を身に付けることができる構成となっている。	A
③	・社会的事象の意味や意義，特色や相互関連を多面的・多角的に考察するために，複数の国や地域のことを取り扱った資料がとても充実している。また，小單元ごとの「確認しよう」「説明しよう」では，思考・判断・表現する力を養う設定が確実になされている。	A
④	・持続的な開発について、学習したことを参考に思考・判断する「アクティブ地理」が設定されている。また、巻頭ページに「思考ツール」について触れ、選択・判断する活動にも明示することで、取り組みやすい構成となっている。	A
⑤	・章末・節末の『「地理的な見方・考え方」を働かせて説明しよう』では，図や手順を示すことで対話的な学習活動が取り組みやすく設定されている。また，「…対話…」のマークをつけ，対話を通して思考・判断させる学習が多く設定されている。	A
⑥	・各單元には單元を貫く問いが立てられ，その探究課題に関わる写真資料などを導入で提示することで，生徒達が主体的に探究課題に向かっていけるように工夫されている。また，章末では，探究課題に対する考えを深めさせる活動と振り返りを設定することで，主体的で深い学びを促している。	A
⑦	・「日本の諸地域」の各單元に設定されている「未来に向けて」や「アクティブ地理」には，これまでの学習内容を生かしながらよりよい社会の創造について考えさせる活動が設定され，これからについて考えさせる工夫や活動が充実している。	A
⑧	・構成やレイアウトに統一感があり，見やすい。また，鮮やかな写真がレイアウトされ，学習意欲がわく構成である。見開き右ページにあるインデックスも章ごとに色分けされており，使いやすい工夫がなされている。	A
⑨	・「未来に向けて」というSDGsの視点から現代的な諸課題について取り上げたコラムが数多く掲載されている。また「アクティブ地理」にはSDGsの視点から現代的な諸課題について考えさせる活動が設定されており，SDGsの視点を持って学習を進める工夫が充実している。	A

【様式 2】

中学校 種目 社会（地理的分野）

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 4

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	日本文教出版（日文） 中学社会 地理的分野	評 価
①	・地理的な見方や考え方，概念などの基礎・基本を習得する教材・学習活動が数多く掲載されている。 ・单元ごとに学習目標に対応した振り返りが設定され，学習内容の深い定着が図れる構成となっている。しかし，側注がなく，基本的な語句の理解を定着させる工夫が少ない。また，「地理＋α」のコラムでは，環境や自然災害などについて掘り下げ，深い学びができるよう工夫されているが，やや数が少ない。	B
②	・「スキルUP」や「トライ」，「資料活用」など，調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べ，まとめる内容が数多く掲載され，技能を身に付ける学習内容が非常に充実している。	A
③	・社会的事象の意味や意義，特色や相互関連を多面的・多角的に考察するために，複数の国や地域のことを取り扱った資料が充実している。また，小单元ごとに「確認」「表現」を設定し，思考・判断・表現する力を養う工夫や配慮がなされている。	A
④	・各章・節末の「まとめと振り返り」では，各地域の持つ地球的課題や地域的課題に対して，学習したことを踏まえて思考・判断させる項目が設定され，課題解決に向けて選択・判断する資質・能力を育成できる構成となっている。	A
⑤	・章末・節末の「議論してみよう」では，説明したり議論したりする対話的な学習活動が図や手順を示すことで取り組みやすい設定となっている。また，「学び合い」のアイコンをつけ，対話を通して思考・判断させる学習が設定されている。	A
⑥	・「世界の諸地域」「日本の諸地域」の单元では，生徒自身が单元を貫く問いを立て，各地域の諸課題に主体的に探究していける工夫がみられる。また，单元の導入ページには，その地域の課題に関わる写真資料やコラムを掲載し，生徒が主体的に探究課題にせまれるような工夫がみられる。	A
⑦	・「世界の諸地域」と「日本の諸地域」の章末に設定されている「議論してみよう」では，その単元のこれまでの学習内容を生かし，よりよい社会について考えるための活動が設定されており，未来の社会に目を向けながら学習を進めていく工夫がたいへん充実している。	A
⑧	・構成やレイアウトに統一感があり，見やすい。また，写真の色も明るく，見やすい構成となっている。見開きの右ページにあるインデックスも章ごとに色分けされており，使いやすい工夫がなされている。	A
⑨	・世界や日本の諸地域の各単元の導入に「持続可能な地域をめざして」という特設ページをつくり，生徒自身がSDGsの視点を持って探究課題に向かっていけるように工夫をしている。また，コラム「地理＋α」でSDGsの視点から現代的諸課題を紹介し，SDGsの視点を持って学習を進める工夫がたいへん充実している。	A

【様式 3】

中学校 種目 社会 地理

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 1

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	東京書籍 (東書)	・用語解説や側注，コラム「もっと知りたい」などが数多く充実し，また，單元ごとに学習目標に対応した振り返りが設定され，学習内容の深い定着が図れる構成となっている。 ・「スキルアップ」や「鉛筆マーク」では，調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べ，まとめる活動が設定され，地理的な技能を身に付ける工夫や配慮がなされている。 ・小学校の社会科や「スキルアップ」などで身に付けた技能を活用して思考させる項目や「チェック&トライ」など，思考・判断・表現する力を養う内容が数多く設定されている。 ・「地球的課題を振り返ろう」という項目で，学習したことをふまえ，その地域の持つ地球的課題について思考・判断させる設定がされている。 ・「探究課題を解決しよう」では，思考・判断したことを説明したり，議論する対話的な学習活動が数多く設定されている。また，「みんなでチャレンジ」で小集団での対話的な学習活動も数多く設定されている。 ・各單元において探究課題を生徒自身で考えさせるような問いかけを行い，章末では，探究課題に対する自身の学びを振り返らせる活動を取り入れ，主体的な学びを深めるための工夫がみられる。 ・「世界の諸地域」の單元では，各章末に「地球的課題を振り返ろう」という活動を設定し，その單元で学習した内容を生かして，これからのよりよい社会をつくろうとする態度を養う工夫がされている。 ・構成やレイアウトに統一感があり，見やすい。 ・写真の色は明るく，見やすい構成となっている。また，章ごとにインデックスを色分けして，見開きの右ページに記載し，使いやすい工夫をしている。 ・「未来にアクセス」や「もっと知りたい」という持続可能な社会の実現を考えるヒントになるコラムを数多く掲載している。
教科書の 記載番号	地理 002-72	
書名	新編 新しい社会 地理	

【様式 3】

中学校 種目 社会 地理

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 2

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	教育出版 (教出)	・用語解説や側注，コラム「地理の窓」が充実し，また単元ごとに学習目標に対応した振り返りが設定され，学習内容の深い定着が図れる構成となっている。 ・「地理の技」や「TRY」などのコラムの数が多く，調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べ，まとめる活動が設定され，技能を身に付ける学習内容が充実している。 ・複数の国や地域のことを取り扱った資料を充実させ，小単元ごとに「確認！」「表現！」など，思考・判断・表現する力を養う内容が数多く設定されている。 ・「学習のまとめと表現」の「学習したことを振り返ろう」で学習したことを整理させ，次の「学習したことを活用してまとめよう」で，学習したことを活用し，課題解決に向けて選択・判断する資質・能力を育成できる構成にしているとともに，議論し，解決方法をまとめる対話的な学習活動が設定されている ・各単元には，単元を貫く問いが立てられており，単元を通して生徒たちが探究課題を意識できるようにしている。また，章末ではその問いを振り返ることができる構成となっている。 ・「世界の諸地域」の単元では，各章末にその単元で学習した内容を生かして，地球的課題について考えさせる活動が設定されている。また，「クロスロード」という特設ページにも同様の活動が設定されており，これからのよりよい社会の実現に向けて考えさせるための活動が充実している。 ・構成やレイアウトに統一感があり，見やすい。 ・一つひとつの資料が大きく，地図資料は大きく見やすい。見開き右ページにあるインデックスが細かく色分されていて，使いやすい工夫がなされている。 ・「世界の諸地域」の各章の導入において，各地域の地球的課題とSDGsの関連を示している。また，「地理の窓」というコラムには，SDGsに関連する内容が数多く掲載されている。
教科書の 記載番号	地理 017-72	
書名	中学社会 地理 地域に学ぶ	

【様式 3】

中学校 種目 社会 地理

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 3

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	帝国書院 (帝国)	・用語解説や側注，コラム「地理＋」が充実し，また單元ごとに学習目標に対応した振り返りが設定され，学習内容の深い定着が図れる構成となっている。 ・「技能をみがく」や「やってみよう」などのコラムの数が多く，調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べ，まとめる活動が設定され，技能を身に付ける学習内容が充実している。 ・「地図帳活用」の箇所が多く，地図帳を活用する技能を身に付けることができる構成となっている。 ・「確認しよう」「説明しよう」では，思考・判断・表現する力を養う設定が確実になされている。 ・持続的な開発について、学習したことを参考に思考・判断する「アクティブ地理」が設定されている。また、巻頭で「思考ツール」について触れ、選択・判断する活動にも明示し、取り組みやすい構成となっている。 ・『「地理的な見方・考え方」を働かせて説明しよう』では，図や手順を示すことで対話的な学習活動が取り組みやすくなっている。また，「…対話…」マークをつけ，対話を通して思考・判断させる設定が多い。 ・各単元の探究課題に関わる写真資料などを導入で提示することで，生徒達が主体的に探究課題に向かっていけるように工夫されている。 ・「未来に向けて」や「アクティブ地理」には，これまでの学習内容を生かしながらよりよい社会の創造について考えさせる活動が設定されており，これからのよりよい社会を考えさせる工夫や活動が充実している。 ・構成やレイアウトに統一感があり，見やすい。 ・鮮やかな写真が一面にレイアウトされ，学習意欲がわくような構成になっている。見開き右ページにあるあるインデックスも章ごとに色分けされており，使いやすい工夫がなされている。 ・SDG s の視点から現代的な諸課題について取り上げたコラムが数多く掲載されている。また，「アクティブ地理」には，SDG s の視点から現代的な諸課題について考えさせる活動が設定されている。
教科書の 記載番号	地理 046-72	
書名	社会科 中学生の地理 世界の姿と 日本の国土	

【様式 3】

中学校 種目 社会 地理

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 4

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	日本文教出版 (日文)	・用語解説やコラム「地理＋α」が充実し、また単元ごとに学習目標に対応した振り返りが設定され、学習内容の深い定着が図れる構成となっている。 ・「スキルUP」や「トライ」などのコラムの数が多く、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べてまとめる活動が設定され、技能を身に付ける学習内容が充実している。 ・小単元ごとに「確認」「表現」を設定し、思考・判断・表現する力を養う工夫や配慮がなされている。 ・「まとめと振り返り」では、各地域の持つ地球的課題や地域的課題に対して、学習したことを踏まえて思考・判断させる項目が設定され、課題解決に向けて選択・判断する資質・能力を育成できる構成となっている。 ・「議論してみよう」で、説明・議論したりする対話的な学習活動が、図や手順を示すことで取り組みやすく設定している。また、「学び合い」のアイコンをつけ、対話を通して思考・判断させる学習を設定している。 ・「世界の諸地域」、「日本の諸地域」の単元では、生徒自身が単元を貫く問いを立て、それぞれの地域の諸課題に主体的に探究していける工夫が見られる。 ・「世界の諸地域」と「日本の諸地域」の「議論してみよう」では、その単元の学習内容を生かして、これからのよりよい社会について考えるための活動が設定されており、未来の社会に目を向けながら学習を進めていくための工夫が充実している。 ・構成やレイアウトに統一感があり、見やすい。 ・写真の色も明るく、見開きの右ページにあるインデックスも章ごとに色分けされており、使いやすい工夫がなされている。 ・世界や日本の諸地域の各単元の導入に、「持続可能な地域をめざして」という特設ページをつくり、生徒自身がSDG s の視点を持って各単元の探究課題に向かっていけるように工夫をしている。
教科書の 記載番号	地理 116-72	
書名	中学社会 地理的分野	

令和 6 年度教科用図書第二採択地区調査委員会 報告書

令和 7 年度使用 中学校 種目 地 図

提出書類	別添	様式 1 (1) 枚
		様式 2 (1) 枚
		様式 3 (1) 枚

【様式 1】

中学校 種目 地 図 令和7年度使用教科用図書調査研究観点(案) 第二採択地区

項目	観 点		観点の内容	
1 観 点	A	知識及び技能	①	地図の使い方や読図・作図などの活用方法を取りあげているか。
			②	見学調査の方法，学習の進め方やまとめ方を取りあげているか。
	B	思考力・判断力・表現力等	③	世界や日本の基本図を豊富に取り上げているか。
			④	社会的事象の様子や関係，自然環境とのかかわりなどを多面的・多角的に考察し，解決に向けて選択・判断し，さらに説明・議論できるように，資料図を取り上げているか。
	C	学びに向かう力・人間性等	⑤	社会的事象について，主体的に調べ，意欲的に解決できるよう，資料図のテーマや統計資料を取り上げているか。
2 か資 か料 わ・ る学 構習 成指 導に	⑥	教材・資料の構成等について	(1) 図や写真がバランスよく入っており，文字の大きさが適切であるか。 (2) ユニバーサルデザインの視点から適切な配慮がなされているか。 (3) 文字の大きさ，色遣い，書体，配列，情報量は適切であるか。	
3 地第 区二 観採 点択	⑦	「多様性の尊重」，「人権尊重」，「世界平和」，「いじめ」「環境」等の現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているか	(1) 人権尊重や共生社会，世界平和に関する内容を取り上げているか。 (2) 防災に関する内容を取り上げているか。 (3) 環境の大切さを捉える工夫がなされているか。	

【様式 2】

中学校 種目 地図

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 1

観点 番号	発 行 社 (略 称) と 書 名			
	東京書籍 (東書) 新しい社会 地図	評 価	帝国書院 (帝国) 中学生社会科地図	評 価
①	- 冒頭に地図の活用方法を詳しく説明することで、生徒が活用しやすいように工夫されている。 - 地形図の読み取りでは、縮尺や方位、等高線の説明があり、長崎市を例に挙げて読図できるようになっている。	A	- 冒頭に地図の活用方法を詳しく説明することで、生徒が理解しやすいように工夫されている。 - 地形図の読み取りでは、縮尺の説明があり、函館市を例に挙げて読図できるようになっている。	A
②	地図を深く読み取るためのヒントとなる問いのコーナー「Bee's eye」があり、図を見て取り組む問題や図を元に調べたり考えたりする問題で構成されている。	A	地図をもとに確認したり深めたりする問いのコーナー「地図で発見!」があり、基礎的な内容から発展的な内容までさまざまなレベルで問題が構成されている。	A
③	- 世界州別地図や日本地域別地図が充実している。 - 鳥瞰図が一部の州にはない。 - 世界の州や日本の地域の特色をイメージしやすい地図となっている。	B	- 世界州別地図や日本地域別地図が充実していて、世界の州ごとに全体を俯瞰できる鳥瞰図が掲載されている。 - イラストが多く使われ、世界の州や日本の地域の特色をイメージしやすい地図となっている。	A
④	- 世界の州ごとや日本の地域ごとの特徴をとらえ、さまざまな資料図が配置され、思考・判断・表現する力を養う設定が確実になされている。 - 資料を使い、歴史的分野・公民的分野との関わりを持たせ、社会科の学習内容を結びつけて考えられるよう工夫されている。	A	- 世界の州ごとや日本の地域ごとに、さまざまな資料図がバランス良く並べて配置され、思考・判断・表現する力を養う設定が確実になされている。 「地図で考える持続可能な社会」のページでは、「環境問題」「食糧問題」「紛争」を生徒が課題意識をもって考えることができるようになっている。	A
⑤	- 統計資料が豊富で、生徒が追究しやすいように工夫されている。 - 地理的事象について、理解を深めて説明できるように、資料図だけでなく、関連する写真やグラフを豊富に載せて見やすくまとめている。	A	- 統計資料が豊富で、生徒が追究しやすいように工夫されている。 - 地理的事象について、様々な視点から考察し説明できるように、資料図やイラストマップ、比較のためのグラフが豊富な構成となっている。	A
⑥	- 地図の色使いが落ち着いた配色となっており、とても見やすい構成となっている。 - 資料ページは地図を中心に構成されている。情報量も豊富である。 - 写真やイラスト、主題図が多く取り上げられている。	A	- はっきりとした色使いで文字とのバランスもよく、とても見やすい構成となっている。 - 資料ページは地図だけでなく、写真やイラスト、主題図が豊富で、様々な視点から学習を深められるように工夫されている。	A
⑦	- SDGsに関する特集のページが設けられている。 - 防災、環境、人権に関してのページが設けられている。特に、人権に関する資料の箇所が多い。 - 個々の資料について、SDGsのどの分野に関するものなのかの説明がされておらず、わかりにくい。	B	- SDGsに関する特集のページが設けられている。 - 防災、環境、人権に関してのページが設けられている。環境に関して、琵琶湖の例が取り上げられており、生徒の興味関心を引きやすい。 - 個々の資料の中で、防災や環境に関するものには明確な表記があり、とてもわかりやすい。	A

【様式 3】

中学校 種目 地 図

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 1

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	東京書籍 (東書)	・冒頭に地図の活用方法を詳しく説明し、生徒が活用しやすいように工夫されている。 ・地図を深く読み取るためのヒントとなる問いが数多くあり、図を見て取り組む問題や図を元に調べたり考えたりする問題で構成されていて、学びを深めることができるよう工夫されている。 ・世界州別地図や日本地域別地図が充実している。世界の州や日本の地域の特色をイメージしやすい地図となっているが、鳥瞰図が一部の州にはない。 ・世界の州ごとや日本の地域ごとの特徴をとらえ、さまざまな資料図が配置され、思考・判断・表現する力を養う設定が確実になされている。また、歴史的分野や公民的分野との関わりを持たせ、社会科の学習内容を結びつけて考えられるよう工夫されている。 ・地理的事象について、理解を深め説明できるように、資料図だけでなく、関連する写真やグラフを豊富に載せて見やすくまとめている。 ・地図の色使いが落ち着いた配色となっており、とても見やすい構成である。また、資料ページは地図を中心に構成されていて、情報量も豊富である。 ・SDGsに関する特集のページと防災、環境、人権に関してのページが設けられている。特に、人権に関する資料の箇所が多い。
教科書の 記載番号	地図 002-72	
書名	新しい社会 地図	
発行者 (略称)	帝国書院 (帝国)	・冒頭に地図の活用方法を詳しく説明し、生徒が活用しやすいように工夫されている。 ・地図をもとに確認したり深めたりする問いが数多くあり、基礎的な内容から発展的な内容までさまざまなレベルで問題が構成されていて、生徒が主体的に学習を進められるように工夫されている。 ・世界州別地図や日本地域別地図が充実していて、世界の州ごとに全体を俯瞰できる鳥瞰図が掲載されている。イラストが多く使われ、世界の州や日本の地域の特色をイメージしやすい地図となっている。 ・世界の州ごとや日本の地域ごとに、さまざまな資料図がバランス良く並べて配置され、思考・判断・表現する力を養う設定が確実になされている。また、「地図で考える持続可能な社会」のページが設けられ、環境問題や食糧問題、紛争について生徒が課題意識をもって考えることができるようになっている。 ・地理的事象について、様々な視点から考察し説明できるように、資料図やイラストマップ、比較のためのグラフ・資料等が豊富な構成となっている。 ・地図は、はっきりとした色使いで文字とのバランスもよく、とても見やすくなっている。また、資料ページは地図のほかに、写真やイラスト、主題図が豊富で、視点を変えて学習できるように工夫されている。 ・SDGsに関する特集のページと防災、環境、人権に関してのページが設けられている。防災や環境に関するものには明確な表記がありとてもわかりやすい。また、環境に関して、琵琶湖の例が取り上げられており、生徒の興味関心を引きやすい。
教科書の 記載番号	地図 046-72	
書名	中学生社会科地図	

令和 6 年度教科用図書第二採択地区調査委員会 報告書

令和 7 年度使用 中学校 種目 社会（歴史的分野）

提出書類	別添	様式 1 (1) 枚
		様式 2 (5) 枚
		様式 3 (9) 枚

【様式 1】

中学校 種目 社会 (歴史的分野) 令和7年度使用教科用図書調査研究観点 第二採択地区

項目	番号	観 点	観 点 の 内 容
1 内 容 の 取 扱 い	①	知識及び技能	(1) 我が国の国土と歴史、現代の政治経済、国際関係等に関して、社会における様々な場面で活用できる概念などに関する知識や資質・能力を育成するための学習内容になっているか。 (2) 資料の読み取りや調べ学習をする際の手法が取り組みやすく書かれているか。
	②	思考力・判断力・表現力	(1) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連、現在とのつながりについて多面的・多角的に考察できる内容になっているか。 (2) 歴史に見られる課題を把握し、公正に選択・判断し、活用できる工夫がなされているか。 (3) 思考・判断したことを説明し、それらを基に議論できるような内容や工夫がされているか。
	③	学びに向かう力・人間性等	(1) 深い学びにつながるよう生徒が見通しを持って主体的に追究する学習課題が設定され、振り返りやすい構成となっているか。 (問いの構造、単元を貫く問い) (2) よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的に考察・構想したことを社会生活に生かそうとする学習内容になっているか。 (深い理解を通して涵養される自覚や愛情等、我が国の国土や歴史への愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚)
2 か 資 料 わ ・ 学 構 成 指 導 に	④	教材・資料の構成等について	(1) ユニバーサルデザインの視点から適切な配慮がされているか。 (2) 図や写真がバランスよく配置されており、文字の大きさなどが適切であるか。 (3) 分量や重さ、大きさが適切であるか。
	⑤	学習指導にかかわる構成等について	(1) 構成や分量などが、生徒主体で学習を進められるように配慮されているか。 (2) デジタル教材について、教科書の内容との関連、理解を深める内容となっているか。
3 地 第 区 二 観 採 点 択	⑥	「多様性の尊重」、「人権尊重」、「世界平和」、「いじめ」「環境」等の現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているか	(1) 今日的问题を学習するにあたって、左の5つの課題について、その内容を取りあげている箇所があるか。

【様式 2】

中学校 種目 社会 (歴史的分野)

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 1

観点 番号	発 行 社 (略 称) と 書 名			
	東京書籍 (東書) 新しい社会 歴史	評 価	教育出版 (教出) 中学社会 歴史 未来をひらく	評 価
①	(1) 政治・産業・社会・文化についての内容を時代ごとにバランスよく配置、歴史の流れと各時代の特色を理解しやすい。 (2) 小学校とのつながりを意識した紙面構成で、各単元の振り返りで、振り返りの内容が丁寧に示さ、思考ツールも用いながら、生徒が主体的に学習に取り組みやすい。	A	(1) 政治・産業・社会・文化についての内容を時代ごとにバランスよく配置、歴史の流れと各時代の特色を理解しやすい。また、各ページの単元名に工夫が見られる。 (2) 学習の見通しが立てやすく、「HOP! STEP! JUMP!」と章のまとめ・振り返りの学習活動に取り組みやすい。	A
②	(1) 章末「まとめの活動」において思考ツールが提示されている。 (2) 章の導入において探求する問いが節ごとに提示され、各節の考察の仕方をわかりやすく紹介している。 (3) 「チェック&トライ」が1時間ごとに設けられており、歴史的事象の考察ができる工夫がされている。一部字数制限のある問いがあり、思考が妨げられる面がある。	B	(1) 章末「まとめ STEP JUMP」に資料が効果的に提示されている。 (2) 各ページの「表現」の中には「図にして説明しよう」と課題設定されているものがあるが、生徒が自分でイメージして取り組みにくい。 (3) 各章の問いと、各節の問いとのつながりを生徒に意識させにくい。	B
③	(1) 「探求のステップ」では、段階的に課題が設定され「どのように」というまとめを促す問いだけでなく、「なぜ」といった生徒に深い学びを促す課題設定がされている。 (2) 章のまとめ(振り返り)で、思考の仕方、手順を示し、生徒が主体的に取り組みやすい。また、「未来にアクセス」は、過去の事例だけでなく、歴史的事象が現在・未来にどのようにつながっているかに触れる内容となっている。	A	(1) 各章のはじめに学習内容に関する写真を提示している。また、単元の流れを視覚的に見通すことができる。章ごとのまとめでは、前の時代と比較させながらその時代の転換点を考えさせる課題が設定されており、主体的に学習させることをねらいとしている。 (2) 「TRY!」では、歴史的事象以外にも自分が住んでいる地域や未来の日本、自分にできることなどへの調査や研究を促す課題が設定されている。	B
④	(1) UDフォントを使用。本文と資料の境目がはっきりして見やすい。側注やコラムの文字がやや小さい。 (2) 写真が濃淡を抑えているためコントラストが薄い。図・グラフなどのバランスはとれているが、写真のサイズが画一的であるため、大きく見せたい写真が通常サイズのことがある。 (3) 視覚効果の高いAB版を採用。全287ページ	B	(1) カラーUDに基づく紙面づくり。本文と資料の境目がはっきりして見やすい。UDフォントを採用。 (2) 写真や図、グラフなどを幅広く掲載している。やや内容が詳しいものも含まれ、地図などが小さい図版がある。小学校での既習事項を示す記号などが図版と重なっており見づらい。 (3) 視覚効果の高いAB版を採用。全298ページ	B
⑤	(1) 1時間の分量が簡潔にまとめられており、文章の周囲に写真やグラフが提示されていて見やすい。 (2) 各ページにQRコードが設定されており、内容に関連したデジタル教材が豊富である。教科書資料の拡大版やNHK for schoolなどが授業で活用しやすい。	A	(1) 資料構成として1ページでうまく完結している。 (2) 各章の扉にデジタルコンテンツのリンク集が設定されている。デジタルコンテンツの内容が、授業で直接使える内容が少なく、使いづらい。	B
⑥	「多様性の尊重」「人権尊重」を中心にしながら、「世界平和」「環境」についても言及されている。「いじめ」に関する直接的な記述はない。	A	「世界平和」についての記載が多い。「多様性の尊重」「人権」「環境」についても言及されている。「いじめ」に関する直接的な記述はない。	A

【様式 2】

中学校 種目 社会 (歴史的分野)

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 2

観 点 番 号	発 行 社 (略 称) と 書 名			
	帝国書院 (帝国) 社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	評 価	山川出版 (山川) 中学歴史 日本と世界	評 価
①	(1)政治・産業・社会・文化についての内容を時代ごとにバランスよく配置、歴史の流れと各時代の特色を理解しやすい。 (2)章末に歴史的な見方・考え方を働かせて取り組む学習課題や思考ツールを用いて章や節の問いを整理・考察する内容があり取り組みやすい。	A	(1)政治・産業・社会・文化についての内容をかなり詳しく記述、文章量も多い。世界史とのつながりを強く意識した構成になっている。 (2)各資料に「Q」を付けた問いを示しており、考えを深めることができるが、やや量が多い。單元ごとの振り返りはシンプルなもの、社会科が苦手な生徒は取り組みにくい。	B
②	(1)巻頭の思考ツールの説明が詳細かつ丁寧でわかりやすい。 (2)「章の振り返り」の問い立てに対して、歴史的な見方や考え方のヒントが示されており、生徒が多面的・多角的に考察しやすい。 (3)写真やイラストに答えが全て記入されている箇所があり、思考が広がりにくい。	B	(1)章末「まとめ」は知識を整理しやすく構成されているが、生徒が思考・判断・表現を働かせる主体的に取り組むためのしかけが少ない。 (2)各ページ「ステップアップ」はさまざまなパターンの豊富な問いが準備されているが、歴史が苦手な生徒が思考するには難易度が高い。 (3)「歴史からのアプローチ」は学習内容を詳しく掘り下げた内容で、深い知識と教養を身につけさせようとしている。	B
③	(1)単元を貫く問いが各ページに記載されている。大型イラスト「タイムトラベル」は、時代の特色を大観でき、各章のまとめとも関連付けて学習することができる内容となっている。 (2)各章の振り返りを基に、巻末の「これからの社会を構想しよう」で、よりよい社会の実現にむけた公民的分野の学習への接続が図られている。	A	(1)単元を貫く問いの設定はない。各時間の課題設定は「どのように」という問いが多く、知識の振り返りにとどまっており、生徒の考えを引き出したり、意見を交流したりする場面が少ない。また、内容も難しいものが多い。 (2)歴史を深く学ぶことができるが、未来を視野に入れた学習活動は少ない。	C
④	(1)カラーUDに基づく紙面づくりがされている。UDフォントを採用。 (2)写真や図、グラフなどが豊富で、きれいに配置されている。図の周囲を色で囲っており、判別しやすい。ただ、注を示す色の見づらさや側注部分の余白が目立つ。 (3)視覚効果の高いA B版を採用。全314ページ。	B	(1)カラーUDに基づく紙面で、UDフォントを採用しているが、文字のフォントがかなり小さい。本文は横書きに対し、史料は縦書きになっている。 (2)写真や図、グラフなどが幅広く掲載されており、やや内容が詳しいものも含まれる。そのため、地図など小さい図版がある。 (3)視覚効果の高いA B版を採用している。全288ページ	B
⑤	(1)「学習を振り返ろう」の年表に直接書き込める余白が少ない。アクティブ歴史の「TRY」は分かりやすく構成されており生徒が主体的・対話的に学習を進めやすい。 (2)デジタルコンテンツでは特にNHK for Schoolの動画が豊富に用意されている。	B	(1)本文全体が、因果関係を重視した詳しい記述となっており、情報量が豊富である。「歴史へのアプローチ」にも中学生に考えさせたい内容が豊富に用意されているが、単元扱いにされていない事により、授業での扱いに工夫が必要。 (2)デジタルコンテンツとして博物館や資料館のウェブページを確認することができる。	B
⑥	(1)「世界平和」「人権尊重」を中心に「多様性の尊重」「環境」についても言及されており、コラム「未来にむけて」でうまくまとまっている。「いじめ」に関する直接的な記述はない。	A	(1)「多様性の尊重」「人権尊重」「世界平和」「環境」について言及されている。「いじめ」についての直接的な記述はない。	B

【様式 2】

中学校 種目 社会 (歴史的分野)

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 3

観点 番号	発 行 社 (略 称) と 書 名			
	日本文教出版 (日 文) 中学社会 歴史的分野	評 価	自由社 (自由社) 中学社会 新しい歴史教科書	評 価
①	(1) 政治・産業・社会・文化についての内容を時代ごとにバランスよく配置、歴史の流れと各時代の特色が理解しやすくなっている。 (2) 本文が、「学習課題」、「見方・考え方」、「学び合い」、「確認・表現」という構成で学習に取り組みやすい。	A	(1) 章末の「復習問題のページ」に、太字で記されている語句を問う問題や地図問題があり、基礎的・基本的な知識の定着を図ることができる。 (2) 章末に「調べ学習のページ」を設けて、資料を読み解いたり、分かったことをまとめたりする技能を働かせる内容となっている。	A
②	(1) 「歴史的な見方・考え方」では学習の仕方、特に思考・判断・表現の面で非常によくまとめられている。 (2) 章末「まとめとふり返り」は、歴史が苦手な生徒も取り組みやすい内容となっている。 (3) 各ページに「確認」「表現」の問い立てが幅広い中学生のレベルに即してなされている。	A	(1) 歴史に関わる事象について、多面的・多角的に考察できるよう、写真や絵、グラフ、地図などの資料が多く掲載されている。 (2) 歴史に見られる課題を把握し、公正に選択・判断し、活用できる資料を豊富に掲載し、各章に「もっと知りたい」コラムを掲載している。 (3) 章末に「対話とまとめのページ」を設け、時代の流れにそった「まとめのページ」をもとにした対話の例が示されている。	A
③	(1) 単元を貫く問いを各ページに記載。生徒が意識して学習しやすい。各章のまとめに、単元を貫く問いへの答えを考える課題が設定され、ヒントとなる語句も記されているため苦手な生徒でも主体的に学習に取り組みやすい。 (2) 巻末「歴史との対話を未来に活かす」で学習内容と現代社会が抱える課題の関連性がわかりやすく示されている	A	(1) 単元を貫く問いの設定がないため、生徒が見通しをもって主体的に追求することが難しい。学習課題や振り返りとして「チャレンジ」が設定されているが、歴史的事象の内容や流れの確認がほとんどである。 (2) イラストの「翔太くん」や「さくらちゃん」の会話から、当時の人物や政策のねらいを理解し、現代との比較がしやすくなるよう工夫がされてされている。	C
④	(1) カラーUDによる紙面づくりでたいへん見やすい。UDフォントを採用。 (2) 写真や図・グラフなどのバランスがよい。大きさも均一的でなく、軽重がとれている。側注の文字も読みやすく、写真も鮮明で見やすい。 (3) 視覚効果の高いA B版を採用。全307ページ。	A	(1) 色やデザインの工夫がなされているが、側注や資料の文字が小さい。また、フォントの種類が統一されていない。 (2) 写真や図・グラフなどを網羅的に掲載しているため、小さく見にくい図版がある。 (3) 視覚効果の高いA B版を採用。全308ページ。	B
⑤	(1) 生徒が主体的に学習に取り組みやすい内容構成となっている。 (2) 各編の節の最初にあるデジタルコンテンツ「イントロダクションムービー」が学習への導入に効果的である。また、各ページにQRコードが設定されており、内容に関連したデジタル教材が豊富に準備されている。	A	(1) 生徒が主体的に学習を進めるための課題設定がされているが、文字フォントが小さく読みづらい。 (2) 二次元コードがなく、デジタル教材の設定がない。	B
⑥	(1) 「多様性の尊重」「人権尊重」「世界平和」「環境」「いじめ」についてすべてに言及している。間接的ではあるが、「いじめ」に関する記述がある。	A	(1) 「多様性の尊重」「人権尊重」「世界平和」「環境」について言及されている。「いじめ」に関しての直接的な記述はない。	A

【様式 2】

中学校 種目 社会 (歴史的分野)

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 4

観点番号	発 行 社 (略 称) と 書 名			
	育鵬社 (育鵬社) 新しい日本の歴史	評 価	学び舎 (学び舎) ともに学ぶ人間の歴史 中学社会 歴史的分野	評 価
①	(1) 日本の歴史について詳細に記述している。近現代史に入ると主観を交えた記述が見られる。巻頭の「日本の美の形」で、伝統と文化を尊重する態度を育成しようとする工夫が見られる。 (2) 章の導入が見開き2ページと充実しているが、イラストや吹き出しが多く、目移りする。各ページの注釈やコラムが多いが、資料を読み取る視点を示す部分が少ない。	B	(1) 政治、産業、社会、文化についての内容をバランスよく配置し、歴史の流れと時代の特色を理解しやすくしている。 (2) 各章の扉ページには、世界地図や章のテーマに基づいた、その時代の各地の様子を表す写真や絵が配置され、視覚的に生徒の興味・関心を引き出す工夫がなされている。	A
②	(1) 各ページの「確認」は、教科書本文より抜き出すように課題設定されているが、生徒の自由な思考につながりづらい。 (2) 「探究」の課題は、本文の内容をもとに説明する内容が設定されている。 (3) 史料に要約が付され、思考が広がりにくいところがある。また、写真やイラストに生徒に考えさせたい内容が全て記載されてしまっているものがある。	B	(1) 各章の扉に、各地域の様子やつながりを視覚的に捉える図や大きく時代を見渡す学習課題を設け、時代の特色や相互の関連を多面的・多角的に考察できるよう工夫している。 (2) 章や部の学習のまとめの、学習を通して学んだ課題について、どのように解決するかを選択・判断するための問いが設定されている。 (3) 章や部の学習のまとめの、対話的な活動が設定されており、交流の中で意見を深める工夫がされている。	A
③	(1) 単元を貫く問いが各ページに記載されている。各章ごとの「学習のまとめ」は、各時代でもっとも重要な人物や出来事を自分で選び、その理由を考える課題が設定されており、さまざまな視点で歴史的な事象を考察することで学びを深めることができる。 (2) 資料は大きく、見やすいが、多面的・多角的に意見を引き出すコラムは少ない。歴史的な事実の記載は多いが、未来へつなぐ視点が少ない。	B	(1) 章の最初に示された学習課題と毎時間の学習課題とを関連づけ、生徒に深い思考を促すためのしかけが少ない。 (2) 「第10章 現代の日本と世界」では、歴史を今日の課題と結びつけ、よりよい社会の実現に向けて考え、現代史の学習を公民的分野の学習につなげていく工夫がされている。	B
④	(1) カラーUDに基づく紙面づくりがなされ、各ページ同じ配置・構成で見やすい。UDフォントを採用。 (2) 全体的に写真が小さい。資料の重なりや地図に見にくさがある。 (3) 視覚効果の高いA B版を採用している。全292ページ。	B	(1) カラーUDに配慮した紙面づくりがなされているが、本文の文字が細く、薄く見える。 (2) A4版が採用され、写真や図、グラフなどをゆったり大きく配置している。 (3) A4版であるため大きく扱いづらい面がある。全299ページ。	B
⑤	(1) 日本と世界の出来事が錯綜しており、まとまりが薄い。また、教科書に書き込むように指示が出されているところがあるが、余白部分が少なく使いにくい箇所が見られる。資料の提示は、丁寧かつ豊富である。 (2) デジタルアーカイブにより各単元の関連サイトが閲覧できる。	B	(1) 生徒の主体的な学習のために太字をなくしているが、時代を捉えるキーワードを捉えにくい面がある。 (2) 二次元コードがなく、デジタル教材の設定がない。	B
⑥	(1) 「多様性の尊重」「人権尊重」「世界平和」「環境」について言及されている。「いじめ」に関する直接的な記述はない。	B	(1) 「多様性の尊重」「人権尊重」「世界平和」「環境」について言及されている。「いじめ」に関しての直接的な記述はない。	A

【様式 2】

中学校 種目 社会（歴史的分野）

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 5

観 点 番 号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名			
	令和書籍（令書） 国史教科書	評 価		評 価
①	(1)「国史」とあるように主に日本の歴史について詳しく記述しており、特に天皇に関する内容が目立つ。内容も高度なものが含まれる。 (2)写真・図・グラフを活用する問いがほとんど見られず、生徒にとって難解である。 (3)各章の終わりにレポート、年表でのまとめ方やディベートの方法がまとめられている。	C		
②	(1)生徒の自発性を促す内容や問い立てになっている。 (2)「課題」や「考えよう」の設定が各単元でまばらになってしまっている。「fieldwork」では調査の例が提示されている。 (3)歴史的事象を判断する際に多面的・多角的に考察できない箇所が見られる。	C		
③	(1)単元を貫く問いの記載はない。各単元の課題は設定されているが、本文との区別がわかりにくく、生徒の意欲を引き出すものではない。また、課題の内容も難解で、中学生に見合う内容ではない。 (2)教科横断的な内容や地域学習が少なく、主体的に学ぶことは難しい。未来を視野に入れた学習内容ではなく、課題解決的な学習には不向きである。	C		
④	(1)UDフォントを採用しているが、縦書きで書かれており、文章量も多く、文字も小さい。 (2)巻末資料の地図や資料のみがカラーで、それ以外は白黒である。文字史料も多く、白黒の図版はやや見づらい。 (3)B5版を採用し、コンパクトであるが重く、扱いにくい、全463ページ。	C		
⑤	(1)該当の文の近くに資料が提示されておらず、多くの中学生が理解しづらい。 (2)デジタルコンテンツとして漫画が採用されている。見開きに内容がまとめられておらず、1時間の授業構成が作りにくい。 (3)本文部分の資料などがカラー提示されておらず、多くの中学生のレベルに即していない。	C		
⑥	「多様性の尊重」「人権尊重」「世界平和」「環境」について言及されている。「いじめ」に関する直接的な記述はない。	B		

【様式 3】

中学校 種目 社会（歴史的分野）

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 1

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	東京書籍 (東書)	・政治・産業・社会・文化についての内容を時代ごとにバランスよく配置、歴史の流れと各時代の特色を理解しやすい。 ・小学校とのつながりを意識した紙面構成で、各単元の振り返りで、振り返りの内容が丁寧に示さ、思考ツールも用いながら、生徒が主体的に学習に取り組みやすい。 ・章末「まとめの活動」において思考ツールが提示されている。 ・章の導入において探求する問いが節ごとに提示され、各節の考察の仕方をわかりやすく紹介している。 ・「チェック&トライ」が1時間ごとに設けられており、歴史的事象の考察ができる工夫がされている。一部字数制限のある問いがあり、思考が妨げられる面がある。 ・「探求のステップ」では、段階的に課題が設定され「どのように」というまとめを促す問いだけでなく、「なぜ」といった生徒に深い学びを促す課題設定がされている。 ・UDフォントを使用。本文と資料の境目がはっきりして見やすい。側注やコラムの文字がやや小さい。 ・写真が濃淡を抑えているためコントラストが薄い。図・グラフなどのバランスはとれているが、写真のサイズが画一的であるため、大きく見せたい写真が通常サイズのことがある。 ・視覚効果の高いA B版を採用。全287ページ ・1時間の分量が簡潔にまとめられており、文章の周囲に写真やグラフが提示されていて見やすい。 ・各ページにQRコードが設定されており、内容に関連したデジタル教材が豊富である。教科書資料の拡大版やNHK for schoolなどが授業で活用しやすい。 ・「多様性の尊重」「人権尊重」を中心にしながら、「世界平和」「環境」についても言及されている。「いじめ」に関する直接的な記述はない。
教科書の 記載番号	歴史002-72	
書名	新しい社会 歴史	

【様式 3】

中学校 種目 社会（歴史的分野）

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 2

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	教育出版 (教出)	・政治・産業・社会・文化についての内容を時代ごとにバランスよく配置、歴史の流れと各時代の特色を理解しやすい。また、各ページの単元名に工夫が見られる。 ・学習の見通しが立てやすく、「HOP! STEP! JUMP!」と章のまとめ・振り返りの学習活動に取り組みやすい。 ・章末「まとめ STEP JUMP」に資料が効果的に提示されている。 ・各ページの「表現」の中には「図にして説明しよう」と課題設定されているものがあるが、生徒が自分でイメージして取り組みにくい。 ・各章の問いと、各節の問いとのつながりを生徒に意識させにくい。 ・各章のはじめに学習内容に関する写真を提示している。また、単元の流れを視覚的に見通すことができる。章ごとのまとめでは、前の時代と比較させながらその時代の転換点を考えさせる課題が設定されており、主体的に学習させることをねらいとしている。 ・「TRY!」では、歴史的事象以外にも自分が住んでいる地域や未来の日本、自分にできることなどへの調査や研究を促す課題が設定されている。 ・カラーUDに基づく紙面づくり。本文と資料の境目がはっきりして見やすい。UDフォントを採用。 ・写真や図、グラフなどを幅広く掲載している。やや内容が詳しいものも含まれ、地図などが小さい図版がある。小学校での既習事項を示す記号などが図版と重なっており見づらい。 ・視覚効果の高いAB版を採用。全298ページ ・資料構成として1ページでうまく完結している。 ・各章の扉にデジタルコンテンツのリンク集が設定されている。デジタルコンテンツの内容が、授業で直接使える内容が少なく、使いづらい。 「世界平和」についての記載が多い。「多様性の尊重」「人権」「環境」についても言及されている。「いじめ」に関する直接的な記述はない。
教科書の 記載番号	歴史017-72	
書名	中学社会 歴史 未来をひらく	

【様式 3】

中学校 種目 社会（歴史的分野）

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 3

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	帝国書院 (帝国)	・政治・産業・社会・文化についての内容を時代ごとにバランスよく配置、歴史の流れと各時代の特色を理解しやすい。 ・章末に歴史的な見方・考え方を働かせて取り組む学習課題や思考ツールを用いて章や節の問いを整理・考察する内容があり取り組みやすい。 ・巻頭の思考ツールの説明が詳細かつ丁寧でわかりやすい。 ・「章の振り返り」の問い立てに対して、歴史的な見方や考え方のヒントが示されており、生徒が多面的・多角的に考察しやすい。 ・写真やイラストに答えが全て記入されている箇所があり、思考が広がりにくい。 ・単元を貫く問いが各ページに記載されている。大型イラスト「タイムトラベル」は、時代の特色を大観でき、各章のまとめとも関連付けて学習することができる内容となっている。 ・各章の振り返りを基に、巻末の「これからの社会を構想しよう」で、よりよい社会の実現にむけた公民的分野の学習への接続が図られている。 ・カラーUDに基づく紙面づくりがされている。UDフォントを採用。 ・写真や図、グラフなどが豊富で、きれいに配置されている。図の周囲を色で囲っており、判別しやすい。ただ、注を示す色の見づらさや側注部分の余白が目立つ。 ・視覚効果の高いA B版を採用している。全314ページ ・「学習を振り返ろう」の年表に直接書き込める余白が少ない。アクティブ歴史の「TRY」は分かりやすく構成されており生徒が主体的・対話的に学習を進めやすい。 ・デジタルコンテンツでは特にNHK for Schoolの動画が豊富に用意されている。 ・「世界平和」「人権尊重」を中心に「多様性の尊重」「環境」について言及されており、コラム「未来にむけて」でうまくまとまっている。「いじめ」に関する直接的な記述はない。
教科書の 記載番号	歴史046-72	
書名	社会科 中学生の 歴史 日本の歩み と世界の動き	

【様式 3】

中学校 種目 社会（歴史的分野）

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 4

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	山川書籍 (山川)	・政治・産業・社会・文化についての内容をかなり詳しく記述、文章量も多い。世界史とのつながりを強く意識した構成になっている。 ・各資料に「Q」を付けた問いを示しており、考えを深めることができるが、やや量が多い。單元ごとの振り返りはシンプルなもので、社会科が苦手な生徒は取り組みにくい。
教科書の 記載番号	歴史81-72	・章末「まとめ」は知識を整理しやすく構成されているが、生徒が思考・判断・表現を働かせる主体的に取り組むためのしかけが少ない。 ・各ページ「ステップアップ」はさまざまなパターンの豊富な問いが準備されているが、歴史が苦手な生徒が思考するには難易度が高い。
書名	中学歴史 日本と 世界 改訂版	・「歴史からのアプローチ」は学習内容を詳しく掘り下げた内容で、深い知識と教養を身につけさせようとしている。 ・単元を貫く問いの設定はない。各時間の課題設定は「どのように」という問いが多く、知識の振り返りにとどまっており、生徒の考えを引き出したり、意見を交流したりする場面が少ない。また、内容も難しいものが多い。 ・歴史を深く学ぶことができるが、未来を視野に入れた学習活動は少ない。 ・カラーUDに基づく紙面で、UDフォントを採用しているが、文字のフォントがかなり小さい。本文は横書きに対し、史料は縦書きになっている。 ・写真や図、グラフなどが幅広く掲載されており、やや内容が詳しいものも含まれる。そのため、地図など小さい図版がある。 ・視覚効果の高いAB版を採用している。全288ページ。 ・本文全体が、因果関係を重視した詳しい記述となっており、情報量が豊富である。「歴史へのアプローチ」にも中学生に考えさせたい内容が豊富に用意されているが、単元扱いにされていない事により、授業での扱いに工夫が必要。 ・デジタルコンテンツとして博物館や資料館のウェブページを確認することができる。 ・「多様性の尊重」「人権尊重」「世界平和」「環境」について言及されている。「いじめ」についての直接的な記述はない。

【様式 3】

中学校 種目 社会（歴史的分野）

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 5

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	日本文教出版 (日文)	・政治・産業・社会・文化についての内容を時代ごとにバランスよく配置、歴史の流れと各時代の特色が理解しやすくなっている。 ・本文が、「学習課題」、「見方・考え方」、「学び合い」、「確認・表現」という構成で学習に取り組みやすい。 ・「歴史的な見方・考え方」では学習の仕方、特に思考・判断・表現の面で非常によくまとめられている。 ・章末「まとめとふり返し」は、歴史が苦手な生徒も取り組みやすい内容となっている。 ・各ページに「確認」「表現」の問い立てが幅広い中学生のレベルに即してなされている。 ・単元を貫く問いを各ページに記載。生徒が意識して学習しやすい。各章のまとめに、単元を貫く問いへの答えを考える課題が設定され、ヒントとなる語句も記されているため苦手な生徒でも主体的に学習に取り組みやすい。 ・巻末「歴史との対話を未来に活かす」で学習内容と現代社会が抱える課題の関連性がわかりやすく示されている。 ・カラーUDによる紙面づくりでたいへん見やすい。UDフォントを採用。 ・写真や図・グラフなどのバランスがよい。大きさも均一的でなく、軽重がとれている。側注の文字も読みやすく、写真も鮮明で見やすい。 ・視覚効果の高いA B版を採用。全307ページ。 ・生徒が主体的に学習に取り組みやすい内容構成となっている。 ・各編の節の最初にあるデジタルコンテンツ「イントロダクションムービー」が学習への導入に効果的である。 また、各ページにQRコードが設定されており、内容に関連したデジタル教材が豊富に準備されている。 ・「多様性の尊重」「人権尊重」「世界平和」「環境」「いじめ」についてすべてに言及している。間接的ではあるが、「いじめ」に関する記述がある。
教科書の 記載番号	歴史116-72	
書名	中学歴史 歴史的分野	

【様式 3】

中学校 種目 社会（歴史的分野）

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 6

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	自由社 (自由社)	・ 章末の「復習問題のページ」に、太字で記されている語句を問う問題や地図問題があり、基礎的・基本的な知識の定着を図ることができる。 ・ 章末に「調べ学習のページ」を設けて、資料を読み解いたり、分かったことをまとめたりする技能を働かせる内容となっている。
教科書の 記載番号	歴史225-72	・ 歴史に関わる事象について、多面的・多角的に考察できるよう、写真や絵、グラフ、地図などの資料が多く掲載されている。 ・ 歴史に見られる課題を把握し、公正に選択・判断し、活用できる資料を豊富に掲載し、各章に「もっと知りたい」コラムを掲載している。
書名	新しい歴史教科書	・ 章末に「対話とまとめのページ」を設け、時代の流れにそった「まとめのページ」をもとにした対話の例が示されている。 ・ 単元を貫く問いの設定がないため、生徒が見通しをもって主体的に追求することが難しい。学習課題や振り返りとして「チャレンジ」が設定されているが、歴史的事象の内容や流れの確認がほとんどである。 ・ イラストの「翔太くん」や「さくらちゃん」の会話から、当時の人物や政策のねらいを理解し、現代との比較がしやすくなるよう工夫がされてされている。 ・ 色やデザインの工夫がなされているが、側注や資料の文字が小さい。また、フォントの種類が統一されていない。 ・ 写真や図・グラフなどを網羅的に掲載しているため、小さく見にくい図版がある。 ・ 視覚効果の高いA B版を採用。全308ページ。 ・ 生徒が主体的に学習を進めるための課題設定がされているが、文字フォントが小さく読みづらい。 ・ 二次元コードがなく、デジタル教材の設定がない。 ・ 「多様性の尊重」「人権尊重」「世界平和」「環境」について言及されている。「いじめ」に関しての直接的な記述はない。

【様式 3】

中学校 種目 社会（歴史的分野）

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 7

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	育鵬社 (育鵬社)	・日本の歴史について詳細に記述している。近現代史に入ると主観を交えた記述が見られる。巻頭の「日本の美の形」で、伝統と文化を尊重する態度を育成しようとする工夫が見られる。 ・章の導入が見開き2ページと充実しているが、イラストや吹き出しが多く、目移りする。各ページの注釈やコラムが多いが、資料を読み取る視点を示す部分が少ない。 ・各ページの「確認」は、教科書本文より抜き出すように課題設定されているが、生徒の自由な思考につながりづらい。 ・「探究」の課題は、本文の内容をもとに説明する内容が設定されている。 ・史料に要約が付され、思考が広がりにくいところがある。また、写真やイラストに生徒に考えさせたい内容が全て記載されてしまっているものがある。 ・単元を貫く問いが各ページに記載されている。各章ごとの「学習のまとめ」は、各時代でもっとも重要な人物や出来事を自分で選び、その理由を考える課題が設定されており、さまざまな視点で歴史的事象を考察することで学びを深めることができる。 ・資料は大きく、見やすいが、多面的・多角的に意見を引き出すコラムは少ない。歴史的な事実の記載は多いが、未来へつなぐ視点が少ない。 ・カラーUDに基づく紙面づくりがなされ、各ページ同じ配置・構成で見やすい。UDフォントを採用。 ・全体的に写真が小さい。資料の重なりや地図に見にくさがある。 ・視覚効果の高いAB版を採用している。全292ページ。 ・日本と世界の出来事が錯綜しており、まとまりが薄い。また、教科書に書き込むように指示が出されているところがあるが、余白部分が少なく使いにくい箇所が見られる。資料の提示は、丁寧かつ豊富である。 ・デジタルアーカイブにより各単元の関連サイトが閲覧できる。 ・「多様性の尊重」「人権尊重」「世界平和」「環境」について言及されている。「いじめ」に関しての直接的な記述はない。
教科書の 記載番号	歴史227-72	
書名	新しい日本の歴史	

【様式 3】

中学校 種目 社会（歴史的分野）

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 8

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	学び舎 (学び舎)	・政治、産業、社会、文化についての内容をバランスよく配置し、歴史の流れと時代の特色を理解しやすくしている。 ・各章の扉ページには、世界地図や章のテーマに基づいた、その時代の各地の様子を表す写真や絵が配置され、視覚的に生徒の興味・関心を引き出す工夫がなされている。
教科書の 記載番号	歴史299-72	・各章の扉に、各地域の様子やつながりを視覚的に捉える図や大きく時代を見渡す学習課題を設け、時代の特色や相互の関連を多面的・多角的に考察できるよう工夫している。 ・章や部の学習のまとめのに、学習を通して学んだ課題について、どのように解決するかを選択・判断するための問いが設定されている。
書名	ともに学ぶ人間の 歴史	・章や部の学習のまとめのに、対話的な活動が設定されており、交流の中で意見を深める工夫がされている。 ・章の最初に示された学習課題と毎時間の学習課題とを関連づけ、生徒に深い思考を促すためのしかけが少ない。 ・「第10章 現代の日本と世界」では、歴史を今日の課題と結びつけ、よりよい社会の実現に向けて考えられるよう、現代史の学習を公民的分野の学習につなげていく工夫がされている。 ・カラーUDに配慮した紙面づくりがなされているが、本文の文字が細く、薄く見える。 ・A4版が採用され、写真や図、グラフなどをゆったり大きく配置している。 ・A4版であるため大きく扱いづらい面がある。全299ページ。 ・生徒の主体的な学習のために太字をなくしているが、時代を捉えるキーワードを捉えにくい面がある。 ・二次元コードがなく、デジタル教材の設定がない。 ・「多様性の尊重」「人権尊重」「世界平和」「環境」について言及されている。「いじめ」に関する直接的な記述はない。

【様式 3】

中学校 種目 社会（歴史的分野）

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 9

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	令和書籍 (令書)	・「国史」とあるように主に日本の歴史について詳しく記述しており、特に天皇に関する内容が目立つ。内容も高度なものが含まれる。 ・写真・図・グラフを活用する問いがほとんど見られず、生徒にとって難解である。 ・各章の終わりにレポート、年表でのまとめ方やディベートの方法がまとめられている。 ・生徒の自発性を促す内容や問い立てになっている。 ・「課題」や「考えよう」の設定が各単元でまばらになってしまっている。「fieldwork」では調査の例が提示されている。 ・歴史的事象を判断する際に多面的・多角的に考察できない箇所が見られる。 ・単元を貫く問いの記載はない。各単元の課題は設定されているが、本文との区別がわかりにくく、生徒の意欲を引き出すものではない。また、課題の内容も難解で、中学生に見合う内容ではない。 ・教科横断的な内容や地域学習が少なく、主体的に学ぶことは難しい。未来を視野に入れた学習内容ではなく、課題解決的な学習には不向きである。 ・UDフォントを採用しているが、縦書きで書かれており、文章量も多く、文字も小さい。 ・巻末資料の地図や資料のみがカラーで、それ以外は白黒である。文字史料も多く、白黒の図版はやや見づらい。 ・B5版を採用し、コンパクトであるが重く、扱いにくい、全463ページ。 ・該当の文の近くに資料が提示されておらず、多くの中学生が理解しづらい。 ・デジタルコンテンツとして漫画が採用されている。見開きに内容がまとめられておらず、1時間の授業構成が作りにくい。 ・本文部分の資料などがカラー提示されておらず、多くの中学生のレベルに即していない。 「多様性の尊重」「人権尊重」「世界平和」「環境」について言及されている。「いじめ」に関する直接的な記述はない。
教科書の 記載番号	歴史236-73	
書名	国史教科書	

令和 6 年度教科用図書第二採択地区調査委員会 報告書

令和 7 年度使用 中学校 種目 公 民

提出書類	別添	様式 1 (1) 枚
		様式 2 (3) 枚
		様式 3 (6) 枚

【様式 1】

中学校 種目 公 民 令和7年度使用教科用図書調査研究観点(案) 第二採択地区

項目	観 点		観点の内容	
1 観 点	A	知識及び技能	①	・我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して、社会における様々な場面で活用できる、概念などに関する知識を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。
			②	・調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けさせるための工夫や配慮がなされているか。
	B	思考力・判断力・表現力等	②	・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察させるための工夫や配慮がなされているか。
			④	・社会に見られる課題の解決に向けて選択したり判断したりするための工夫や配慮がなされているか。
			⑤	・思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を育成するための工夫や配慮がなされているか。
	C	学びに向かう力・人間性等	⑥	・社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に入れ、課題を主体的に解決しようとする態度を養うような工夫や配慮がなされているか。
			⑦	・社会的事象について、多面的・多角的な考察や深く理解させるための工夫や配慮がなされているか。
2 か資 か料 わ・ る学 構習 成指 等導 に	⑧	教材・資料の構成等について	・ユニバーサルデザインの視点から適切な配慮がなされているか ・図や写真のバランスよく入っており、文字の大きさが適切であるか ・分量や重さ、大きさが適切であるか ・デジタルコンテンツは児童（生徒）が学習を進めるうえでの参考となり、さらに教材に興味・関心をもって、深い学びにつなげていく資料であるか。（考慮の一事項とする。）	
3 地第 区二 観採 点択	⑨	「多様性の尊重」、「人権尊重」、「世界平和」、「いじめ」「環境」等の現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているか	・今日的な社会事象（「多様性の尊重」、「人権尊重」、「世界平和」、「いじめ」、「環境」、「防災」）を、多面的・多角的にとらえ、公平公正な視点で考えることができる工夫や配慮がなされているか。	

【様式 2】

中学校 種目 公 民

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 1

観 点 番 号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名			
	東京書籍 新編 新しい社会 公民	評 価	教育出版 中学社会 公民 とともに生きる	評 価
①	・章末の「確かめよう」では、語句の意味を説明させる活動を通し、知識の定着を図ることができる。 ・「もっと解説」では、本文の内容をより詳しく解説することによって、理解を深めることができる。 ・「スキルアップ」では、基礎的・基本的な内容をさらにわかりやすく解説することでより深い理解へつなげることができる。	A	・「確認」では、毎時間学習したことを確認し、整理できるように工夫と配慮がなされている。 ・章末の「HOP」では、学習したことを振り返り整理できるような構成になっている。 ・「側注」では、本文の難しい語句の解説をすることで、より深く理解できるようになっている。	A
②	・グラフや表を活用し、具体的に考えまとめる技能を身につける部分があることや、章末には探求課題を解決するために、資料を活用し自分が何をすべきか考えさせたり、終章において、資料を活用しスライドやレポートにまとめる方法の例が示されていたりするなど、工夫されている。	A	・「THINK」では、資料を活用する技能を必要とする学習活動が設定されているが数は多くない。課題の設定は、考えを深め、思考力・判断力・表現力を育成するよう工夫や配慮がなされている。 ・最終章では、学習を振り返り、自分の考えを提案する活動にとどまっている。	B
③	・小学校との関連や「スキルアップ」で身につけた技能を活用する課題が設定されており、学習内容に沿って学びを深められるよう工夫されている。 ・「導入の活動」では、学習内容に沿った問いかけがなされ、「みんなでチャレンジ」では、学習内容に沿った課題が設定されており、生徒が考えを深めることで、思考力・判断力・表現力が育成されるよう工夫や配慮がなされている。	A	・キャラクターの言葉を用いて、学習課題に対して考えを深めたり、補足したりする工夫や配慮がなされている。 ・「表現」や「見方×考え方」では学習内容をもとに考えを深める工夫や配慮がなされている。 ・「公民の窓」では、現代社会の特徴と課題を身近な出来事からとらえ役割や責任を自覚しやすいよう工夫されている。	B
④	・「みんなでチャレンジ」は興味深い資料が多い。 ・「チェック」では、学習を振り返ることができる工夫と配慮がなされているが、「トライ」による毎時間のまとめや振り返りは、やや難易度が高い。	B	・「公民の技」では、グループで話し合う活動などを通じて課題解決を進める工夫がなされているが、生徒が取り組みにくいテーマもある。	B
⑤	・「導入の活動」とリンクした「まとめの活動」を予告することで単元全体の見通しがもちやすく、全体的に単元での課題解決的な学習の流れが明示されているが、情報量が多い。	B	・「学習のはじめに」では、学習意欲を喚起させ、「STEP」「JAMP」で思考が深められるように工夫されているが、個人で意見をまとめる活動が多い。	B
⑥	・「導入の活動」で単元全体を貫く「探求課題」を立て学習課題をつかみやすくし、生徒の主体的な学習活動を促す工夫や配慮がなされている。 ・「18歳へのステップ」は、選挙や契約に生徒が興味を持ち、主体的に社会に参画していく意識付けができるよう工夫と配慮がなされている。	A	・「LOOK」では、導入資料の解説をすることで、資料への理解を深め、生徒の自学自習に役立てるような工夫がなされている。 ・「持続可能な社会に向けて」では現代社会の課題を自分事として考えていくための工夫がなされているが、内容や活動がやや難しい。	B
⑦	・「みんなでチャレンジ」では、グループで話し合う対話的な学びの工夫がされており、見方・考え方を働かせる視点の例も示され、多面的・多角的に考えるヒントがある。一方で、文字が小さく重要視されづらい。	B	・「効率と公正」をテーマにして考察を深める部分は工夫されているが、全体的にはよりよい社会の実現に向けて多面的・多角的な考察をさせる学習活動や内容が少ない。	B
⑧	・動画コンテンツに、独自のアニメーションを入れていることや、ページごとにQRコードで直接資料に生徒がアクセスし、ワークシートに書き込めるなど工夫されているが、教科書資料のフォント、写真はやや小さい。	A	・フォントが見やすく、背景の色を変えることで、本文と資料の見分けがつきやすい。 ・まとめワークは、QRコードを活用し直接操作したり書き込めたりできる工夫がなされている。 ・「中学社会クイズ」で基礎基本の定着を図れる。	A
⑨	・環境問題、多文化共生等を含めて、多くの現代的な諸課題をとりあげており、記事やコラムの量や内容ともに充実している。	A	・全編を通してSDGsの指標から新しい視点を取り上げて工夫しているが、記載量は多くない。	B

【様式 2】

中学校 種目 公 民

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 2

観点 番号	発 行 社 (略 称) と 書 名			
	帝国書院 社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	評 価	日本文教出版 中学社会 公民的分野	評 価
①	・「確認しよう」では、本文や図版から学習上大切な事項を確認させる問いをもうけ、知識の確実な定着を促す工夫がなされている。 ・章末の「学習を振り返ろう」では、図を活用し知識が整理できるような工夫と配慮がなされている。 ・「解説」「側注」では、基本的な用語や事象がより理解しやすいようになっている。	A	・「確認」「章のまとめをしよう」では、学習内容を振り返り、知識を整理するとともに定着させることができるような工夫や配慮がなされている。 ・「側注」では、本文の内容を補完し、「公民+α」では、学習内容に関し掘り下げた内容を掲載しており、理解を深める工夫や配慮がなされている。	A
②	・単元ごとの最後で、単元の学習内容を振り返り、まとめながら「探究学習への準備」のコーナーで、資料を活用して調べまとめる技能を身につける工夫がされている。 ・思考ツールの活用方法がわかりやすい。 ・「資料活用」では、効果的に資料を活用し学びを深める工夫がなされている。	A	・「情報スキルアップ」では、ネットや新聞などの様々な情報を適切に扱うコーナーが2か所設定されている。各所に「資料活用」と示して、資料を用いた活動を提案している。最終章では、レポート作成のためのまとめ方や、資料の収集と読み取り方法等が具体的に詳しく説明されている。	A
③	・「学習の前に」では、学習意欲を喚起させる導入になるようイラストで見やすくし、単元の学習が見通せるような工夫や配慮がなされている。 ・「対話」では、学習意欲を喚起させ、生徒に考えを持たせるような工夫や配慮がなされている。	A	・「アクティビティ」では学習課題の解決に向かう中で、思考力・判断力・表現力が育成されるよう課題の設定に工夫や配慮がなされている。 ・キャラクターの言葉を用いて、学習課題への考えを深めたり、補足したりする工夫がなされている。	A
④	・「アクティブ公民」や「未来に向けて」は、活動内容がわかりやすく、課題解決に向けて、多面的・多角的に考えられるテーマが多く取り上げられている。 ・学力に関係なく、活用できる資料が多い。	A	・導入でのテーマは生活にリンクする内容で、「明日に向かって」や「アクティビティ」でも身近なテーマが多く取り上げられ学習に取り組みやすい。 ・「確認」で本文の読み取りを利用して考える活動が多い。	A
⑤	・「章の問い」「節の問い」「学習課題」により見通しをもって学習に臨むことができる。 ・「アクティブ公民AL」では、特設ページやコラムが多く、社会参画の意識向上への工夫がある。	A	・「学習課題」では、見開きで何を学ぶのかを明確にし、生徒が意欲的に学習を進めやすいよう工夫や配慮がなされている。	A
⑥	・各章のSDGsとの関連がわかりやすく、生徒の主体的な学習活動を促す配慮がされている。 ・終章の「課題探究学習」では、資料の活用方法、まとめ方等の例が多く示され、丁寧に学習方法が記載されている。	A	・「表現」では、自分のこれからの生活について考えるアプローチができる。 ・「チャレンジ公民」や「まとめとふりかえり」では、単元ごとに学習内容を振り返る課題が設定されており、考えを深める工夫や配慮がなされている。	A
⑦	・「未来に向けて」の内容はわかりやすく、生徒が自分自身の考え方を形成していくための一助となる ・「アクティブ公民AL」「18歳への準備」での活動内容がわかりやすく、身近な社会課題として考察しやすい。	A	・「アクティビティ」では、多様な視点で考察する活動で理解を深める工夫がなされている。内容はコンパクトにまとめられているが、数が多い。 ・「チャレンジ公民」では、将来の社会参画への意欲を高める態度を養うよう留意されている。	B
⑧	・節の始めにQRコードが提示され、直接資料にアクセスすることができる。また、生徒が、QRコードでワークシートに直接書き込むことができる。 ・教科書のイラストをダウンロードできる。 ・写真が大きく、資料のフォントも見やすい。	A	・ページごとにQRコードで直接資料にアクセスすることができる。また、生徒が、QRコードでワークシートに直接書き込むことができる。 ・教科書のイラストをダウンロードできる。 ・資料や写真、図が大きく見やすい。	A
⑨	・現代的な諸課題についてのコラムのテーマが明確に示されており、わかりやすく、「環境」「防災」に関する資料が充実している。	A	・多くの現代的な諸課題を、写真や図を活用して見やすくとりあげている。「多様性の尊重」「人権尊重」「世界平和」のコラムが多く、充実している。	A

【様式 2】

中学校 種目 公 民

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 3

観点番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名			
	自由社 新しい公民教科書	評 価	育鵬社 新しいみんなの公民	評 価
①	・「ミニ知識」では、内容をより深く理解させるために詳しく記述されている。 ・単元ごとの「もっと知りたい」では、知識の幅を広げるために、様々な関連テーマを設けている。文章記述が中心ではあるがより深められる。 ・「ここがポイント」の欄で、1時間のまとめを記載している。	B	・「確認」で、基礎的・基本的な内容を振り返り、「学習のまとめ」において、資料を活用しながら重要語句のチェックをするなど、知識の定着を図る工夫と配慮がなされている。 ・「学習を深めよう」では、学習内容に関連する身近な資料を示すことで、より深い学びや理解につなげることができる。	B
②	・章末に「学習のまとめ」や「学習の発展」、「アクティブに深めよう」という課題が設定されている。400字から600字の文字数指定があり、まとめる技能を伸ばす工夫がなされているが、難易度が高い。	B	・「探究」が毎時間、設定されている。学習した内容をまとめ表現する技能が身につく工夫がなされている。終章では、レポートを作成する単元が設定されているが、具体的な方法の記載は少ない。	B
③	・本文を解説するために余白に説明が文章で記述されているが、やや文量が多い。 ・全般的に文章表記が多く、グラフや図解が少ない。特色や相互の関連性などを視覚的に考察するための資料が少ない。	B	・「見方・考え方」や「やってみよう」では、学習内容に沿った課題が設定されており、考えを深める工夫や配慮がなされている。 ・章ごとに「入口」と「これから」が設定されており、学習課題に対して単元を通して思考力・判断力・表現力が育成されるよう工夫や配慮がなされている。	B
④	・憲法学習の単元において、時事的な話題の取り扱いが少なく、平等に関する問題や新しい権利は、「もっと知りたい」など、本文ではない設定になっている。	B	・「探究」で取り上げている内容は、タイムリーな話題が多く興味深い、抽象的で難しいものがある。	B
⑤	・「やってみよう」では、現代社会の課題解決ばかりでなく、幅が広いテーマ設定がなされている。 ・「学習の発展」では、個人課題となっており、他者の意見を取り入れた対話的な活動による思考形成の場面が少ない。	B	・「学習を深めよう」では、事象を多面的・多角的に考え、今日的課題について深い学びを行うことができるよう工夫や配慮がなされている。	B
⑥	・「アクティブに深めよう」では、400字から600字のレポート作成が課題となっており、表現力を伸ばす工夫がなされているが、個人で課題解決に取り組む設定が多い。	B	・「学習のまとめ」では、現代社会の課題に対し主体的に関わろうとする態度を育成する課題が設定されている。 ・章の最初と最後に社会的事象を主体的に解決するための課題が提示されているが、内容が難しい。	B
⑦	・社会的事象を深く理解させるための記述やコラムは数多く設定されているが、多面的多角的に考察させるための資料が少なく、関連づけて学ぶ場面は少ない。	B	・ページ下部には「確認」「探究」のコーナーで短く課題を示しているが、よりよい社会の実現に向けて多面的・多角的な考察をさせる部分はかなり少ない。	B
⑧	・デジタルコンテンツの取り扱いは見られない。 ・写真やグラフ、図解が少ないため、文字読解より視覚優位な生徒にとっては、基礎基本の理解が難しい。写真が古い。	C	・QRコードから学習に役立つウェブサイトへ直接アクセスできるようになっている。 ・行間が狭く、情報量が多い。 ・写真が暗く、見づらいものがある。	B
⑨	・現代的な諸課題を取り上げているが、説明的な記述が多く内容が難しい。 ・「多様性の尊重」や「環境」「防災」等の記載が少ない。	C	・外国人の社会権、参政権を取り上げる等の工夫をしているが、「多様性の尊重」「人権尊重」「世界平和」等の記載は少ない。	C

【様式 3】

中学校 種目 _____ 公 民 _____

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 1

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	東京書籍	・章末の「確かめよう」では、語句の意味を説明させる活動を通し、知識の定着を図ることができる。 ・「もっと解説」では、本文の内容をより詳しく解説することによって、理解を深めることができる。 ・「スキルアップ」では、基礎的・基本的な内容をさらにわかりやすく解説することでより深い理解へつなげることができる。 ・グラフや表を活用し、具体的に考えまとめる技能を身につける部分があることや、章末には探求課題を解決するために、資料を活用し自分が何をすべきか考えさせたり、終章において、資料を活用しスライドやレポートにまとめる方法の例が示されていたりするなど、工夫されている。 ・小学校との関連や「スキルアップ」で身につけた技能を活用する課題が設定されており、学習内容に沿って学びを深められるよう工夫されている。 ・「導入の活動」では、学習内容に沿った問いかけがなされ、「みんなでチャレンジ」では、学習内容に沿った課題が設定されており、生徒が考えを深めることで、思考力・判断力・表現力が育成されるよう工夫や配慮がなされている。 ・「チェック」では、学習を振り返ることができる工夫と配慮がなされているが、「トライ」による毎時間のまとめや振り返りは、やや難易度が高い。 ・「導入の活動」とリンクした「まとめの活動」を予告することで単元全体の見通しがもちやすく、全体的に単元での課題解決的な学習の流れが明示されているが、情報量が多い。 ・「導入の活動」で単元全体を貫く「探求課題」を立て学習課題をつかみやすくし、生徒の主体的な学習活動を促す工夫や配慮がなされている。 ・「18歳へのステップ」は、選挙や契約に生徒が興味を持ち、主体的に社会に参画していく意識付けができるよう工夫と配慮がなされている。 ・「みんなでチャレンジ」は興味深い資料が多い。グループで話し合う対話的な学びの工夫がされており、見方・考え方を働かせる視点の例も示され、多面的・多角的に考えるヒントがある。一方で、文字が小さく重要視されづらい。 ・動画コンテンツに、独自のアニメーションを入れていることや、ページごとにQRコードで直接資料に生徒がアクセスし、ワークシートに書き込めるなど工夫されているが、教科書資料のフォント、写真はやや小さい。 ・環境問題、多文化共生等を含めて、多くの現代的な諸課題をとりあげており、記事やコラムの量や内容ともに充実している。
教科書の 記載番号	002-92	
書名	新編 新しい社会 公民	

【様式 3】

中学校 種目 公 民

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 2

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	教育出版	・「確認」では、毎時間学習したことを確認し、整理できるように工夫と配慮がなされている。 ・章末の「HOP」では、学習したことを振り返り整理できるような構成になっている。 ・「側注」では、本文の難しい語句の解説をすることで、より深く理解できるようになっている。 ・「THINK」では、資料を活用する技能を必要とする学習活動が設定されているが数は多くない。課題の設定は考えを深め、思考力・判断力・表現力を育成するよう工夫や配慮がなされている。 ・最終章では、学習を振り返り、自分の考えを提案する活動にとどまっている。 ・キャラクターの言葉を用いて、学習課題に対して考えを深めたり補足したりする工夫や配慮がなされている。 ・「表現」や「見方×考え方」では学習内容をもとに考えを深める工夫や配慮がなされている。 ・「公民の窓」では、現代社会の特徴と課題を身近な出来事からとらえ役割や責任を自覚しやすいよう工夫されている。 ・「公民の技」では、グループで話し合う活動などを通じて課題解決を進める工夫がなされているが、生徒が取り組みにくいテーマもある。 ・「学習のはじめに」では、学習意欲を喚起させ、「STEP」「JAMP」で思考が深められるように工夫されているが、個人で意見をまとめる活動が多い。 ・「LOOK」では、導入資料の解説をすることで、資料への理解を深め、生徒の自学自習に役立てるような工夫がなされている。 ・「持続可能な社会に向けて」では現代社会の課題を自分事として考えていくための工夫がなされているが、内容や活動がやや難しい。 ・「効率と公正」をテーマにして考察を深める部分は工夫されているが、全体的にはよりよい社会の実現に向けて多面的・多角的な考察をさせる学習活動や内容が少ない。 ・フォントが見やすく、背景の色を変えることで、本文と資料の見分けが付きやすい。 ・まとめワークは、QRコードを活用し直接操作したり書き込めたりできる工夫がなされている。 ・「中学社会クイズ」で基礎基本の定着を図れる。 ・全編を通してSDGsの指標から新しい視点を取り上げて工夫しているが、記載量は多くない。
教科書の 記載番号	017-92	
書名	中学社会 公民 ともに生きる	

【様式 3】

中学校 種目 _____ 公 民 _____

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 3

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	帝国書院	・「確認しよう」では、本文や図版から学習上大切な事項を確認させる問いをもうけ、知識の確実な定着を促す工夫がなされている。 ・章末の「学習を振り返ろう」では、図を活用し知識が整理できるような工夫と配慮がなされている。 ・「解説」「側注」では、基本的な用語や事象がより理解しやすいようになっている。 ・单元ごとの最後で、単元の学習内容を振り返り、まとめながら「探究学習への準備」のコーナーで、資料を活用して調べまとめる技能を身につける工夫がされている。 ・思考ツールの活用方法がわかりやすい。 ・「資料活用」では、効果的に資料を活用し学びを深める工夫がなされている。 ・「学習の前に」では、学習意欲を喚起させる導入になるようイラストで見やすくし、単元の学習が見通せるような工夫や配慮がなされている。 ・「対話」では、学習意欲を喚起させ、生徒に考えを持たせるような工夫や配慮がなされている。 ・「アクティブ公民」や「未来に向けて」は、活動内容がわかりやすく、課題解決に向けて、多面的・多角的に考えられるテーマが多く取り上げられている。 ・「章の問い」「節の問い」「学習課題」により見通しをもって学習に臨むことができる。 ・「未来に向けて」の内容はわかりやすく、生徒が自分自身の考え方を形成していくための一助となる。 ・「アクティブ公民AL」では、特設ページやコラムが多く、社会参画の意識向上への工夫がある。 ・「アクティブ公民AL」「18歳への準備」での活動内容がわかりやすく、身近な社会課題として考察しやすい。 ・節の始めにQRコードが提示され、直接資料にアクセスすることができる。また、生徒が、QRコードでワークシートに直接書き込むことができる。 ・各章のSDGsとの関連がわかりやすく、生徒の主体的な学習活動を促す配慮がされている。 ・終章の「課題探究学習」では、資料の活用方法、まとめ方等の例が多く示され、丁寧に学習方法が記載されている。 ・学力に関係なく、活用できる資料が多い。 ・教科書のイラストをダウンロードできる。 ・写真が大きく、資料のフォントも見やすい。 ・現代的な諸課題についてのコラムのテーマが明確に示されており、わかりやすく、「環境」「防災」に関する資料が充実している。
教科書の 記載番号	046-92	
書名	社会科 中学生の公民 よりよい社会を 目指して	

【様式 3】

中学校 種目 公 民

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 4

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	日本文教出版	・「確認」で本文の読み取りを利用して考える活動を行い、「章のまとめをしよう」では、学習内容を振り返り、知識を整理するとともに定着させることができるような工夫や配慮がなされている。 ・「側注」では、本文の内容を補完し、「公民+α」では、学習内容に関し掘り下げた内容を掲載しており、理解を深める工夫や配慮がなされている。 ・「情報スキルアップ」では、ネットや新聞などの様々な情報を適切に扱うコーナーが2か所設定されている。各所に「資料活用」と示して、資料を用いた活動を提案している。最終章では、レポート作成のためのまとめ方や、資料の収集と読み取り方法等が具体的に詳しく説明されている。 ・「アクティビティ」では学習課題の解決に向かう中で、思考力・判断力・表現力が育成されるよう課題の設定に工夫や配慮がなされている。また、多様な視点で考察する活動で理解を深める工夫がなされており、内容がコンパクトにまとめられている。 ・キャラクターの言葉を用いて、学習課題への考えを深めたり、補足したりする工夫がなされている。 ・導入でのテーマは生活にリンクする内容で、「明日に向かって」や「アクティビティ」でも身近なテーマが多く取り上げられ学習に取り組みやすい。 ・「学習課題」では、見開きで何を学ぶのかを明確にし、生徒が意欲的に学習を進めやすいよう工夫や配慮がなされている。 ・「表現」では、自分のこれからの生活について考えるアプローチができる。 ・「チャレンジ公民」では、将来の社会参画への意欲を高める態度を養うよう留意されている。また、「チャレンジ公民」や「まとめとふりかえり」では、単元ごとに学習内容を振り返る課題が設定されており、考えを深める工夫や配慮がなされている。 ・ページごとにQRコードで直接資料にアクセスすることができる。また、生徒が、QRコードでワークシートに直接書き込むことができる。 ・教科書のイラストをダウンロードできる。 ・資料や写真、図が大きく見やすい。 ・多くの現代的な諸課題を、写真や図を活用して見やすくとりあげている。「多様性の尊重」「人権尊重」「世界平和」のコラムが多く、充実している。
教科書の 記載番号	116-92	
書名	中学社会 公民的分野	

【様式 3】

中学校 種目 公民

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 5

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	自由社	・「ミニ知識」では、内容をより深く理解させるために詳しく記述されている。 ・單元ごとの「もっと知りたい」では、知識の幅を広げるために、様々な関連テーマを設けている。文章記述が中心ではあるがより深められる。 ・「ここがポイント」の欄で、1時間のまとめを記載している。 ・章末に「学習のまとめ」や「学習の発展」、「アクティブに深めよう」という課題が設定されている。400字から600字の文字数指定があり、まとめる技能を伸ばす工夫がなされているが、難易度が高い。 ・本文を解説するために余白に説明が文章で記述されているが、やや分量が多い。 ・全般的に文章表記が多く、グラフや図解が少ない。特色や相互の関連性などを視覚的に考察するための資料が少ない。 ・憲法学習の單元において、時事的な話題の取り扱いが少なく、平等に関する問題や新しい権利は、「もっと知りたい」など、本文ではない設定になっている。 ・「やってみよう」では、現代社会の課題解決ばかりでなく、幅が広いテーマ設定がなされている。 ・「学習の発展」では、個人課題となっており、他者の意見を取り入れた対話的な活動による思考形成の場面が少ない。 ・「アクティブに深めよう」では、400字から600字のレポート作成が課題となっており、表現力を伸ばす工夫がなされているが、個人で課題解決に取り組む設定が多い。 ・社会的事象を深く理解させるための記述やコラムは数多く設定されているが、多面的多角的に考察させるための資料が少なく、関連づけて学ぶ場面は少ない。 ・デジタルコンテンツの取り扱いは見られない。 ・写真やグラフ、図解が少ないため、文字読解より視覚優位な生徒にとっては、基礎基本の理解が難しい。写真が古い。 ・現代的な諸課題を取り上げているが、説明的な記述が多く内容が難しい。 ・「多様性の尊重」や「環境」「防災」等の記載が少ない。
教科書の 記載番号	225-92	
書名	新しい公民教科書	

【様式 3】

中学校 種目 _____ 公 民 _____

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 6

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	育鵬社	・「確認」で、基礎的・基本的な内容を振り返り、「学習のまとめ」において、資料を活用しながら重要語句のチェックをするなど、知識の定着を図る工夫と配慮がなされている。 ・「学習を深めよう」では、学習内容に関連する身近な資料を示すことで、より深い学びや理解につなげることができる。 ・「探究」が毎時間、設定されている。学習した内容をまとめ表現する技能が身につく工夫がなされている。また、取り上げている内容は、タイムリーな話題が多く興味深い。 ・終章では、レポートを作成する単元が設定されているが、具体的な方法の記載は少ない。 ・「見方・考え方」や「やってみよう」では、学習内容に沿った課題が設定されており、考えを深める工夫や配慮がなされている。 ・章ごとに「入口」と「これから」が設定されており、学習課題に対して単元を通して思考力・判断力・表現力が育成されるよう工夫や配慮がなされている。 ・「学習を深めよう」では、事象を多面的・多角的に考え、今日的課題について深い学びを行うことができるよう工夫や配慮がなされている。 ・「学習のまとめ」では、現代社会の課題に対し、主体的に関わろうとする態度を育成する課題が設定されている。 ・章の最初と最後に社会的事象を主体的に解決するための課題が提示されているが、内容が難しい。 ・ページ下部には「確認」「探究」のコーナーで短く課題を示しているが、よりよい社会の実現に向けて多面的・多角的な考察をさせる部分はかなり少ない。 ・QRコードから学習に役立つウェブサイトへ直接アクセスできるようになっている。 ・行間が狭く、情報量が多い。写真が暗く、見づらいものがある。 ・外国人の社会権、参政権を取り上げる等の工夫をしているが、「多様性の尊重」「人権尊重」「世界平和」等の記載は少ない。
教科書の 記載番号	227-92	
書名	新しい みんなの公民	

令和 6 年度教科用図書第二採択地区調査委員会 報告書

令和 7 年度使用 中学校 種目 数 学

提出書類	別添	様式 1 (1) 枚
		様式 2 (4) 枚
		様式 3 (4) 枚

【様式 1】

中学校 種目 数 学 令和7年度使用教科用図書調査研究観点(案) 第二採択地区

項目	観 点		観点の内容	
1 観 点	A	知識及び技能	①	数量や図形についての基礎的な知識及び技能を身に付ける教材・学習活動について ・「例・例題」「問・練習問題」の量と内容 ・学習のまとめ、公式や性質を扱っている事項の量と内容
		思考力・判断力・表現力等	②	見通しを持ち筋道立てて考察する力、統合的・発展的に考察する力を身に付ける教材・学習活動について ・「例・例題」「問・練習問題」の量と内容 ・問題発見・解決する過程で、見通しを持ち筋道立てて考える量と内容
	B		③	数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確または柔軟に表す力を身に付ける教材・学習活動について ・「例・例題」「問・練習問題」の量と内容 ・具体物、図、言葉。式、表、グラフ等を用い、自分の考えを表現したり説明したりする学習活動の量と内容
			C	④
		学びに向かう力・人間性等		⑤
2 か資 か料 わ・ る学 構習 成指 導に	⑥	教材・資料の構成等について	・ユニバーサルデザインの視点からの適切な配慮 ・図、写真、表、挿絵等の配置バランス ・文字の大きさやフォントの適切さ ・各領域の分量や全体の重さ、大きさの適切さ ・家庭学習等の学習習慣を身に付けるための補的な内容を取り扱っている量と内容	
3 地第 区二 観採 点択	⑦	「多様性の尊重」「人権尊重」「世界平和」「いじめ」「環境」等の現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているか	・多様性や人権に配慮した構成と内容 ・人権、平和、福祉、環境等の今日的課題を取り扱っている量と内容	

【様式 2】

中学校 種目 数 学

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 1

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名			
	東京書籍（東書）新編 新しい数学	評 価	大日本図書（大日本）数学の世界	評 価
①	学習の初めに「考えてみよう」があるページでは、既習の知識から新しい知識を見だし、様々な場面で活用できる技能へと高める構成になっている。また、必ず解けるようになりたい問題が示しており、理解を細かく確認できる。	A	「活動」「例」「例題」が適切に配置され、調べて見いだす、考える、解決するといった学習の流れが分かりやすく、知識・技能が定着しやすい構成である。また、「たしかめ」「Q」「プラス・ワン」と段階的に問題に取り組める。	A
②	導入問題の題材や課題解決の条件設定、イメージの持たせ方や切り口が工夫されていて適切である。また、「深い学び」のページでは、課題解決に至る過程を確認しながら取り組むことができ、思考力・判断力の育成につながる。	A	発展的内容では、補助線の例が分かりやすかったり、基本的な内容が分かりやすく整理されていたりと、考え方の支援が丁寧である。また、日常の場面で学んだことを利用する問題では、問題発見・問題解決の方法や流れが分かりやすい。	B
③	章末の「章の問題」には「活用の問題」というマークが付けられた問題があり、日常生活や社会の事象が取り上げられ、身に付けた知識や技能を活用して問題を解決する過程で、自ら考え表現する力を高める記述式の問題が設定されている。	A	適用問題には、学習した内容を基にして判断する「判断しよう」、数学の言葉や図を使い周りの人に考えを伝える「伝えよう」があり、生徒が数学的表現を積極的に用いるように構成されている。	B
④	節末の「学びを振り返ろう」や章末の「振り返りレポート」では、問題解決で働かせた見方・考え方を振り返ることで数学の良さを実感できる。また、「数学のまど」では発展的な数学活動をとおして数学の楽しさに触れることができる。	A	章末の「章をふり返ろう」の「学びのふり返り」において、学習内容を活用することの良さや、身の周りで活用されている場面から数学の有用性を実感できる構成になっている。例題の数値も、数学の良さを感じられるよう工夫されている。	B
⑤	「数学の自由研究」では、レポートを活用しながら、日常生活や他教科の学習と関連した課題学習に取り組むことにより、学びを生活や学習に活用する体験ができる。また、「数学×仕事」では数学と実社会のつながりを実感できる。	A	章末に「活用・探究」「社会にリンク」等、巻末に「もっと数学の世界へ」のページがあり、数学の歴史や身近な事象と数学の関係等豊富な資料を掲載し、数学と社会とのつながりが実感できるように構成されている。	B
⑥	デジタルコンテンツの使い方が丁寧に説明され、コンテンツの内容も充実している。章末問題ではヒントの表示や類題もあり、自学自習にも活用できる。教科書の内容はたいへん充実しているが、フォントが大きいと見にくさを感じる。	B	単位時間分が見開き1ページになっていて、例や例題、問題の配置も含めて流れがつかみやすく、学習に向かいやすい。文字の大きさやフォント、色使いも適切で、見やすい仕上がりになっている。	A
⑦	全体をとおして登場人物の性別が偏ることの無いよう配慮されている。「地震のゆれ」や「食品ロス」など「防災・安全」「環境」などの今日的課題も取り扱っている。	B	全体をとおして登場人物に多様性があり、たいへん配慮されている。「異文化理解」「防災教育」「環境保全」「道徳教育との関連」などの今日的課題についても適切に取り扱っている。	A

【様式 2】

中学校 種目 数 学

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 2

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名			
	学校図書（学図）中学校数学	評価	教育出版（教出）中学数学	評価
①	例題の解答をノートに書いたような形式で表してある部分があり、問題を解く際に生徒がどの様にノートに記入すれば良いかの参考になる。目標が明示され、「確かめよう」でつけるべき力が分かるため、知識・技能の定着に有効である。	A	「例（例題）」と「問（練習問題）」の間に、「例（例題）」に類似した「たしかめ」があり、段階的に理解が深まる構成になっている。また、代表的な問題が網羅的に配置され、説明も段階的で、自学自習にも適している。	A
②	「Question」には数学的活動で学びを深められる問いと、働かせたい見方・考え方のヒントが示されていて、見通しを持ち筋道を立てて論理的に考察できる。また、日常生活への利用では、問題発見から段階的に解決できる構成である。	A	学んだことを利用するところで、「問題を見いだす」「問題をつかむ」「見通しを立てる」「問題を解決する」「振り返る」「深める」といった学びのプロセスが示され、筋道立てて考える力の育成につながる。	B
③	「説明する力をつけよう」の問題では、生徒同士の話し合いをとおして、他者の考えに触れ、協働的な学習を行うことができ、表現力の向上につながる。また、問題の配置や量も適切である。	A	数学的な見方・考え方を働かせて考える場面に「羅針盤マーク」が、振り返った後、その汎用的な見方・考え方には再び「羅針盤マーク」がついていて、表現力を高め、未知の課題への対応力を育てる構成になっている。	A
④	同じ問題を異なる条件や考え方で解いていく課題があり、深めることができる。「数学へのいざない」や「深めよう」で日常生活と関連した数学の課題が取り扱われていて、主体的に学び数学の良さを感じることができる構成になっている。	A	「章とびら」で実社会や日常生活での数学に関わる話題を取り上げ、それを章の学習内容と関連付けることで、数学の有用性を実感したり、学習による自己の成長を実感したりできるよう工夫されている。	B
⑤	「Tea Break」は発展的な内容ではあるが、好奇心をくすぐられる課題が多く、学んだことを活用しようとするきっかけづくりに良い。「活用」では身の周りの数学が扱われ、数学の活用が分かりやすい。	A	「数学しごと人」では社会で活躍する人へのインタビューが、「数学の広場」では歴史や文化と関わる数学の内容が掲載されていて、数学が実社会で役立っていることや、数学を学ぶ意義が実感できる構成になっている。	A
⑥	文字の大きさやフォントの選択は適切である。色使いも優しく見易い。問題量や学習の構成もバランスが良い。デジタルコンテンツは豊富で、生徒の個性や段階に応じた活用が可能になっている。SDGsやプログラミングも扱っている。	A	カラーユニバーサルデザインへの配慮、ユニバーサルデザインフォントの使用がされている。吹き出しの内容がやや丁寧すぎる傾向がある。	B
⑦	男女のイメージが固定化しないようなイラストや人種を問わないイラストを使用するなど配慮している。また、「活用」や「深めよう」「さらなる数学へ」で環境問題やSDGsなど今日的課題も扱っている。	B	人権に配慮した教科書内の表現となっている。ESD・SDGsを意識した教材の場面設定になっている。	B

【様式 2】

中学校 種目 数 学

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 3

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名			
	新興出版社啓林館（啓林館） 未来へひろがる数学	評 価	数研出版（数研）これからの数学	評 価
①	「例」「例題」「問」「練習問題」と順を追って学び、知識および技能が身に付くように構成されている。また、章末問題の「学びをたしかめよう」では、基礎・基本の問題が配置してあり、知識・技能の定着を確かめることができる。	B	各章の前に「ふりかえり」があり、新しい学習がスムーズに進むよう、関係する既習事項を確認できる。また、「例」や「問」が細かく配置され、説明も対話形式も含め端的でわかりやすく、基礎的・基本的な知識・技能が無理なく学べる。	A
②	解く時に、考え方で注意や深い考えが必要な問題が適切に配置されている。また「同じように考える」「範囲をひろげる」などを本文中に置き、学びを広げる場面や問題解決の場面で役立つ「たいせつな考え方」を明確にしている。	A	章末の「学んだことを活用しよう」では視点を変えて考えたり、身の周りの課題解決に取り組んだりすることで、思考力や判断力が培われる構成になっている。キャラクターの対話からは数学的な見方や考え方の視点を得ることができる。	B
③	学習内容を利用する場面では問題発見・解決の流れを3段階で示すとともに、「説明しよう」「話しあおう」の問題で自分の考えを整理して記述したり、お互いの考えを説明しあったりする活動をとおして、表現力を育てる構成である。	A	「説明しよう」「やってみよう」「調べよう」「考えよう」では、その章に関する話題をとおして、数学的に表現する場面を設定し、言語活動の充実を図り、表現力を向上させることができるよう工夫されている。	A
④	「章末問題」の最後には「○章のあしあと」があり、その章で分かったこと、できるようになったことを自己評価したりさらに学んでみたいことに目を向けたりして、自らの学びを確認できる構成になっている。	B	章末の「数学旅行」では、数学に関係する発明品やその考案者、SDGs、自然現象などについて紹介するページがあり、数学の楽しさや奥深さを感じることができるようになっている。	B
⑤	章の導入や「数学ライブラリー」、巻末の「数学広場」の「学びを生かそう」では、数学と日常との関わりを実感できる場면을扱うことで、興味・関心を持って学習に向かったり、必要性を感じたりできるよう工夫されている。	B	章の導入課題には、日常生活に関わりのある場面が多く登場し、興味や関心を引き付け、主体的に学習に取り組める。また、「学びの自己評価」では自らの学びを客観的に評価し、改善していく意識が高まる工夫がしてある。	A
⑥	文字やフォント、色使い等は適切で見易い。デジタルコンテンツも充実していて自分で動かすことのできる図形や、多くの補充問題が掲載されていて、家庭学習等にも活用できる。ただし、問題の難易度が高い傾向にある。	B	内容が精選されていて、ゆったりとしたスペースがある。ユニバーサルデザインフォントが大きめのサイズで使用されていて、見易くまた書き込みもし易い。デジタルコンテンツも充実していて、補充問題の他、グラフィック教材もある。	A
⑦	写真やイラストは、性別や国籍などで役割を固定しない、性別を服の色や形状など固定的なイメージで表現しないなど、配慮されている。また、リサイクルや食品ロス等、環境保全・福祉や社会形成への寄与など今日的課題も扱っている。	A	SDGsと数学の関連について扱っていて、数学を学ぶことが自分の将来に役立つことを意識できる内容になっている。	B

【様式 2】

中学校 種目 数 学

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 4

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名			
	日本文教出版（日文）中学数学	評 価		評 価
①	新しい章の前に「次の章を学ぶ前に」があり、既習事項の要点と確認問題が設けられ、新しい学習にスムーズにつながるよう構成されている。「Q」「めあて」「例」「問」と段階的に学習を進めることで、基本的な知識・技能が身に付く。	A		
②	小節「学び合おう」では、問題解決型の学習展開が示されている。また「大切な見方・考え方」には、そこで働かせるべき数学的な見方や考え方が具体的に示されそれを働かせながら活動に取り組めるよう適切で丁寧な説明がある。	B		
③	章末問題の「とりくんでみよう」等において、「説明できるかな？」の吹き出しの付いた問題が設けられ、理由や方法、手順等について数学的な表現を用いて説明する力を養う問題が設定されていて着眼点も良い。	B		
④	「学びに向かう力を育てよう」では、身近な事柄に関連した問題が取り上げられ主体的に学習に取り組む態度を具体例とともに明示することで、生徒や保護者の理解を促すとともに、指導者が学習者の態度を評価できるよう構成されている。	A		
⑤	「数学のたんけん」「SDGsと数学」「数学を仕事に生かす」「数学研究室」「プログラムと数学」では、数学が活用されている様々な場面が掲載されていて、興味・関心を持って学習に向かうことができるよう工夫されている。	B		
⑥	文字の大きさやフォント、配色等は見易く工夫されている。巻末の「振り返りシート」「対話シート」も活用し易い。問題へのアプローチや説明の着眼点が特徴的で好みが見られる。デジタルコンテンツも工夫が見られ充実している。	A		
⑦	イラストは、性別で役割を固定しない、性別を服の色や形状など固定的なイメージで表現しない、外国にルーツを持つ生徒をキャラクターとして登場させるなど配慮されている。SDGsや道徳教育と数学との関連など今日的課題も扱っている。	B		

【様式 3】

中学校 種目 数 学

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 1

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	東京書籍 (東書)	○学習の初めに「考えてみよう」があるページでは、既習の知識から新しい知識を見いだし、様々な場面で活用できる技能へと高める構成になっている。また、必ず解けるようになりたい問題が示してあり、理解を細かく確認できる。 ○導入問題の題材や課題解決の条件設定、イメージの持たせ方や切り口が工夫されていて適切である。また、「深い学び」のページでは、課題解決に至る過程を確認しながら取り組むことができ、思考力・判断力の育成につながる。章末の「章の問題」には「活用の問題」というマークが付けられた問題があり、日常生活や社会の事象が取り上げられ、身に付けた知識や技能を活用して問題を解決する過程で、自ら考え表現する力を高める記述式の問題が設定されている。
教科書の 記載番号	数学 002-72 002-82 002-92	○節末の「学びを振り返ろう」や章末の「振り返りレポート」では、問題解決で働かせた見方・考え方を振り返ることで数学の良さを実感できる。また、「数学のまど」では発展的な数学活動をとおして数学の楽しさに触れることができる。「数学の自由研究」では、レポートを活用しながら、日常生活や他教科の学習と関連した課題学習に取り組むことにより、学びを生活や学習に活用する体験ができる。また、「数学×仕事」では数学と実社会のつながりを実感できる。
書名	新編 新しい数学 ～MATH CONNECT 数学のつながり～	○デジタルコンテンツの使い方が丁寧に説明され、コンテンツの内容も充実している。章末問題ではヒントの表示や類題もあり、自学自習にも活用できる。教科書の内容はたいへん充実しているが、フォントが大きいと見にくさを感じる。全体をとおして登場人物の性別が偏ることの無いよう配慮されている。「地震のゆれ」や「食品ロス」など「防災・安全」「環境」などの今日的課題も取り扱っている。
発行者 (略称)	大日本図書 (大日本)	○「活動」「例」「例題」が適切に配置され、調べて見いだす、考える、解決するといった学習の流れが分かりやすく、知識・技能が定着しやすい構成である。また、「たしかめ」「Q」「プラス・ワン」と段階的に問題に取り組める。 ○発展的内容では、補助線の例が分かりやすかったり、基本的な内容が分かりやすく整理されていたりと、考え方の支援が丁寧である。また、日常の場面で学んだことを利用する問題では、問題発見・問題解決の方法や流れが分かりやすい。適用問題には、学習した内容を基にして判断する「判断しよう」、数学の言葉や図を使い周りの人に考えを伝える「伝えよう」があり、生徒が数学的表現を積極的に用いるように構成されている。
教科書の 記載番号	数学 702 802 902	○章末の「章をふり返ろう」の「学びのふり返り」において、学習内容を活用することの良さや、身の周りで活用されている場面から数学の有用性を実感できる構成になっている。例題の数値も、数学の良さを感じられるよう工夫されている。章末に「活用・探究」「社会にリンク」等、巻末に「もっと数学の世界へ」のページがあり、数学の歴史や身近な事象と数学の関係等豊富な資料を掲載し、数学と社会とのつながりが実感できるように構成されている。
書名	数学の世界	○単位時間分が見開き1ページになっていて、例や例題、問題の配置も含めて流れがつかみやすく、学習に向かいやすい。文字の大きさやフォント、色使いも適切で、見易い仕上がりになっている。全体をとおして登場人物に多様性があり、たいへん配慮されている。「異文化理解」「防災教育」「環境保全」「道徳教育との関連」などの今日的課題についても適切に取り扱っている。

【様式 3】

中学校 種目 数 学

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 2

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	学校図書 (学図)	○例題の解答をノートに書いたような形式で表してある部分があり、問題を解く際に生徒がどの様にノートに記入すれば良いかの参考になる。目標が明示され、「確かめよう」でつけるべき力が分かるため、知識・技能の定着に有効である。 ○「Question」には数学的活動で学びを深められる問いと、働かせたい見方・考え方のヒントが示されていて、見通しを持ち筋道を立てて論理的に考察できる。また、日常生活への利用では、問題発見から段階的に解決できる構成である。「説明する力をつけよう」の問題では、生徒同士の話し合いをとおして、他者の考えに触れ、協働的な学習を行うことができ、表現力の向上につながる。また、問題の配置や量も適切である。
教科書の 記載番号	数学 011-72 011-82 011-92	○同じ問題を異なる条件や考え方で解いていく課題があり、深めることができる。「数学へのいざない」や「深めよう」で日常生活と関連した数学の課題が取り扱われていて、主体的に学び数学の良さを感じることができ構成になっている。「Tea Break」は発展的な内容ではあるが、好奇心をくすぐられる課題が多く、学んだことを活用しようとするきっかけづくりに良い。「活用」では身の周りの数学が扱われ、数学の活用が分かりやすい。
書名	中学校数学	○文字の大きさやフォントの選択は適切である。色使いも優しく見易い。問題量や学習の構成もバランスが良い。デジタルコンテンツは豊富で、生徒の個性や段階に応じた活用が可能になっている。SDGsやプログラミングも扱っている。男女のイメージが固定化しないようなイラストや人種を問わないイラストを使用するなど配慮している。また、「活用」や「深めよう」「さらなる数学へ」で環境問題やSDGsなど今日的課題も扱っている。
発行者 (略称)	教育出版 (教出)	○「例（例題）」と「問（練習問題）」の間に、「例（例題）」に類似した「たしかめ」があり、段階的に理解が深まる構成になっている。また、代表的な問題が網羅的に配置され、説明も段階的で、自学自習にも適している。 ○学んだことを利用するところで、「問題を見いだす」「問題をつかむ」「見通しを立てる」「問題を解決する」「振り返る」「深める」といった学びのプロセスが示され、筋道立てて考える力の育成につながる。数学的な見方・考え方を働かせて考える場面に「羅針盤マーク」が、振り返った後、その汎用的な見方・考え方には再び「羅針盤マーク」がついていて、表現力を高め、未知の課題への対応力を育てる構成になっている。
教科書の 記載番号	数学 017-72 017-82 017-92	○「章とびら」で実社会や日常生活での数学に関わる話題を取り上げ、それを章の学習内容と関連付けることで、数学の有用性を実感したり、学習による自己の成長を実感したりできるよう工夫されている。「数学しごと人」では社会で活躍する人へのインタビューが、「数学の広場」では歴史や文化と関わる数学の内容が掲載されていて、数学が実社会で役立っていることや、数学を学ぶ意義が実感できる構成になっている。
書名	中学数学	○カラーユニバーサルデザインへの配慮、ユニバーサルデザインフォントの使用がされている。吹き出しの内容がやや丁寧すぎる傾向がある。人権に配慮した教科書内の表現となっている。ESD・SDGsを意識した教材の場面設定になっている。

【様式 3】

中学校 種目 数 学

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 3

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	新興出版社啓林館 (啓林館)	○「例」「例題」「問」「練習問題」と順を追って学び、知識および技能が身に付くように構成されている。また、章末問題の「学びをたしかめよう」では、基礎・基本の問題が配置してあり、知識・技能の定着を確かめることができる。 ○解く時に、考え方で注意や深い考えが必要な問題が適切に配置されている。また「同じように考える」「範囲をひろげる」などを本文中に置き、学びを広げる場面や問題解決の場面で役立つ「たいせつな考え方」を明確にしている。学習内容を利用する場面では問題発見・解決の流れを3段階で示すとともに、「説明しよう」「話しあおう」の問題で自分の考えを整理して記述したり、お互いの考えを説明しあったりする活動をとおして、表現力を育てる構成である。 ○「章末問題」の最後には「○章のあしあと」があり、その章で分かったこと、できるようになったことを自己評価したりさらに学んでみたいことに目を向けたりして、自らの学びを確認できる構成になっている。章の導入や「数学ライブラリー」、巻末の「数学広場」の「学びを生かそう」では、数学と日常との関わりを実感できる場面を扱うことで、興味・関心を持って学習に向かったり、必要性を感じたりできるよう工夫されている。
教科書の 記載番号	数学 0 6 1－7 2 0 6 1－8 2 0 6 1－9 2	
書名	未来へひろがる 数学	○文字やフォント、色使い等は適切で見易い。デジタルコンテンツも充実していて自分で動かすことのできる図形や、多くの補充問題が掲載されていて、家庭学習等にも活用できる。ただし、問題の難易度が高い傾向にある。写真やイラストは、性別や国籍などで役割を固定しない、性別を服の色や形状など固定的なイメージで表現しないなど、配慮されている。また、リサイクルや食品ロス等、環境保全・福祉や社会形成への寄与など今日的課題も扱っている。
発行者 (略称)	数研出版 (数研)	○各章の前に「ふりかえり」があり、新しい学習がスムーズに進むよう、関係する既習事項を確認できる。また、「例」や「問」が細かく配置され、説明も対話形式も含め端的でわかりやすく、基礎的・基本的な知識・技能が無理なく学べる。 ○章末の「学んだことを活用しよう」では視点を変えて考えたり、身の周りの課題解決に取り組んだりすることで、思考力や判断力が培われる構成になっている。キャラクターの対話からは数学的な見方や考え方の視点を得ることができる。「説明しよう」「やってみよう」「調べよう」「考えよう」では、その章に関する話題をとおして、数学的に表現する場面を設定し、言語活動の充実を図り、表現力を向上させることができるよう工夫されている。 ○章末の「数学旅行」では、数学に関する発明品やその考案者、SDGs、自然現象などについて紹介するページがあり、数学の楽しさや奥深さを感じることができるようになっている。章の導入課題には、日常生活に関わりのある場面が多く登場し、興味や関心を引き付け、主体的に学習に取り組める。また、「学びの自己評価」では自らの学びを客観的に評価し、改善していく意識が高まる工夫がしてある。
教科書の 記載番号	数学 1 0 4－7 3 1 0 4－8 3 1 0 4－9 3	
書名	これからの 数学	○内容が精選されていて、ゆったりとしたスペースがある。ユニバーサルデザインフォントが大きめのサイズで使用されていて、見易くまた書き込みもし易い。デジタルコンテンツも充実していて、補充問題の他、グラフィック教材もある。SDGsと数学の関連について扱っていて、数学を学ぶことが自分の将来に役立つことを意識できる内容になっている。

【様式 3】

中学校 種目 数 学

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 4

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	日本文教出版 (日文)	○新しい章の前に「次の章を学ぶ前に」があり、既習事項の要点と確認問題が設けられ、新しい学習にスムーズにつながるよう構成されている。「Q」「めあて」「例」「問」と段階的に学習を進めることで、基本的な知識・技能が身に付く。 ○小節「学び合おう」では、問題解決型の学習展開が示されている。また「大切な見方・考え方」には、そこで働かせたい数学的な見方や考え方が具体的に示されそれを働かせながら活動に取り組めるよう適切で丁寧な説明がある。章末問題の「とりくんでみよう」等において、「説明できるかな？」の吹き出しの付いた問題が設けられ、理由や方法、手順等について数学的な表現を用いて説明する力を養う問題が設定されていて着眼点も良い。 ○「学びに向かう力を育てよう」では、身近な事柄に関連した問題が取り上げられ主体的に学習に取り組む態度を具体例とともに明示することで、生徒や保護者の理解を促すとともに、指導者が学習者の態度を評価できるよう構成されている。「数学のたんけん」「SDGsと数学」「数学を仕事に生かす」「数学研究室」「プログラムと数学」では、数学が活用されている様々な場面が掲載されていて、興味・関心を持って学習に向かうことができるよう工夫されている。 ○文字の大きさやフォント、配色等は見易く工夫されている。巻末の「振り返りシート」「対話シート」も活用し易い。問題へのアプローチや説明の着眼点が特徴的で好みが分かれる。デジタルコンテンツも工夫が見られ充実している。イラストは、性別で役割を固定しない、性別を服の色や形状など固定的なイメージで表現しない、外国にルーツを持つ生徒をキャラクターとして登場させるなど配慮されている。SDGsや道德教育と数学との関連など今日的課題も扱っている。
教科書の 記載番号	数学 1 1 6－7 2 1 1 6－8 2 1 1 6－9 2	
書名	中学数学	
発行者 (略称)		
教科書の 記載番号		
書名		

令和 6 年度教科用図書第二採択地区調査委員会 報告書

令和 7 年度使用 中学校 種目 理 科

提出書類	別添	様式 1 (1) 枚
		様式 2 (5) 枚
		様式 3 (5) 枚

【様式 1】

中学校 種目 理 科 令和7年度使用教科用図書調査研究観点 第二採択地区

項目	観 点	観点の内容
1 観 点	A <知識及び技能> ・観察、実験の方法、器具や機器などの使い方および事故防止等の安全に関する記述 ・観察記録や実験データを絵や文、表やグラフに表す活動 ・単元ごとや章末の練習問題および学習内容を整理する等の工夫	① ・実験の方法や基本的な技能および事故防止等の安全対策に関して、丁寧にわかりやすく記述されているか。 ・記録やデータを絵や文、表やグラフに表す活動が適切に配置されているか。 ・概念や知識・理解が探究の過程で深まるような工夫がされているか。 ・単元ごとや章末の練習問題および学習内容を整理する等の工夫がなされているか。
	B <思考力・判断力・表現力等> ・問題を見いだして課題を設定し、予想や仮説、観察、実験の計画をする活動 ・結果を分析して解釈し表現する力を高める活動 ・探究の過程を振り返る活動	② ・予想や仮説、実験計画など課題の設定が適切になされているか。 ・実験、観察の結果を分析し、まとめて表現する学習活動が記載されているか。 ・情報をもとに自分の考えを形成し、言語活動によって多様な考えを交流し理解できるような場面の工夫がなされているか。 ・発達段階に応じた探究の過程を振り返る活動が記載されているか。
	C <学びに向かう力・人間性等> ・科学技術の利用等、実生活や実社会、科学史に関する内容、自然の事物や現象について関心を高める内容、発展的な内容 ・自然環境の調査、自由研究や課題研究等、生徒自らが探究的な活動の意欲を高める工夫	③ ・単元導入に関して、興味関心を高める工夫がされているか。 ・実生活や実社会との関連について、わかりやすく記述されており、科学を学ぶ楽しさや有用性が実感できる記述があるか。 ・自然と人間との関わりについての視野や考えが広がる工夫がされているか。 ・自由研究や課題研究などの内容について、探究的で意欲の高まる工夫がされているか。
2 か資 か料 わ・ る学 構習 成指 等導 に	④ 教材・資料の構成等について	・写真や図表、グラフやコラムについてわかりやすく記述されているか。 ・I C T活用を意識した工夫がなされているか。 ・挿絵やイラスト等について、興味関心を高める工夫がされているか。 ・ユニバーサルデザインの視点から適切な配慮がなされているか。 ・分量や重さ、大きさが適切であるか。
	⑤ 学習活動にかかわる構成等について	・教科書を補助する付録や別冊が適切であるか。 ・本文中に強調されている重要用語について、わかりやすく記述されているか。 ・小学校での学習や他教科との関連など学びのつながりを意識した工夫がなされているか。
3 地第 区二 観採 点択	⑥ 「多様性の尊重」、「人権尊重」、「世界平和」、「いじめ」「環境」等の現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているか	・男女共同参画やジェンダー、多文化共生、また障がいのある人への理解および環境問題など現代的な課題への配慮が適切になされているか。 ・防災および減災に対する意識が高まるような配慮がなされているか。

【様式 2】

中学校 種目 理 科

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 1

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	東京書籍（東書） 新しい科学	評 価
①	○観察・実験における注意点は赤字でまとめて書いてある。観察・実験の内容がイラストではなく写真で示されており、分かりやすい。 ○実験や実習のあとには「実験から」や「実習から」という見出しで分かりやすくまとめている。図や写真も豊富である。 ○「じっくり探究」では「問題発見」「構想」「分析・解釈」までをひとまとまりで見ることができ、探究を通して知識・理解が深まる工夫がなされている。 ○単元末の用語一覧には、個々の用語ごとに記載ページの表記があり、学習の定着や家庭学習への活用ができる構成になっている。	A
②	○各節が「問題発見」「課題」「仮説」「構想」の統一した流れで構成され、それぞれの節で適切な課題設定がされている。 ○各節の課題に対する結論をまとめる場面において、「キーワード」や「理科の見方・考え方」が具体的に示されており、生徒にとって考えやすく、表現力を身につける工夫がされている。また、定着が難しい内容には、シミュレーションコンテンツが用意されている。 ○「じっくり探究」では、「対話例」が示されており、対話のきっかけがつかみやすくなっている。また、生徒の思考を妨げないような工夫がされている。 ○「探究をふり返ろう」が、各学年の発達段階に応じた内容と量で設定されており、探究の過程の妥当性について考える力が自然に身につくように工夫されている。	A
③	○単元導入では、それぞれの単元に深い関わりのある身近な事象についてダイナミックな写真や「スタート動画」で紹介されており、生徒の興味・関心を高め、主体的に学習に取り組む意欲を高める工夫をしている。 ○節中や単元末に、学んだことを日常生活や社会につなげるコラムや活動が詳しく紹介されており、理科を学ぶことの意義や有用性を実感できる。 ○1年においてジオパークを紹介したり、巻末の「校外施設を活用しよう」において全国の動物園や水族館、博物館を紹介したりしており、自然と人間の関わりについて視野や考えを広げる工夫をしている。 ○巻末の「学びを広げよう 自由研究」では、各単元内容に関連した研究テーマを数多く紹介しているが、具体的な内容に関する記述はやや少ない。	B
④	○鮮明で迫力のある写真に加え、人工的なCG画像を交えながら示されているため、より学習の理解を深めることができる。コラムは文字だけでなく豊富なイラストや漫画が用いられており、非常に見やすく読み手の興味・関心を引く工夫が多い。コラムでは最新の科学技術だけでなく、歴史的背景にも着目されており幅広い分野が網羅されている。 ○二次元コードが数多くのページに示されており、授業の導入で活用できるものや、ワークシート、実験手順や動画、教科横断的な資料などが閲覧できるようになっている。また二次元コードには読み取った先に何が表示されるか、教科書に簡単に示されている。 ○図表の周囲に挿絵が多くあり、情報量の多い図表でも、着目すべき点が分かりやすく興味・関心を高める工夫が多くある。 ○本文、図、注釈など、主要な書体にユニバーサルデザインフォントが採用されており見やすく読み間違いにくさが意識されている。	A
⑤	○別冊資料は無いが、温帯低気圧の3Dペパークラフト（2年）が付いている。 ○重要用語は太字でルビ付きの構成で統一されている。つまづきやすい計算問題等には、基本問題から活用型問題までスモールステップで学習ができるように工夫されている。 ○本文中に「これまでに学んだこと」という項目があり、小学校や中学校で既に学習した内容が確認できるようになっている。 ○科学技術や芸術（音楽）、社会とのつながりを意識した記載がある。	A
⑥	○挿絵やイラスト、写真に使用されている男女比のバランスはとれており、様々な人種のキャラクターが共に学習している様子が描かれている。 ○実験ページに廃液処理を指示する記述はあるが、環境に関するコラム等の記載がやや物足りない。 ○全学年に「防災特集」というコラムがあり、防災・減災意識の向上につながる。 ○全学年で「私たちのSDGs」というコラムがあるが、各ゴールとのつながりは明記されていない。	B

【様式 2】

中学校 種目 理 科

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 2

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	大日本図書（大日本） 理科の世界	評 価
①	○実験の注意点は「注意」という文字とともに黄色の網掛けで注目を引く工夫がされている。実験の手順はシンプルで分かりやすいが、簡略化した内容である。 ○実験のあとのページに「結果の例」が記載されているが、写真や図に乏しく生徒が結果をまとめる上で参考となりにくい。 ○「問題を見つけよう」「計画を立てよう」「結果から考えよう」という見出しを立て、探究の過程で知識が深まる工夫がなされている。ただ、身近な事象と関連づけて課題を発見できる記載がほしい。 ○章末に、まとめ、単元末問題、読解力問題をおき、理解度に合わせて取り組めるような構成になっている。一方で、生徒が「単元末問題」に取り組む際に、本文ページを参照できるような記載があればなお良い。	B
②	○本文中の「？」の記載で疑問を投げかけることによって、観察・実験に取り組む際の課題が生徒に明確になるようにしている。 ○観察・実験手順中に「結果の整理」があり、観察・実験の結果分析を行うヒントが表などで記載されている。 ○「結果から考えよう」では、自分の考えをまとめたり人と意見を交流したりする活動を促す視点が示されている。 ○探究の過程において、観察・実験の計画を立てたり、振り返りができたりするような本文中の記載がほしい。発達段階に応じて重視したいポイントがマークの色で区別されているものの設定が曖昧な面もある。	A
③	○「これまでに学習したこと」と「これから学習すること」が見やすく紹介されており、学習の見通しを持ちやすい。 ○「くらしの中の理科」や「Professional」では、学習内容が日常生活や社会、職業で活用されている話題を紹介しており、科学を学ぶ楽しさや有用性を実感できる。 ○巻末の「行ってみよう科学館・博物館」で各施設や、独自のWEBコンテンツで全国の自然観察スポットを紹介しており、自然と人間の関わりについて視野や考えを広げる工夫がみられる。 ○各単元末に「探究活動」として、身近な疑問から探究を促す活動が紹介されている。また、巻末の「自由研究にチャレンジしよう！」では、豊富な研究テーマを紹介し、探究心が高まる工夫をしている。	A
④	○写真は鮮明で見やすいものが多い。その一方でスペースが十分あるにも関わらずサイズが小さく見づらいものがある。図表は要点を絞ったシンプルなものでもわかりやすい。コラムは身近なテーマに関わるものが多く、文字とイラストがバランスよく配置されている。 ○教科書内に二次元コードがあり、観察・実験の動画に直接アクセスができる。ワークシート等のPDFをダウンロードして使うこともできる。二次元コード数は他社と比べると少ない。 ○挿絵やイラストは、シンプルなキャラクターデザインで要点や着目すべき点を示している。一方、キャラクターの表情に生徒の興味・関心を高める上でもうひと工夫ほしい。 ○見やすく読み間違いにくいユニバーサルデザインフォントを使用。	B
⑤	○別冊資料は無い。 ○重要用語は太字でルビ付きの構成で統一されている。重要用語に関するコラムがあり、「思い出そう」「科学のあしあと」「ことば」「やってみよう」「くらしの中の理科」など補足テーマの種類が豊富である。 ○本文中に「これまでに学習したこと」という項目があり、小学校や中学校で既習した内容が確認できるようになっている。また、「つながる」の項目で教科横断的な学習ができるようになっている。	B
⑥	○挿絵やイラスト、写真に使用されている男女比のバランスはとれている。 ○コラムにおいて「マイクロスケール実験」のような環境に関する記載が見られるが、廃液処理に関する記載は実験ページに見られない。 ○全学年で「安全」に関する内容として防災についてのコラムがある。 ○SDGsと学習内容の関連がわかるような記載がない。	B

【様式 2】

中学校 種目 理 科

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 3

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	学校図書（学図） 中学校 科学	評 価
①	○観察・実験の注意点が大きく記載されている。観察・実験が数ページに渡っていることで生徒にとって見通しが持ちにくい面がある。 ○「結果から考察する」で表やグラフによるまとめが提示されている。「探究を深める」では会話形式のイラストでのまとめがあるが、その内容がやや簡素である。 ○「探求」では、「気づき」「課題」「仮説」「計画」「方法」「結果」「考察」といった順序で記載されているが、「結論」が示されていることで、生徒自身の気づきや発見を通じた概念や知識・理解を深める探究にはなりにくい。 ○単元末問題では、理解度に応じてステップを設け、全ての生徒が学習の整理を行えるよう工夫がなされている。	B
②	○一つの観察・実験に対して課題設定から振り返りまでの過程を丁寧に示しているが、仮説や計画を促す場面において説明が先行し、多様な考えが生まれにくい。 ○観察・実験の結果および考察が、実験ページと同じ体裁でそのまま記載されているため、自ら結果を分析し、まとめて表現する学習活動が深まりにくい。 ○観察・実験の結果をもとに、言語活動によって多様な考えを交流し理解を深めるような場面の工夫が少ない。 ○発達段階に応じて探究の過程を振り返るためのコラムが充実している。	B
③	○単元導入では、既習事項や単元目標が示されており、学習の見通しを持ちやすい。各章ごとに見開き2ページのダイナミックな写真を用いて、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。 ○「理路整然」や「巻末資料」に実生活や実社会に関わる話題が紹介されているが、掲載数はやや少なめである。 ○「SDGsを意識して脱炭素社会」では、今日的な課題に触れ、自然と人間の関わりについて視野や考えを広げる工夫をしている。 ○巻末に豊富な補充資料が掲載されているが、自由研究を促す資料の掲載はない。	B
④	○写真は全体的に大きく鮮明で見やすいものが多い。観察・実験に関する資料に提示されている画像が実物で示されているものが多いため読み手への情報量がやや多い。コラムは文字のスペースが比較的広く取られている。 ○二次元コードが閲覧までに多少時間を要するものの、多くのページに示されている。 ○単元の始まりのページには迫力ある写真や挿絵が多い。学習内容を深めていくそれ以外のページでは落ち着いたシンプルなデザインの挿絵がほとんどである。 ○誰にでも見やすくわかりやすい教科書になるようにユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮している。ユニバーサルデザインフォント使用。 ○Webページにおいて、教科書が多言語表示できる仕様となっている。	A
⑤	○別冊資料は無い。 ○重要用語は太字でルビ付きの構成で統一されている。全体的に文字は小さい。思考を深めるために段階を踏んで探究できる表記にしているが、見開きで完結できる等の工夫がなく、数ページに及んでいるので見づらい印象。太文字の説明を別ページに記載している。 ○小学校での学習や他教科での学習、日常生活とのつながりを意識した表記がある。もう少し記述が多くても良い。	B
⑥	○挿絵、イラストの男女比のバランスはとれている。 ○「SDGsを意識して脱炭素社会へ」というコラムが全学年で掲載されており環境問題に関する記載は多い。また、実験ページには廃液処理に関しての記載もされている。 ○防災や減災に関してコラム等の記載が少なくやや物足りない。 ○SDGsについて、各章の扉ページに関連するゴールが記載されていたり、各学年の最後の「補充資料」に、「各地からのレポート」という特集ページが掲載されたりしている。記載ページや学習内容との関連性がつかみやすいとなお良い。	B

【様式 2】

中学校 種目 理 科

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 4

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	教育出版（教出） 自然の探究 中学理科	評 価
①	○観察・実験の注意点は「！」で示され、また赤字で注目しやすい工夫がされている。 ○実験のまとめのページでは、それぞれ「実験○から」と表記し、行った観察・実験から分かることが文章としてまとめられている。 ○重要用語がオレンジ色で注目しやすくなっている。「結論」で、各観察・実験の結論が分かりやすく明示されているが、探究の過程で概念や知識・理解を深めにくい。 ○「要点と重要用語の整理」では、用語ごとに記載ページが表記され、さらに赤色でまとめられている。単元末の問題もカラーで見やすい。	B
②	○巻頭の「探究の進め方」で、探究活動をどのように進めていけばよいかを示している。「探究の進め方」のページは折り込みにすることで、いつでも確認することができる。 ○観察・実験の手順を示し、段階的に思考できるように構成されている。一方で、結論までを掲載していることや、「私のレポート」においてレポート例が事細かに掲載されていることで、思考を深める妨げになることもある。 ○「話し合おう」や「活用しよう」では、課題に対して自分で考えたことや学習したことをもとに話し合う場面が設けられている。 ○「疑問から探究してみよう」が各単元で設定されており、探究の過程を振り返る視点が明確に記載されている。各探究活動における生徒の思考を深めるための工夫が丁寧であるとなお良い。	B
③	○単元導入では、ダイナミックな写真が掲載されており、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。「学んでいくこと」では、新しく学ぶ内容が既習内容を踏まえて説明されており、学習の流れをつかみやすい。 ○「ハローサイエンス」で、理科に関する原理や規則性などが日常生活や社会で活用されていることに触れているが、全体的に掲載数が少なめである。 ○巻末の「校外の施設を活用しよう」や1年の「ジオパークを見てみよう」では、各施設や自然公園を二次元コードと共に紹介しており、生徒自身が自然と人間のつながりについて考えを広げやすい。 ○巻末に各単元の学習内容を元にした自由研究を具体的な方法とともに紹介しているが、生徒自らの課題発見を促す記述が少ない。	B
④	○実験の説明ページに記載されている画像の多くがイラストで描かれているものが多い。読み手にとっての情報量は少ないが、より注目すべき点の分かりやすくなっている。コラムは小スペースで書かれているものが多く情報量が少ないため物足りない。 ○二次元コードがページの下部に示されている。要点チェックや、モデルでの説明、実験の補助教材的なものが多く有用なものが多い。 ○挿絵は控えめでシンプルなものが多い。写真が少ない代わりにイラストが豊富で、一つ一つが見やすく、要点が分かりやすくまとめられている。 ○見やすさ、読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォント使用。色覚の個人差に問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している。	A
⑤	○別冊資料は無い。 ○重要用語は色付きの太字、ルビ付きの構成で統一されている。重要用語や計算問題等にはスモールステップで学習ができるように工夫されている。 ○本文中に「思い出そう」という項目があり、小学校や中学校で既に学習した内容を確認できるようにしている。小学校の教科書のように、読み進める上で視線がスムーズに誘導されるよう工夫がされている。	A
⑥	○挿絵やイラストの男女比のバランスはとれている。様々な人種のキャラクターが描かれているページもあるが他社と比べてやや少なめである。 ○コラムにおいて「廃液の処理」のような環境に関する記載があるが、実験ページには廃液処理についての指示が記載されておらず意識しにくい。 ○防災や減災に関する記載がある。 ○コラム「ハローサイエンス」にSDGsのゴールが記載されているものもある。	B

【様式 2】

中学校 種目 理 科

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 5

観点番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	新興出版社啓林館（啓林館） 未来へひろがるサイエンス	評価
①	○観察・実験における事故防止のため、危険な行程は「！」で分かりやすく記述がなされている。 ○「わたしのレポート」では、観察・実験の結果例が掲載され、観察・実験のまとめの一助となっている。 ○各単元に1つ「探Q実験」があり、概念や知識を深める工夫がされている。 ○単元末の「力だめし」はモノクロでテストを意識した問題になっている。章ごとに振り返りのページがある。用語ごとに記載ページの表示があり分かりやすい。	A
②	○各章の中に、単元で取り扱う事象の本質に迫る問題提起になる投げかけが、分かりやすく提示されている。実験目的、方法、結果、考察までの流れが見開きのフローチャートで記載されていて見やすい。 ○「探Q実験」において、実験結果のまとめ方や分析するために参考となる情報が見やすくまとめられている。 ○「探Q実習」に、結果と考察から発表スライドを作成し、意見交流を促す記載がある。発表用のスライドのひな型を二次元コードから読み取ると利用できる。 ○全学年の、単元毎に探究の過程を振り返るためのまとめページがある。二次元コードから章ごとの要点を自分でまとめることができる資料が閲覧でき、振り返りシートとしても利用できる。1年生から3年生にかけて、振り返りの難易度が変えられており、学年が上がるにつれ、より具体的な視点で充実した振り返り活動が設定されている。	A
③	○単元導入では、インパクトのある写真が生徒の興味を高める解説文と共に掲載されており、探究する意欲を喚起している。さらに「学ぶ前にトライ！」では、単元に関わる身近な現象を取り上げており、生徒の学ぶ意欲が高まる工夫をしている。 ○科学コラムや単元末の「ひろがる世界」では、学習内容と実生活や実社会を関連付けた内容や社会状況を反映した話題、最新の科学技術に関する話題を取り上げており、内容が充実している。 ○巻末の「地域・環境資料集」では、自然や地球環境に関する今日的な課題への取り組み例を取り上げ、自然と人間との関わりについての視野や考えを広げる工夫をしている。 ○単元末の「みんなで探Qクラブ」で、学習内容から生じた疑問の探究例が紹介されたり、巻末のサイエンス資料「自由研究テーマ例」で、身のまわりの材料で実践できる研究テーマ例が紹介されたりしており、内容が豊富である。	A
④	○写真は非常に鮮明で迫力のあるものが多く、資料集のように活用できる。掲載されている写真や画像の情報量が多く、さまざまな視点でその事象を考察することができる。コラムは小さなスペースを有効に使われているものから、ページ全体のものまで様々で、身近なテーマで興味関心を引くものも多い。最新技術に関わるものもあり、生徒の学びの延長線上にある科学を想像しやすい。 ○二次元コードが適宜配置されている。二次元コードの横に、リンク先の内容が書いてあるためわかりやすい。ワークシートや資料、振り返りに活用できるものなど、幅広く利用できるものとなっている。 ○挿絵やイラストなどが、バランスよく配置されているため、情報量が多いページでも何に注目すべきか分かりやすくなっている。 ○個人の特性に関わらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いている。見やすいユニバーサルデザインフォントを使用。	A
⑤	○別冊資料は無い。 ○単元の核となる活動に対し「探Qシート」が付いており、探究活動を促している。 ○重要用語は太字でルビ付きの構成で統一されている。重要用語や計算問題等には紙面や二次元コードを用いて学習ができるように工夫されている。 ○「つながる学び」という項目で、小中学校での既習事項を確認することができる。また、理科の学習に欠かせない算数・数学の解説や他教科に関連する話題が記載されている。 ○単元末のまとめ問題では色を抑えてあり、演習問題としての意識化が図りやすい。	A
⑥	○挿絵やイラストの男女比のバランスはとれており、様々な人種のキャラクターが共に学習しているようすが多く描かれている。 ○環境問題に関するコラムもあり、実験ページには廃液処理に関してマークに加えて文章での指示も記載がされている。 ○コラムの中に「防災減災ラボ」という特集コラムがあり、全学年で掲載されている。 ○各学年最終ページに地域環境資料が掲載され、SDGsとの関連が記載されている。一部コラムにSDGsとの関連がわかるようSDGsマークが記載されている。	A

【様式 3】

中学校 種目 _____ 理 科 _____

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 1

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	東京書籍 (東書)	○観察・実験における注意点は赤字でまとめて書いてある。観察・実験の内容が、イラストではなく写真で示されており分かりやすい。実験や実習のあとには「実験から」や「実習から」という見出しで分かりやすくまとめている。図や写真も豊富である。「じっくり探究」では「問題発見」「構想」「分析・解釈」までをひとまとまりで見ることができ、探究を通して知識・理解が深まる工夫がなされている。単元末の用語一覧には、個々の用語ごとに記載ページの表記があり、学習の定着や家庭学習への活用ができる構成になっている。
教科書の 記載番号	理科 002-72 002-82 002-92	○各節の流れが統一されており、それぞれの節で適切な課題設定がされている。課題に対する結論をまとめる場面においては「キーワード」や「理科の見方・考え方」が具体的に示され、表現力を身につける工夫がされている。定着が難しい内容には、シミュレーションコンテンツが用意されている。「じっくり探究」では、生徒の思考を妨げないような「対話例」が示されており、対話のきっかけがつかみやすくなっている。「ふり返り探究をふり返ろう」が各学年の発達段階に応じた内容と量で設定されており、探究の過程の妥当性について考える力が自然に身につくように工夫されている。
書名	新しい科学	○単元導入において、身のまわりの事象についてダイナミックな写真や「スタート動画」で紹介したり、節中や単元末において、学んだことを日常生活や社会につなげるコラムや活動を詳しく紹介したりしており、生徒の興味・関心を高め、理科を学ぶことの意義や有用性を実感できる。巻末の「校外施設を活用しよう」では、全国の動物園や水族館、博物館を紹介しており、自然と人間の関わりについて視野や考えを広げる工夫をしている。「学びを広げよう 自由研究」では、各単元内容に関連した研究テーマを数多く紹介しているが、具体的な内容に関する記述はやや少ない。 ○鮮明で迫力のある写真に加え、人工的なCG画像を交えながら示されているため、より学習の理解を深めることができる。コラムは文字だけでなく豊富なイラストや漫画が用いられており、非常に見やすく読み手の興味・関心を引く工夫が多い。コラムでは最新の科学技術だけでなく、歴史的背景にも着目されており幅広い分野が網羅されている。二次元コードが数多くのページに示されており、授業の導入で活用できるものや、ワークシート、実験手順や動画、教科横断的な資料などが閲覧できるようになっている。また二次元コードには読み取った先に何が表示されるか、教科書に簡単に示されている。図表の周囲に挿絵が多くあり、情報量の多い図表でも、着目すべき点が分かりやすく興味・関心を高める工夫が多くある。本文、図、注釈など、主要な書体にユニバーサルデザインフォントが採用されており見やすく読み間違いにくさが意識されている。 ○別冊資料は無いが、温帯低気圧の3Dペパークラフト(2年)が付いている。重要用語は太字でルビ付きの構成で統一されている。つまずきやすい計算問題等には、基本問題から活用型問題までスモールステップで学習ができるように工夫されている。本文中に「これまでに学んだこと」という項目があり、小学校や中学校で既に学習した内容が確認できるようになっている。科学技術や芸術(音楽)、社会とのつながりを意識した記載がある。 ○挿絵やイラスト、写真に使用されている男女比のバランスはとれており、様々な人種のキャラクターが共に学習している様子が描かれている。実験ページに廃液処理を指示する記述はあるが、環境に関するコラム等の記載がやや物足りない。全学年に「防災特集」というコラムがあり、防災・減災意識の向上につながる。全学年で「私たちのSDGs」というコラムがあるが、各ゴールとのつながりは明記されていない。

【様式 3】

中学校 種目 _____ 理 科 _____

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 2

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	大日本図書 (大日本)	○実験の注意点は「注意」という文字とともに黄色の網掛けで注目を引く工夫がされている。実験の手順はシンプルで分かりやすいが、簡略化した内容である。実験のあとのページに「結果の例」が記載されているが、写真や図に乏しく生徒が結果をまとめる上で参考となりにくい。「問題を見つけよう」「計画を立てよう」「結果から考えよう」という見出しを立て、探究の過程で知識が深まる工夫がなされている。ただ、身近な事象と関連づけて課題を発見できる記載がほしい。章末に、まとめ・単元末問題・読解力問題をおき、理解度に合わせて取り組めるような構成になっている。一方で、生徒が「単元末問題」に取り組む際に、本文ページを参照できるような記載があればなお良い。 ○本文中の「？」の記載で疑問を投げかけることによって、観察・実験に取り組む際の課題が生徒に明確になるようにしている。観察・実験手順中に「結果の整理」があり、観察・実験の結果分析を行うヒントが表などで記載されている。「結果から考えよう」では、自分の考えをまとめたり人と意見を交流したりする活動を促す視点が示されている。探究の過程において、観察・実験の計画を立てたり、振り返りができたりするような本文中の記載がほしい。発達段階に応じて重視したいポイントがマークの色で区別されているものの設定が曖昧な面もある。 ○各単元では「これまでに学習したこと」と「これから学習すること」が見やすく示されており、学習の見通しを持ちやすい。「くらしの中の理科」や「Professional」では、学習内容が日常生活や社会、職業で活用されている話題を紹介しており、科学を学ぶ楽しさや有用性を実感できる。巻末では、独自のWEBコンテンツで全国の自然観察スポット集を紹介している。単元末には「探究活動」として、身近な疑問から探究を促す活動が紹介されている。「自由研究にチャレンジしよう！」では、豊富な研究テーマを紹介しており、探究心が高まる工夫をしている。 ○写真は鮮明で見やすいものが多い。その一方でスペースが十分あるにも関わらずサイズが小さく見づらいものがある。図表は要点を絞ったシンプルなものでもわかりやすい。コラムは身近なテーマに関わるものが多く、文字とイラストがバランスよく配置されている。教科書内に二次元コードがあり、観察・実験の動画に直接アクセスができる。ワークシート等のPDFをダウンロードして使うこともできる。二次元コード数は他社と比べると少ない。挿絵やイラストは、シンプルなキャラクターデザインで要点や着目すべき点を示している。一方、キャラクターの表情に、生徒の興味・関心を高める上でもうひと工夫ほしい。見やすく読み間違いにくいユニバーサルデザインフォントを使用。 ○別冊資料は無い。重要用語は太字でルビ付きの構成で統一されている。重要用語に関するコラムがあり、「思い出そう」「科学のあしあと」「ことば」「やってみよう」「くらしの中の理科」など補足テーマの種類が豊富である。本文中に「これまでに学習したこと」という項目があり、小学校や中学校で既習した内容が確認できるようになっている。また、「つながる」の項目で教科横断的な学習ができるようになっている。 ○挿絵やイラスト、写真に使用されている男女比のバランスはとれている。コラムにおいて「マイクロスケール実験」のような環境に関する記載が見られるが、廃液処理に関する記載は実験ページに見られない。全学年で「安全」に関する内容として防災についてのコラムがある。SDGsと学習内容の関連がわかるような記載がない。
教科書の 記載番号	理科 702 802 902	
書名	理科の世界	

【様式 3】

中学校 種目 理 科

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 3

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	学校図書 (学図)	○観察・実験の注意点が大きく記載されている。観察・実験が数ページに渡っていることで生徒にとって見通しが持ちにくい面がある。「結果から考察する」で表やグラフによるまとめが提示されている。「探求を深める」では会話形式のイラストでのまとめがあるが、その内容がやや簡素である。「探究」では、「気づき」「課題」「仮説」「計画」「方法」「結果」「考察」といった順序で記載されているが、「結論」が示されていることで、生徒自身の気づきや発見を通じた概念や知識・理解を深める探究にはなりにくい。単元末問題では、理解度に応じてステップを設け、全ての生徒が学習の整理を行えるよう工夫がなされている。 ○一つの観察・実験に対して課題設定から振り返りまでの過程を丁寧に示しているが、仮説や計画を促す場面において説明が先行し、多様な考えが生まれにくい。観察・実験の結果および考察が、実験ページと同じ体裁でそのまま記載されているため、自ら結果を分析し、まとめて表現する学習活動が深まりにくい。観察・実験の結果をもとに、言語活動によって多様な考えを交流し理解を深めるような場面の工夫が少ない。発達段階に応じて探究の過程を振り返るためのコラムが充実している。 ○単元導入では、既習事項や単元目標が示されており、学習の見通しを持ちやすい。章ごとに見開き2ページのダイナミックな写真を用いて、生徒の興味・関心を高める工夫がされているが、解説がややもの足りない。「理路整然」や「巻末資料」に実生活や実社会に関わる話題が紹介されているが、掲載数がやや少なめである。「SDGsを意識して脱炭素社会へ」では、今日的な課題に触れ、自然と人間の関わりについて視野や考えを広げる工夫をしている。巻末には豊富な補充資料が掲載されているが、自由研究を促す資料の掲載はない。 ○写真は全体的に大きく鮮明で見やすいものが多い。観察・実験に関する資料に提示されている画像が実物で示されているものが多いため読み手への情報量がやや多い。コラムは文字のスペースが比較的広く取られている。二次元コードが閲覧までに多少時間を要するものの、多くのページに示されている。単元の始まるのページには迫力ある写真や挿絵が多い。学習内容を深めていくそれ以外のページでは落ち着いたシンプルなデザインの挿絵がほとんどである。誰にでも見やすくわかりやすい教科書になるようにユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮している。ユニバーサルデザインフォント使用。Webページにおいて、教科書が多言語表示できる仕様となっている。 ○別冊資料は無い。重要用語は太字でルビ付きの構成で統一されている。全体的に文字は小さい。思考を深めるために段階を踏んで探究できる表記にしているが、見開きで完結できる等の工夫がなく、数ページに及んでいるので見づらい印象。太文字の説明を別ページに記載している。小学校での学習や他教科での学習、日常生活とのつながりを意識した表記がある。もう少し記述が多くても良い。 ○挿絵、イラストの男女比のバランスはとれている。「SDGsを意識して脱炭素社会へ」というコラムが全年で掲載されており環境問題に関する記載は多い。また、実験ページには廃液処理に関しての記載もされている。防災や減災に関してコラム等の記載が少なくやや物足りない。SDGsについて、各章の扉ページに関連するゴールが記載されていたり、各学年の最後の「補充資料」に「各地からのレポート」という特集ページが掲載されたりしている。記載ページや学習内容との関連性がつかみやすいとなお良い。
教科書の 記載番号	理科 011-72 011-82 011-92	
書名	中学校 科学	

【様式 3】

中学校 種目 _____ 理 科 _____

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 4

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	教育出版 (教出)	○観察・実験の注意点は「！」で示され、また赤字で注目しやすい工夫がされている。実験のまとめのページでは、それぞれ「実験〇から」と表記し、行った観察・実験から分かることが文章としてまとめられている。重要用語がオレンジ色で注目しやすくなっている。「結論」で、各観察・実験の結論が分かりやすく明示されているが、探究の過程で概念や知識・理解を深めにくい。「要点と重要用語の整理」では、用語ごとに記載ページが表記され、さらに赤色でまとめられている。単元末の問題もカラーで見やすい。
教科書の 記載番号	理科 017-72 017-82 017-92	○巻頭の「探究の進め方」で、探究活動をどのように進めていけばよいかを示している。「探究の進め方」のページは折り込みにすることで、いつでも確認することができる。観察・実験の手順を示し、段階的に思考できるように構成されている。一方で、結論までを掲載していることや、「私のレポート」においてレポート例が事細かに掲載されていることで、思考を深める妨げになることもある。「話し合おう」や「活用しよう」では、課題に対して自分で考えたことや学習したことをもとに話し合う場面が設けられている。「疑問から探究してみよう」が各単元で設定されており、探究の過程を振り返る視点が明確に記載されている。各探究活動における生徒の思考を深めるための工夫が丁寧であるとなお良い。
書名	自然の探究 中学理科	○単元導入では、ダイナミックな写真が掲載されており、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。「学んでいくこと」では、新しく学ぶ内容が既習内容を踏まえて説明され、学習の流れをつかみやすい。「ハローサイエンス」では、理科に関する原理や規則性などが日常生活や社会で活用されていることに触れているが、全体的に掲載数が少ない。巻末の「校外の施設を活用しよう」では、各施設を二次元コードと共に紹介しており、生徒自身が自然と人間のつながりについて考えを広げやすい。巻末には自由研究を具体的な方法とともに紹介しているが、生徒自らの課題発見を促す記述が少ない。 ○実験の説明ページに記載されている画像の多くがイラストで描かれているものが多い。読み手にとっての情報量は少ないが、より注目すべき点の分かりやすくなっている。コラムは小スペースで書かれているものが多く情報量が少ないため物足りない。二次元コードがページの下部に示されている。要点チェックや、モデルでの説明、実験の補助教材的なものが多く有用なものが多い。挿絵は控えめでシンプルなものが多い。写真が少ない代わりにイラストが豊富で、一つ一つが見やすく、要点が分かりやすくまとめられている。見やすさ、読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォント使用。色覚の個人差に問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している。 ○別冊資料は無い。重要用語は色付きの太字、ルビ付きの構成で統一されている。重要用語や計算問題等にはスモールステップで学習ができるように工夫されている。本文中に「思い出そう」という項目があり、小学校や中学校で既に学習した内容を確認できるようになっている。小学校の教科書のように、読み進める上で視線がスムーズに誘導されるよう工夫がされている。 ○挿絵やイラストの男女比のバランスはとれている。様々な人種のキャラクターが描かれているページもあるが他社と比べてやや少なめである。コラムにおいて「廃液の処理」のような環境に関する記載があるが、実験ページには廃液処理についての指示が記載されておらず意識しにくい。防災や減災に関する記載がある。コラム「ハローサイエンス」にSDGsのゴールが記載されているものもある。

【様式 3】

中学校 種目 _____ 理 科 _____

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 5

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	新興出版社啓林館 (啓林館)	○観察・実験における事故防止のため、危険な行程は「！」で分かりやすく記述がなされている。「わたしのレポート」では、観察・実験の結果例が掲載され、観察・実験のまとめの一助となっている。各単元に1つ「探Q実験」があり、概念や知識を深める工夫がされている。単元末の「力だめし」はモノクロでテストを意識した問題になっている。章ごとに振り返りのページがある。用語ごとに記載ページの表示があり分かりやすい。 ○各章の中に、単元で取り扱う事象の本質に迫る問題提起になる投げかけが、分かりやすく提示されている。実験目的、方法、結果、考察までの流れが見開きのフローチャートで記載されていて見やすい。「探Q実験」において、実験結果のまとめ方や分析するために参考となる情報が見やすくまとめられている。「探Q実習」に、結果と考察から発表スライドを作成し、意見交流を促す記載がある。発表用のスライドのひな型を二次元コードから読み取ると利用できる。全学年の、単元毎に探究の過程を振り返るためのまとめページがある。二次元コードから章ごとの要点を自分でまとめることができる資料が閲覧でき、振り返りシートとしても利用できる。1年生から3年生にかけて、振り返りの難易度が変わっており、学年が上がるにつれ、より具体的な視点で充実した振り返り活動が設定されている。 ○単元導入では、インパクトのある写真が生徒の興味を高める解説文と共に掲載されており、探究する意欲を喚起している。科学コラムや単元末の「ひろがる世界」では、学習内容と実生活や実社会を関連付けた内容や社会状況を反映した話題、最新の科学技術に関する話題を取り上げており、内容が充実している。単元末の「みんなで探Qクラブ」では、学習内容から生じた疑問の探究例が紹介されたり、巻末の「自由研究テーマ例」で、身のまわりの材料で実践できる研究テーマ例が紹介されたりしており、内容が豊富である。 ○写真は非常に鮮明で迫力のあるものが多く、資料集のように活用できる。掲載されている写真や画像の情報量が多く、さまざまな視点でその事象を考察することができる。コラムは小さなスペースを有効に使われているものから、ページ全体のものまで様々で、身近なテーマで興味関心を引くものも多い。最新技術に関わるものもあり、生徒の学びの延長線上にある科学を想像しやすい。二次元コードが適宜配置されている。二次元コードの横に、リンク先の内容が書いてあるためわかりやすい。ワークシートや資料、振り返りに活用できるものなど、幅広く利用できるものとなっている。挿絵やイラストなどが、バランスよく配置されているため、情報量が多いページでも何に注目すべきか分かりやすくなっている。個人の特性に関わらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いている。見やすいユニバーサルデザインフォントを使用。 ○別冊資料は無い。単元の核となる活動に対し「探Qシート」が付いており、探究活動を促している。重要用語は太字でルビ付きの構成で統一されている。重要用語や計算問題等には紙面や二次元コードを用いて学習ができるように工夫されている。「つながる学び」という項目で、小中学校での既習事項を確認することができる。また、理科の学習に欠かせない算数・数学の解説や他教科に関連する話題が記載されている。単元末のまとめ問題では色を抑えてあり、演習問題としての意識化が図りやすい。 ○挿絵やイラストの男女比のバランスはとれており、様々な人種のキャラクターが共に学習しているようすが多く描かれている。環境問題に関するコラムもあり、実験ページには廃液処理に関してマークに加えて文章での指示も記載がされている。コラムの中に「防災減災ラボ」という特集コラムがあり、全学年で掲載されている。各学年最終ページに地域環境資料が掲載され、SDGsとの関連が記載されている。一部コラムにSDGsとの関連がわかるようSDGsマークが記載されている。
教科書の 記載番号	理科 061-72 061-82 061-92	
書名	未来へひろがる サイエンス	

令和 6 年度教科用図書第二採択地区調査委員会 報告書

令和 7 年度使用 中学校 種目 音楽（一般）

提出書類	別添	様式 1 (1) 枚
		様式 2 (2) 枚
		様式 3 (2) 枚

【様式 1】

中学校 種目 音楽（一般）

令和7年度使用教科用図書調査研究観点

第二採択地区

項目	観 点		観点の内容	
1 観 点	A	知識及び技能	①	・音楽を形づくっている要素、音楽に関する歴史、文化的意義等(鑑賞など)、知識の習得に関する記述が適切に配置されているか。
			②	・課題に応じて主体的に活用できるような表現の技能に関する記述が適切に配置されているか。(歌唱・創作)
	B	思考力・判断力・表現力等	③	・音楽を形づくっている要素について、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える活動が適切に配置されているか。
			④	・楽譜や音楽そのものの理解を深めることができる記述が工夫され、適切に配置されているか。
	C	学びに向かう力・人間性等	⑤	・思いや意図をもって表現したり、味わって聞いたりする音楽活動において、より深まった学びの楽しさを体験するため、いろいろな演奏形態による教材が適切に配置されているか。
			⑥	・知覚・感受したことを様々な方法で伝えたり、意見交換したりするなど、言語活動を充実させ、友達と協働的に学ぶ楽しさを体験できる学習活動が設定されているか。
2 か資 か料 わ・ る学 構習 成指 導に	⑦	教材・資料の構成等について	「第二採択地区の子どもたちにとって学習しやすいか」について下記の点に留意し調査 ・ユニバーサルデザインの視点から適切な配慮がなされているか。 ・図や写真のバランスよく入っており、文字の大きさが適切であるか ・分量や重さ、大きさが適切であるか。 ・デジタルコンテンツは児童（生徒）が学習を進めるうえでの参考となり、さらに教材に興味、関心をもって、深い学びにつなげていく資料であるか。	
3 地第 区二 観採 点択	⑧	「多様性の尊重」、「人権尊重」、「世界平和」、「いじめ」「環境」等の現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているか	・日本や芸能及び諸外国の音楽などを幅広く配置し、多様性を感じる内容になっているか。 ・「命」「人権」「人とのつながり」「環境」「平和」等を大切にした教材が配置されているか。 ・挿絵や写真等が、固定観念にとらわれたものになっていないか。（性・民族など）	

【様式 2】

中学校 種目 音楽（一般） 令和7年度使用教科用図書観点別評価第二採択地区 No. 1

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	教育出版（教出） 音楽のおくりもの	評 価
①	・音楽を形づくっている要素、音楽に関する歴史やその背景など、知識の習得に関する記述が適切に配置されている ・記述とともに掲載されているイメージ写真や挿絵が大きくて見やすいことや、混声合唱のパートの役割や民謡についての解説が理解しやすい等、基礎的な知識や幅広い知識の習得に配慮された構成であるが、分量が多く分かりづらい表記もある。	B
②	・歌唱では、1年の教科書には、発声法が図で示されていて技能の習得に役立つ充実した内容である。歌うための準備や鼻濁音についてや母音の発音など、写真や挿絵とともに詳しく記述されている。ただ、2・3下の教科書には記載されていない。 ・指揮については、1年は、豊富なイラストとともに丁寧に記載している。 ・コンピュータを使って音程や音色を工夫しながら創作できる音楽アプリの例が掲載されており、創作の技能の向上に役立てることができる。	B
③	・「Active!」のコーナーでは、音楽を形づくっている要素と、知覚・感受したこととの関わりについて思考を深める学習が配置されているが、その箇所がやや少ない。 ・楽譜を並べて比較する学習課題があり、音楽を形づくっている要素を関連させ、それぞれの楽譜の理解が深まるよう工夫されている。	B
④	・巻末に見開きで音楽用語や演奏記号の説明が掲載されており、生徒が活用しやすくなっている。楽譜内の音楽用語や演奏記号は、すべて説明されているのではなく、掲載ページが示されていて、自ら調べられるようになっていることが、生徒の楽譜の理解を助け、曲の特徴を捉えることに有効である。	A
⑤	・多様な演奏形態が取りあげられ、歌唱教材、創作教材、鑑賞教材がバランスよく配置されている。巻末の「歌のアルバム」の中の楽曲数が多く、充実している。 ・ポピュラー音楽図鑑では、年代ごとに9種類のジャンルが掲載されており、生徒の興味・関心を高めるものとなっている。	A
⑥	・「Active!」のコーナーを手掛かりに、音楽を形づくっている要素をもとに、グループでの話し合いにつなげることができる。 ・2・3下「プレゼンをしよう」は、自分が推す曲を、音楽を形づくっている要素に着目してプレゼンテーションをする学習活動で、準備段階からの学習の過程を丁寧に記述しており、友達との協働的な学びを充実させる工夫がある。 ・創作教材においては、3学年ともに、教材が豊富で充実しており、友達と協働して音楽を作りあげる喜びを体験することができる。	B
⑦	・写真が大きく見やすいため、掲載曲の理解を深める手立てとなっている。ただ、日本の歌では、大小様々な風景のイメージ写真が使われている箇所があり、重なっている部分で文字が読みにくく、やや分かりづらい配置になっている。 ・色合いや文字に配慮されている。特に色合いは穏やかさ、やさしさを感じる配色で落ち着いた学習環境の一助となっている。 ・デジタルコンテンツについては、二次元コードの内容が開くまで分からないので、二次元コードにタイトルを付加してほしい。	B
⑧	・「歌のアルバム」では、自然の美しさや友情の尊さ、世界の平和を願う楽曲が適切に配置されており、生徒が「命」「人とのつながり」「環境」「平和」の大切さを感じ取りながら、表現を工夫できるよう配慮されている。 ・「音楽のチカラで人と社会を未来につなぐ」では、コンサート活動に触れる機会の少ない人や地域の人たちに「出前演奏」を行う、「アウトリーチ」について紹介されている。 ・演奏者の性別については、固定したイメージとならないよう配慮されている。	A

【様式 2】

中学校 種目 音楽（一般） 令和7年度使用教科用図書観点別評価第二採択地区 No. 2

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	教育芸術社（教芸） 中学生の音楽	評 価
①	・音楽を形づくっている要素との関連が教材ごとに明記されており、音楽に関する歴史やその背景など、知識の習得と学習内容の理解につながる記述が適切に配置されている。 ・伝統的な歌唱については系統的な配置がされている。「序破急」「間」など日本の音楽に関する用語が詳しく説明されており、伝統芸能や地域の芸能なども加わり、現代の生活と古典芸能が共存していることが理解できる。	A
②	・歌唱では、「My Voice!」のコーナーで、発声について3年間の発達段階に応じた内容が掲載されており、系統的に学ぶ工夫がされている。また、発声の技能の習得とともに、習得したことを連動させて音楽表現につなげる一連の流れがある。 ・指揮については、やや学習内容が多いが、3年間の系統性のある配置である。 ・創作については、デジタルコンテンツと連動しており、楽譜が苦手な生徒も創作の技能を伸ばすことができる仕掛けになっている。	A
③	・「学びのコンパス」では、音楽を形づくっている要素と知覚・感受したこととの関わりについて思考を深める学習が適切に配置されている。また、教材には、重点となる音楽を形づくっている要素が欄外にマークで示されており、思考を助けている。 ・「心通う合唱」の合唱曲には、音楽を形づくっている要素を知覚・感受しながら歌うためのアドバイスが、曲名の横に記載されている。	A
④	・教材ごとに楽譜内の音楽用語や演奏記号の補足説明が短く記載されていたり、巻末の「音楽の約束」の中に掲載箇所を示したりなど、生徒の楽譜の理解を助ける工夫がされている。「音楽の約束」は、文字ばかりでなく図の説明を増やすと、見やすく、理解しやすいものになる。	B
⑤	・多様な演奏形態が取りあげられ、歌唱教材、創作教材、鑑賞教材がバランスよく配置されている。また、巻末の合唱曲は、生徒が思いや意図をもって表現を工夫したり、歌い合わせる喜びを実感したりできる楽曲が掲載されている。 ・ポピュラー音楽では、海外編、日本編とあり、多くのアーティストがジャンルごとに掲載されていて、生徒の興味・関心を高めるものとなっている。	A
⑥	・「学びのコンパス」には、音楽を形づくっている要素に着目して友達と意見交換する学習活動の設定がある。また、中間発表としての意見交換の活動もあり、友達の意見を参考に自身の考えを再構築する場が設けられている。 ・創作教材においては、教材数は多くはないが、音楽の見方・考え方を働かせて意見交換し、友達と協働して音楽を作り上げる喜びを体験することができる。	A
⑦	・目次および「学習内容」では、思考力・判断力・表現力等の学習指導要領の観点や「音楽を形づくっている要素」との関連がわかりやすく示されている。 ・ユニバーサルデザインとしての配慮があるが、ページによっては、情報量が多く、やや文字が小さく感じる箇所や写真が見づらい箇所がある。 ・デジタルコンテンツは、音楽・動画・ワークシートと充実しており、日本の歌では演奏と風景の動画があるなど、情景を思い浮かべて表現の工夫ができる。また、創作ツールも充実しており、読譜や演奏が苦手な生徒も意欲的に創作を楽しんで学べる配慮がされている。	B
⑧	・「心通う合唱」では友達や人とのつながりを大切に感じさせる歌詞が多く掲載されている。また、歌に込められたメッセージや作者の思いが分かりやすく掲載されている。 ・「生活や社会の中の音や音楽」は音や音楽が暮らしの中で欠かせないことに気づき、生涯にわたって音や音楽への興味関心を持ち続けられる内容が工夫されている。 ・巻頭ページでは、宇宙船から見た地球の写真や宇宙船内でも音楽を楽しんでいたという宇宙飛行士 野口聡一さんのメッセージがあり、音楽の持つ力、魅力を十分に伝えている。	A

【様式 3】

中学校 種目 音楽（一般）

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 1

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	教育出版 (教出)	・音楽を形づくっている要素、音楽に関する歴史やその背景など、知識の習得に関する記述が適切に配置されている。記述とともに掲載されているイメージ写真や挿絵が大きく、基礎的な知識や幅広い知識の習得に配慮された構成である。やや分量が多い箇所が見受けられる。 ・歌唱の発声法や指揮法について、1年の教科書では、図で丁寧に示されており、技能の習得に役立つ充実した内容である。ただ、2・3上、2・3下と発達段階に合わせて継続した掲載はされていない。創作教材については、教材が充実しており、音楽アプリの例が掲載されるなど、創作の技能の向上に役立てることができる。
教科書の 記載番号	音楽 017-72 017-83 017-84	・「Active!」のコーナーでは、音楽を形づくっている要素と、知覚・感受したこととの関わりについて思考を深める学習が配置されている。 ・巻末に見開きで音楽用語や演奏記号の説明が掲載されており、生徒が楽譜をより正しく理解し、曲の特徴を捉え、曲にふさわしい表現を創意工夫する際に有効である。
書名	中学音楽 音楽のおくりもの	・多様な演奏形態が取りあげられ、歌唱教材、創作教材、鑑賞教材がバランスよく配置されている。巻末の「歌のアルバム」では、歌唱教材の楽曲数や種類が充実している。「ポピュラー音楽図鑑」では年代ごとに9種類のジャンルが掲載されており、生徒の興味・関心を高めるものとなっている。 ・「Active!」のコーナーを手掛かりに、音楽を形づくっている要素をもとに、グループでの言語活動につなげることができる。2・3下「プレゼンをしよう」等、言語活動の充実や友達との協働的な学びを実感させる内容となっているが、もう少し掲載箇所がほしい。 ・写真が大きく見やすいため、掲載曲の理解を深める手立てとなっている。ただ、大小様々な風景のイメージ写真が使われている箇所があり、重なっている部分で文字が読みにくく、やや分かりづらい配置になっている。 ・デジタルコンテンツについては、二次元コードのそばに内容を記すなど、生徒が活用しやすい配慮がほしい。 ・「歌のアルバム」では、自然の美しさや友情の尊さ、世界の平和を願う楽曲が適切に配置されている。また、「音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ」のコーナーで、コンサート活動に触れる機会の少ない人や地域の人たちに「出前演奏」を行う、「アウトリーチ」について紹介されている。 ・イラスト、写真等の人物の性別等については、固定したイメージとならないよう配慮されている。 ・世界のさまざまな国や民族の音楽や楽器が多数扱われ、多様性の尊重が感じられる。

【様式 3】

中学校 種目 音楽（一般）

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 2

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	教育芸術社 (教芸)	・音楽を形づくっている要素との関連が教材ごとに明記されており、音楽に関する歴史やその背景など、知識の習得と学習内容の理解につながる記述が適切に配置されている。伝統的な歌唱については系統的な配置がされている。伝統芸能や地域の芸能なども加わり、現代の生活と古典芸能が共存していることが理解できる。 ・歌唱の発声法については、「My Voice!」のコーナーで、発声について3年間の発達段階に応じた内容が掲載されている。指揮法についても、3年間の系統性を意識した配置である。
教科書の 記載番号	音楽 027-72 027-83 027-84	・創作については、デジタルコンテンツと連動しており、読譜が苦手な生徒も意欲的に学び、創作の技能を伸ばすことができる配慮と仕掛けになっている。 ・「学びのコンパス」では、音楽を形づくっている要素と知覚・感受したこととの関わりについて思考を深める学習が適切に配置されている。楽譜内の音楽用語や演奏記号の理解については、補足説明が短く記載されていたり、巻末の「音楽の約束」の中の掲載箇所を示したりなど、理解を深める工夫がされているが、「音楽の約束」の項について、生徒の立場に立った表記の工夫がほしい。
書名	中学生の音楽	・多様な演奏形態が取りあげられ、歌唱教材、創作教材、鑑賞教材がバランスよく配置されている。巻末の合唱曲は、歌い合わせる喜びを実感できる楽曲が適切に配置されており、ポピュラー音楽では、海外編、日本編とあり、生徒の興味・関心を高めるものとなっている。 ・「学びのコンパス」には、音楽を形づくっている要素に着目して友達と意見交換する学習活動の設定がある。 ・目次および「学習内容」では、思考力・判断力・表現力等の学習指導要領の観点や「音楽を形づくっている要素」と学習内容との関連がわかりやすく示されている。 ・ユニバーサルデザインとしての配慮があるが、ページによっては、情報量が多く、やや文字が小さく感じる箇所や写真が見えにくい箇所がある。 ・デジタルコンテンツは、音楽・動画・ワークシートと豊富であり、創作ツールも充実している。 ・「心通う合唱」では、友達や人とのつながりを大切と感じさせる歌詞が多く、共感を呼ぶ。 ・「生活や社会の中の音や音楽」は音や音楽が暮らしの中で欠かせないことに気づき、生涯にわたって音や音楽への興味関心を持ち続けられる内容が工夫されている。また、巻頭ページでは、宇宙船内でも音楽を楽しむ、宇宙飛行士 野口聡一さんのメッセージがあり。音楽の意義について考え、学習を深める手立てとなっている。 ・世界のさまざまな国や民族の音楽や楽器が多数扱われ、多様性の尊重が感じられる。

令和 6 年度教科用図書第二採択地区調査委員会 報告書

令和 7 年度使用 中学校 種目 音楽（器楽合奏）

提出書類	別添	様式 1 (1) 枚
		様式 2 (1) 枚
		様式 3 (1) 枚

【様式 1】

中学校 種目 音楽（器楽合奏） 令和7年度使用教科用図書調査研究観点 第二採択地区

項目	観 点		観点の内容	
1 観 点	A	知識及び技能	①	・音楽を形づくっている要素、さまざまな楽器の構造や歴史に関する記述等、知識の習得に関する内容が適切に配置されているか。
			②	・基礎的な奏法や演奏技能、並びに器楽における創作の技能の習得に関する内容が適切に配置されているか。
	B	思考力・判断力・表現力等	③	・音楽を形づくっている要素について、知覚したことと感受したことを生かしながら表現を工夫する内容が適切に配置されているか。
			④	・楽譜の理解を深め、曲の特徴やよさが理解しやすいよう工夫された記述が、適切に配置されているか。
	C	学びに向かう力・人間性等	⑤	・多様な演奏形態の曲がバランスよく配置され、生徒の器楽表現への興味・関心を高め、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育む内容になっているか。
			⑥	・知覚・感受したことを様々な方法で伝えたり、意見交換したりするなど、言語活動を充実させ、友達と協働的に学ぶ楽しさを体験できる学習活動が設定されているか。
2 か資 か料 わ・ る学 構習 成指 導に	⑦	教材・資料の構成等について	「第二採択地区の子どもたちにとって学習しやすいか」について下記の点に留意し調査 ・ユニバーサルデザインの視点から適切な配慮がなされているか。 ・図や写真のバランスよく入っており、文字の大きさが適切であるか。 ・分量や重さ、大きさが適切であるか。 ・デジタルコンテンツは児童（生徒）が学習を進めるうえでの参考となり、さらに教材に興味、関心をもって、深い学びにつなげていく資料であるか。	
3 地第 区二 観採 点択	⑧	「多様性の尊重」、「人権尊重」、「世界平和」、「いじめ」「環境」等の現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているか	・日本や諸外国の音楽などを幅広く配置し、多様性を感じる内容になっているか。 ・「命」「人権」「人とのつながり」「環境」「平和」等を大切にした教材が配置されているか。 ・挿絵や写真等が固定観念にとらわれたものになっていないか。（性・民族など）	

【様式 2】

中学校 種目 音楽（器楽合奏）

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 1

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名			
	教育出版（教出） 中学器楽 音楽のおくりもの	評 価	教育芸術社（教芸） 中学生の器楽	評 価
①	・楽器の名称や基礎的奏法について、写真等を効果的に活用して、視覚的に理解しやすい工夫がされている。 ・「吹く（弾く）楽器の仲間たち」では様々な国の管楽器、弦楽器が掲載されており、幅広い知識を得ることができる。	A	・楽器の名称や基礎的奏法の解説が適切に配置され、知識の習得に効果的な内容となっている。 ・「楽器を知ろう」のコーナーでは、楽器の歴史が簡潔に記載され、楽器への興味・関心を高めるものとなっている。	A
②	・ギターや箏では、写真が大きく弦の押さえ方などの基礎的奏法がよく分かり、演奏技能の習得に有効である。 ・「音のスケッチ」のコーナーに、創作教材が複数配置されている。	A	・どの楽器においても、説明文、写真等で奏法が詳しく示されており、生徒の自発的な演奏技能の習得に有効である。 ・デジタルコンテンツで、箏を用いた創作教材が配置されている。	A
③	・全ての曲について、演奏上のめあての記載があるが、音楽を形づくっている要素との関連、思考力を高める工夫に、やや物足りなさがある。	B	・学習のめあてや重点となる音楽を形づくっている要素の記載があり、また、「学びのコンパス」には、思考を深める投げかけがあり、知覚・感受したことをもとに、表現を工夫する学習活動に取り組むことができる。	A
④	・箏の「さくらさくら」「荒城の月」では、五線譜と縦譜を両方掲載している。ただ、配置が複数箇所にあたっているなど、適切ではない箇所がある。 ・音楽用語や記号の説明が適切である。	B	・五線譜のみならず家庭式縦譜を同一ページに掲載しており、曲全体や旋律の理解を深め、曲の特徴やよさを感じて演奏できる。 ・音楽用語や記号の説明が適切である。	A
⑤	・多様なジャンル、演奏形態の曲が豊富で、比較して学ぶことができる。 ・手拍子、膝打ち、足踏みでリズムを合わせる教材があり、生徒の器楽表現への興味・関心が高まる工夫がされている。	A	・多様なジャンル、演奏形態の曲がそれぞれバランスよく配置されている。 ・巻頭ページでは、生徒が生涯にわたって音や音楽と豊かにかかわれるために、印象深い内容に工夫されている。	A
⑥	・「表現のしかたを調べてみよう」では個人が知覚・感受した後、友達と意見交換をして学びを深めることができる。 ・世界の様々な楽器の違いについてキーワードを挙げて考える学習があるが、その後、友達と意見交換をして、理解を深め合う学習活動があるとよい。	B	・「学びのコンパス」に音楽を形づくっている要素を意識させた問いがあり、それをもとにグループで話し合い、演奏するなど、言語活動を充実させ、音楽を協働して学ぶ楽しさを体験できる設定になっている。	A
⑦	・楽曲の数が豊富で充実している。 ・写真は全体的に大きくて見やすく、充実している。ユニバーサルデザインに配慮した色彩だが、文字は、色が薄いと見えにくい箇所がある。 ・デジタルコンテンツがやや物足りなく感じる。二次元コードの内容をより詳しく記載すると使いやすくなる。	B	・目次の後に、学習内容が系統立てて明確に示されている。 ・ユニバーサルデザインとして、文字のフォントや色彩に配慮されているが、分量が多く、文字が小さい箇所がある。 ・デジタルコンテンツが豊富に配置されており、生徒の自主学習・発展的な学習に役立つ工夫がされている。	B
⑧	・「吹く（弾く）楽器の仲間たち」では、様々な国の民族楽器が紹介され、多様性の尊重を感じさせる。 ・通りがかりに一緒に音楽が楽しめる「ストリートピアノ」が取り上げられており、生活と音楽のとの関わりや意義について考えを深めることができる。	A	・様々な編成やジャンルの合奏曲の掲載により、演奏を通して民族や国の文化をより身近に理解することができる。 ・挿絵・写真が多様性の尊重を感じさせる内容になっている。 ・演奏家からのメッセージは、生活や社会の中の音楽の意義を感じさせる。	A

【様式 3】

中学校 種目 音楽（器楽合奏）

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 1

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	教育出版 (教出)	・楽器の名称や基礎的奏法が写真等を効果的に活用しで視覚的に理解しやすい工夫がなされている。 ・「吹く（弾く）楽器の仲間たち」では様々な国の管楽器、弦楽器が掲載されており、幅広い知識を得ることができる。 ・写真が大きく基礎的奏法がよく理解でき、演奏技能の習得に有効である。 ・全ての曲について、演奏上のめあての記載があるが、音楽を形づくっている要素との関連、思考力を高める工夫に、やや物足りなさを感じる。
教科書の 記載番号	器楽 017-72	
書名	中学器楽 音楽のおくりもの	
発行者 (略称)	教育芸術社 (教芸)	・楽器の名称、基礎的奏法の解説が適切に配置され、知識の習得に効果的な内容となっている。 ・「楽器を知ろう」のコーナーでは、楽器の歴史が簡潔に記載され、楽器への興味・関心を高めるものとなっている。また、どの楽器においても記述や写真等で奏法が分かりやすく示され、技能の習得に有効である。 ・全ての曲について、演奏上のめあての記載があり、また、「学びのコンパス」では、思考を深める投げかけがあり、知覚・感受したことをもとに、表現を工夫する学習活動に取り組むことができる。
教科書の 記載番号	器楽 027-72	
書名	中学生の器楽	

令和 6 年度教科用図書第二採択地区調査委員会 報告書

令和 7 年度使用 中学校 種目 美 術

提出書類	別添	様式 1 (1) 枚
		様式 2 (2) 枚
		様式 3 (2) 枚

【様式 1】

中学校 種目 美術 令和7年度使用教科用図書調査研究観点

第二採択地区

項目	観 点		観点の内容	
1 観 点	A	知識及び技能	①	・形や色彩などの性質や、それらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などから全体のイメージや作風などで捉えることなどについて実感を伴いながら理解できるよう留意しているか。
		形や色、材料や光などの造形の要素に着目してそれらの働きを捉えたり、全体に着目して造形的な特徴などからイメージを捉えたりすることについて扱っているか。 また、材料や用具の特徴を生かし、自分の思いを表現するために、様々な技法等が紹介されているか。	②	・一定の手順に沿って材料や用具の使い方などの個別の技能を身に付けるだけでなく、生徒自らが発想や構想したことを基に、自分の意図をよりよく表現するための創造的に表す技能を身に付けられるよう工夫しているか。
	B	思考力・判断力・表現力等	③	・自己との対話を深めることや、[共通事項]に示す事項を視点に、表現において発想や構想に対する意見を述べ合ったり、鑑賞において作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合ったりするなどの言語活動の充実に留意しているか。
		言語活動の充実に関わる教材や学習活動が設定されているか。 また、充実した鑑賞の活動に関わる題材が多く設定されているか。	④	・鑑賞の指導については、各学年とも、各事項において育成を目指す資質・能力の定着が図られるよう、適切かつ十分な授業時数を確保することに留意しているか。
	C	学びに向かう力・人間性等	⑤	・美術科の授業の内容を学校内で閉じることなく、生活や社会とつなげて関わりをもたせ、気付かせる工夫をしながら、主体的に生活や社会の中で美術を生かし、想像していく態度が養えるよう留意されているか。
2 か資 か料 わ・ る学 構習 成指 等導 に	⑥	教材・資料の構成等について 表現、標記が適切であり、生徒にわかりやすい構成になっているか。 また、資料、図版、さし絵等が適切で、見やすい工夫がされているか。 生徒の学習活動が効果的に進められるように配慮されているか。	・ユニバーサルデザインの視点から適切な配慮がなされているか。 ・図や写真がバランスよく入っており、文字の大きさが適切であるか。 ・分量や重さ、大きさが適切であるか。 ・デジタルコンテンツは生徒が学習を進めるうえでの参考となり、さらに教材に興味・関心をもって、深い学びにつなげていく資料となっているか。	
3 地第 区二 観採 点択	⑦	「多様性の尊重」、「人権尊重」、「世界平和」、「いじめ」「環境」等の現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているか。	・現代的な諸課題に関する配慮や、教科横断的な教育内容を適切に取り扱っているか。	

【様式 2】

中学校 種目 美術

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 1

観点 番号	発 行 社 (略 称) と 書 名			
	開隆堂出版 (開隆堂) 美術 1 美術 2・3	評 価	光村図書出版 (光村) 美術 1 美術 2・3	評 価
①	図版が大きく用いられており、視覚的に形や色彩、材料や光など造形的なイメージを広げるきっかけを作っている。 また、生徒や作者の言葉、キャラクターの吹き出しをきっかけに感情表現や作風理解につなげている。	A	写真や図版の内容が充実しており、鑑賞から表現へのつなぎの役目をする仕組みが優れている。 また、形や色彩などの性質、造形的な特徴など全体のイメージがとらえやすい。資料が美しく構成されている。	A
②	文章の表現よりも問いかけをきっかけにして、技法の工夫を読み取っていく仕組みにしているので、文章による説明がやや不足している。「美術の用語」では、技法や用語の説明がされており、知識理解に結び付けている。	B	別冊資料により、3年間繰り返し見ることができ、それぞれに必要な時、補助として使える。また、取り扱い内容も写真や映像表現など、より充実した内容になっている。画家や用語の解説の掲載が多く、知識を程よく補える。	A
③	マインドマップを活用して、言葉で整理したことを表現に繋げたり、アイデアスケッチを提示することで、制作の過程を分かりやすく示したりするなどして、言語活動のきっかけを作っている。	A	美術に関連する用語を掲載することで鑑賞や制作の視点が分かりやすく示されており、豊かな言語活動に結び付けている。また、豊富な鑑賞資料や比較鑑賞しやすい構成、思考ツールの提示など、工夫箇所が多く見られる。	A
④	身近で話題性の高い作品が掲載されており、インパクトの強さ、新鮮さを感じることができる。 また、幅を持たせた鑑賞の切り口が用意されており、授業者によるアレンジがしやすい。	A	問いかけ風にキーワードや手がかりを示し、鑑賞の視点が明確になっている。 また、同じ題材の中に多様な表現を紹介したり、生徒の制作を紹介する「みんなの工夫」を掲載したりしているので、題材のねらいに即した鑑賞ができる。	A
⑤	著作権やSDGsなど現代的なテーマや課題に触れ、美術と社会のつながりを感じ取れるしくみになっている。 また、インクルーシブな社会を取り上げ、多様性を大切にする美術の本質を伝えている。	A	他教科とのつながりを視覚的に提示し、美術と社会、他分野との関連に気付くことができる。 また、防災や映像表現など現代社会の課題や中学生にとって身近なテーマについて触れている。	A
⑥	UDフォントや総ルビなど、誰もが見やすい工夫がされている。背景色が白色で統一したり色合いを優しくしたりしているのも配慮の一つである。また、写真のレイアウトの仕方に見た目のインパクトを感じることができ、仏像の特集や表紙の触感などにも工夫が見られる。	A	単元ごとにページレイアウトが様々で遊び心があり、雑誌感覚で楽しめる。また、日本絵画のページにおいて紙質を変えるなど触感から作品の素材を感じることができる。デジタルコンテンツに他で見ることができない貴重な資料が収録されている。	A
⑦	SDGsについて深く取り上げている。また、オリエンテーションの内容やキャラクターの吹き出しなどから、美術を通して多様性を受け入れることの大切さを伝えている。世界平和やインクルーシブな社会の実現について触れている。	A	他教科とのつながりがコラムで紹介され、教科横断的な関連が分かりやすく示されている。また、様々な文化の作品を紹介したり、情報モラルや防災、SDGsなど現代的な諸課題に触れたりしている。	A

【様式 2】

中学校 種目 美術

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 2

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名			
	日本文教出版（日文） 美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びの実感と深まり 美術2・3下 学びの探求と未来	評 価		評 価
①	「造形的な視点」の提示によって、形や色彩の働きやそれらが感情にもたらす効果などの造形要素について生徒が自ら気付くきっかけになっている。また、「作者の言葉」においても、造形的な要素に気付くように配慮している。	A		
②	巻末の「学びを支える資料」が図版付きで分かりやすくまとめられており、生徒が技法を試しやすく工夫されている。また、各単元に「表現のヒント」が示されており、技法や構成について考えが深まる手助けとなっている。	A		
③	各題材の最初に「鑑賞の入り口」があり、鑑賞の視点や造形的な要素に気付くことができる。自分との対話場面は設定されているが、他者との交流場面はやや少なく、言語活動の設定機会がもう少し欲しい。	B		
④	豊富な資料に加え、原寸大で作品を掲載するなど、工夫が感じられる。また、屏風の仕掛けや高精細印刷などを用いることにより、実感的に理解しやすく鑑賞学習の楽しさに繋げている。	A		
⑤	動画編集の方法を詳しく取り扱い、ICTを活用した新しい美術表現や、実生活と美術との関わりなどが感じとれる。また、アール・ブリュットの紹介に地元の美術館が取り上げられ、身近に美術の存在を感じることができる。	A		
⑥	図や写真が大きく、余白を取ったり背景色を白で統一したりしてあるため、見やすい構成になっている。また、文字の間隔が程よく、フォントも含めて読みやすいレイアウトになっている。絵画資料や写真などに光沢があるので、はっきりとした印象でインパクトが強い。	A		
⑦	アール・ブリュットについて滋賀県のNOMAを紹介しており、身近に美術の存在を感じることができる。また、環境デザインや、義足と美術の関連を取り上げるなど、共生テーマを豊富に扱っている。	A		

【様式 3】

中学校 種目 美術

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 1

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	開隆堂出版 (開隆堂)	○図版を大きく用いており、細かな表現まで鑑賞することができる。 ○視覚的に形や色彩、材料や光など造形的なイメージを広げるきっかけを作っている。 ○生徒や作者の言葉や、キャラクターの吹き出しなどをきっかけに感情表現や作風理解につなげている。 ○文章の表現よりも問いかけをきっかけにして、技法の工夫を読み取っていく仕組みにしているので、文章による説明がやや不足している。 ○「美術の用語」では、技法や用語の説明がされており、知識理解に結び付けている。 ○マインドマップやアイデアスケッチの提示などから、言語活動のきっかけを作っている。 ○身近で話題性の高い作品が掲載されており、インパクトの強さ、新鮮さを感じることができる。 ○幅を持たせた鑑賞の切り口が用意されており、授業者によるアレンジがしやすい。 ○著作権やSDGsなど現代的なテーマや課題に触れ、美術と社会のつながりを感じ取れるしくみになっている。 ○インクルーシブな社会を取り上げ、多様性を大切にする美術の本質を伝えている。 ○UDフォントや総ルビなど、誰もが見やすい工夫がされている。 ○写真のレイアウトにインパクトの強さを感じることができ、仏像の特集や表紙の触感にも工夫が見られる。 ○SDGsについて深く取り上げたり、美術を通して多様性を受け入れることの大切さを伝えたりしている。 ○世界平和やインクルーシブな社会の実現について触れている。
教科書の 記載番号	美術 009-72 009-82	
書名	美術1 美術2・3	
発行者 (略称)	光村図書出版 (光村)	○写真や図版の内容が充実しており、鑑賞から表現へのつなぎの役目をしている。 ○別冊資料により、3年間繰り返し見ることができ、それぞれに必要な時、補助として使える。 ○写真や映像表現など、取り扱い内容が充実している。 ○画家や用語の解説の掲載が多く、知識を程よく補える。 ○美術に関連する用語を掲載し、鑑賞や制作の視点が分かりやすく示し、言語活動に結び付けている。 ○鑑賞資料が豊富で、比較鑑賞がしやすい構成や、思考ツールの提示など、工夫箇所が見られる。 ○問いかけ風にキーワードや手がかりを示し、鑑賞の視点が明確になっている。 ○同じ題材の中に多様な表現を紹介したり、生徒の制作を紹介する「みんなの工夫」を掲載したりしている。 ○他教科とのつながりを視覚的に提示し、美術と社会、他分野との関連に気付くことができる。 ○防災や映像表現など現代社会の課題や中学生にとって身近なテーマについて触れている。 ○單元ごとにページレイアウトが様々で遊び心があり、雑誌感覚で楽しめる。 ○日本絵画のページにおいて紙質を変えるなど触感から作品の素材を感じることができる。 ○デジタルコンテンツに他で見ることができない貴重な資料が収録されている。 ○他教科とのつながりがコラムで紹介され、教科横断的な関連が分かりやすく示されている。 ○様々な文化の作品を紹介したり、情報モラルや防災、SDGsなど現代的な諸課題に触れたりしている。
教科書の 記載番号	美術 038-72 038-73 038-82	
書名	美術1 美術2・3	

【様式 3】

中学校 種目 美術

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 2

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	日本文教出版 (日文)	○「造形的な視点」「作者の言葉」の提示によって、造形的な要素に気付けるように配慮している。 ○「学びを支える資料」が図版付きで分かりやすくまとめられて、生徒が技法を試しやすく工夫されている。 ○各単元に「表現のヒント」が示されており、技法や構成について考えが深まる手助けとなっている。 ○各題材の最初に「鑑賞の入り口」があり、鑑賞の視点や造形的な要素に気付くことができる。 ○自分との対話場面は設定されているが、他者との交流場面はやや少なく、言語活動の設定機会がもう少し欲しい。 ○豊富な資料に加え、原寸大で作品を掲載するなど、工夫が感じられる。 ○屏風の仕掛けや高精細印刷などを用いることにより、実感的に理解しやすく鑑賞学習の楽しさに繋げている。 ○動画編集の方法を詳しく取り扱い、ICTを活用した美術表現や、実生活と美術との関わりなどが感じとれる。 ○アール・ブリュットの紹介に地元の美術館が取り上げられ、身近に美術の存在を感じることができる。 ○図や写真が大きく、余白を取ったり背景色を白で統一したりしてあるため、見やすい構成になっている。 ○文字の間隔が程よく、フォントも含めて読みやすいレイアウトになっている。 ○絵画資料や写真などに光沢があるので、はっきりとした印象でインパクトが強い。 ○アール・ブリュットについて滋賀県のNOMAを紹介しており、身近に美術の存在を感じることができる。 ○環境デザインや、義足と美術の関連を取り上げるなど、共生テーマを豊富に扱っている。
教科書の 記載番号	美術 116-72 116-83 116-84	
書名	美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びの実感と深まり 美術2・3下 学びの探求と未来	

令和 6 年度教科用図書第二採択地区調査委員会 報告書

令和 7 年度使用 中学校 種目 保健体育

提出書類	別添	様式 1 (1) 枚
		様式 2 (2) 枚
		様式 3 (2) 枚

【様式 1】

中学校 種目 保健体育 令和7年度使用教科用図書調査研究観点(案) 第二採択地区

項目	観 点		観点の内容	
1 観 点	A	知識及び技能	①	運動やスポーツとの多様なかかわり方（楽しみ方）や「する・みる・支える・知る」について取り扱っている個所数や内容が適切か。
			②	健康や体力の状況に応じて体力を高める必要性について取り扱っている個所数や内容が適切か。
	B	思考力・判断力・表現力等	③	心の健康や疾病の予防に関する健康課題の解決に関わる内容、ストレス対処や心肺蘇生法等の技能に関する個所数や内容が適切か。
			④	身近な日常生活の体験や事例を題材にした話し合いや思考を促す資料を用いて健康・安全に関する課題を解決する学習活動を取り上げている個所数や内容が適切か。
			⑤	実践的理解を促すために実験などを取り上げたり、コラム、写真や図、グラフ、表などを用いて解説したりしている個所数や内容が適切か。
	C	学びに向かう力・人間性等	⑥	運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することができるような共生の視点の個所数や内容が適切か。
			⑦	自己の健康・安全に関する取組や自己の健康安全の保持増進や回復のために主体的、協働的に活動するよさに気付くような事例や問いの個所数や内容が適切か。
			⑧	身近な健康や心身の発育、発達などを肯定的に捉えられるような内容を取り上げている個所数や内容が適切か。
2 か資 か料 わ・ る学 構習 成指 等導 に	⑨	教材・資料の構成等について全ての教材・資料において適切に構成されており、また、ユニバーサルデザインの観点も含めて、効果的な工夫・配慮がなされているか。	ユニバーサルデザインの視点から適切な配慮がなされているか。デジタルコンテンツ（QRコードなど）は生徒が学習を進める上で参考になったり、深い学びにつながるツールとなったりしているか。	
3 地第 区二 観採 点択	⑩	多様性の尊重、人権尊重、世界平和、いじめなど、現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているか。	・現代社会における課題について、具体的に示されているか。 ・体力や技能の程度、性別や障がいの有無等にかかわらず共生の観点を踏まえ工夫、配慮されているか。 ・自他共にかけがえのない命を大切にし、人権を大切にする学習につながる要素を取り入れているか。	

【様式 2】

中学校 種目 保健体育

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 1

観点 番号	発 行 社 (略 称) と 書 名			
	東京書籍 (東書) 新編 新しい保健体育	評 価	大日本図書 (大日本) 中学校保健体育	評 価
①	グラフや絵などを使用し、様々な場面で多様な関わり方が示してある。ページ後半部に「活用する場面」の設定がされており、子どもたちが運動やスポーツを自分ごととして捉えやすくなるよう工夫がなされている。	B	様々な単元でスポーツや運動に関連づけたものがある。話し合いが行える発問が設けられ、発展的な考え方ができる工夫がある。見開きでのページ掲載のため、わかりやすい構成となっている。身近な例からスポーツをとらえやすい工夫がなされている。	B
②	関連する単元において、体力を高める必要性について具体的な運動例が示されていてイメージしやすい。また「活用する」で、例をもとに考えやすい工夫がされていてグループワークにも活用できる。一方、視覚教材として実写とイラストが併用されているが、いずれも小さくイメージを持ちにくい。	B	状況に応じて、体力を高める必要性について関連する単元で、資料や文末資料が多く示されており、イメージしやすい。一方、イラストが多く、実写でないことが子どもたちにとっては身近に感じない可能性がある。	B
③	思春期における心の変化についてわかりやすく表記されている。文字量を減らす工夫がされているが、内容は深く作られている。心肺蘇生については具体的手法を明確に表示している。スキルブックとして、QRコードの動画と共に示してあり、知識・技能を高めやすい。	B	章末資料を活用することでストレス対処について身近に考えることができる。「トピックス」には近年話題になる用語が取り上げられており、健康について身近に感じやすい工夫がなされている。心肺蘇生法についてページ数も多く、きめ細やかな内容に作られており、わかりやすい。	A
④	各単元の「活用する」を使いながら、身近な健康・安全に対することが考えられるようになっている。また、自分や他者の考えを記入するページが設けられており、学びを深める工夫がなされている。	A	資料や図などを使い、身近な課題や発見につながるように工夫されている。「学びを活かそう」では単元ごとに仲間と共に振り返りを行いやすい工夫がある。自分の考えを記入する箇所も設けられており学びを深めやすい。	B
⑤	統計資料は新しい年代のものが多く、説得力がある。資料を効果的に活用するための色合いや配置など全体の見やすさがある。コラムやトピックスの量は、適度に配置されている。章末資料で関連ページが記載されているが、見出しにキーとなる言葉がないため、結びつきがわかりにくい。	B	実技種目の学び方や体力の高め方をイラストと共に明示した資料があり、保健と体育の結びつきがある反面、資料が多くなると字が小さく見づらい箇所がある。統計資料は、年代の古いものが多く、説明の根拠として説得力が低い。カラフルな資料が多く、資料を活用するには少し賑やかに感じる。	C
⑥	運動やスポーツの多様性の単元では、「する・みる・知る・支える」例が文章と写真で紹介されているが、情報量が少なく、イメージがわきにくい。細かく例が書かれており、写真で紹介されている部分は評価できる。	B	運動やスポーツの多様性の単元では、「する・みる・知る・支える」例の情報量が少ない。フェアプレイにふれている部分や、国、男女、障がいの有無などの違いをルールの工夫等で、一緒に活動や交流することができるのと記述は評価できる。	A
⑦	各章の見出しで、健康についての課題を投げかけ実際の生活でどう取り組んでいったらよいかを考える流れになっている。また、自然災害や環境の単元では、身近に考えられる問いにより、主体的・協働的に活動する良さに気づく工夫がされている。	A	単元ごとに自己の健康について主体的に考えられる発問があり、わかりやすい。章末の資料などで、主体的に自分がどのように健康や安全に行動していけばよいか考える内容がある。	A
⑧	章末資料が身近な問いでわかりやすい。また、身体への負担が大きくならないよう適正な運動・スポーツの強度、時間、頻度を学ぶことができる。ストレスによる心身の負担を軽減できるコミュニケーション方法等を実践する部分が少ない。	B	単元ごとにトピックスがあり、身近な健康問題について肯定的に考えられる内容になっている。しかし、単元終わりの問いは漠然としていて身近な問題としては答えにくい。章末の資料は豊富で、語句のまとめもあり分かりやすい。	A
⑨	資料等の色合いはほぼよく、誰にでも見やすい。単元毎にデジタルコンテンツが準備されており、中身も関連動画や深める資料につながる。内容にリンクしたものであり、授業では役に立ち深い学びにつながるツールとなっている。	A	QRコードが各ページになく、章末にある。実習など、動画で理解を深めたい場所にはついていないが、毎回同じ場所にQRコードがついていないため気づきにくい。WEBテストは単元の復習ができてやりやすい。	C
⑩	女子生徒がズボンを着用している絵やサッカー部のキャプテンの挿絵が女子生徒であったり、テニスのペアが男女ペアであったり、性の多様性に関する章末資料があったり等、性に関しては充実していると言える。	B	個人差や男女の違い、国籍について差別することなく表記されている。しかし、LGBTQなどの性の多様性については、記載量も少なく詳しく表記されていない。	C

【様式 2】

中学校 種目 保健体育

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 2

観点 番号	発 行 社 (略 称) と 書 名			
	大修館書店 (大修館) 最新 中学校保健体育	評 価	Gakken (学研) 新・中学保健体育	評 価
①	実写が多く、イメージを持たせながら学ぶことができる工夫がなされていた。子どもたちが身近にスポーツを捉えやすく感じるよう、技能の例を多用されており、深い学びにつながる内容となっている。	A	今と昔のスポーツについて比べることができ、スポーツに関して興味をもちやすい工夫がある。イラストを多く用いることにより、運動やスポーツとのかかわり方について、資料から視覚的にわかりやすく理解できる工夫がなされている。	A
②	必要性について取り扱っている数が少ないが、特集資料によって、生涯にわたって体力を高める必要性が考えやすいように工夫しており、興味を持ちやすいページとなっている。実写とイラストが併用されており、グラフや数値を用いた箇所も多く見られる。	A	健康や体力の状況に応じた体力を高める必要性が資料や図などを使い、考えやすい工夫がされている。体力を高めることについて、データやグラフを用いることにより客観的な数値で分かりやすい構成となっている。	B
③	ストレスへの対処について、具体的な場面が多く設定されているだけでなく、SNSとのかかわりなど社会問題との連携もしている。困ったときの緊急相談先も明確に表記されており、命の大切さに迫ることができる内容である。	B	ストレス対処について、多くのページと資料や図を使っている工夫がされている。実習できるページもあり、実生活に活用できる。心肺蘇生法についてはシンプルな記載となっており、見やすい工夫がなされている。	B
④	どのページもカラフルなため、個人でイメージをもってグループ活動に取り組みやすい工夫がなされている。「章のまとめ」には、思考・判断・表現に関するページが設けられ、振り返りを行いやすい工夫がなされている。	A	「学びを活かす」を活用しながら、その単元にリンクした身近な課題について考え、その考えをもってグループで深めることができる。「章のまとめ」は設定されているが、自分の思いや考えを記入することができない点が少し残念である。	B
⑤	説明文章の補足説明である資料が、生徒自身の生活に置き換えて考えられるようになっている。資料を効果的に活用するための色合いや配置などのバランスが非常に良く、全体の見やすさや雰囲気大きな魅力を感じる。	A	「コミュニケーション」や「リラクセーション」等、実践的な活動資料がある一方、世界の人々が交流している部分の資料にイラストが多く分かりやすい。しかし、資料を効果的に活用するための色合いや配置など全体が見やすいとは言えない。	C
⑥	運動やスポーツの多様性の単元において、「する・みる・知る・支える」例が複数（野球・運動会）のスポーツを通して写真で紹介されているため、イメージがわかりやすい。	B	国、民族、男女、障がいの有無、年齢、目的など様々な違いをルールの工夫等で、一緒に活動や交流できるとの記述は評価できる。探求しようという項目で、それぞれを深掘りしている。	A
⑦	運動、食事、休養・睡眠をバランスよくとることが健康の保持増進につながるなど、生活の1つ1つの行動が体と心の健康と結びついていることが分かる内容である。単元ごとの「課題をつかむ」や「学習のまとめ」がシンプルで分かりやすい。	A	健康の保持増進につながる生活の1つ1つの行動が、体と心の健康と結びついていることが分かるように説明されている。単元ごとの「学びを生かす」で毎時間考えられるところがあり、分かりやすい。	B
⑧	身体の発育発達をはじめ、スポーツ選手の体の違いや、運動をすることによって脳の働きも高まることについて章末資料で紹介する等、運動・スポーツで体も心も発育発達することを取り上げている。	A	発育発達にともない、食事や休養・睡眠と体の発育発達の関係性も明示されている。心の健康として、ストレスによる心身の負担を軽減できるコミュニケーション方法等の実践を紹介している。	A
⑨	単元毎にあるデジタルコンテンツによるクイズで復習ができ、教科書の内容にリンクしたものであるため、深い学びにつながるツールとなっている。章末の実習でもQRコードがあるとおり、動画で分かりやすく学習できる。	A	教科書内の資料等の色合いなどは落ち着いた雰囲気であるため、誰にでも見やすいと言える。QRコードが単元ごとにあるが、章デジの使い方が分からない所もある。外部リンクにつながって調べることができるが、量が多くて分かりにくい。	B
⑩	LGBTQについて、身近な制服について書かれているなど、詳しく表記されていて分かりやすい。性的マイノリティの人たちが抱える不安や悩み、制服デザイナーに聞く「性の多様性」についての話があり、性に関しては充実している。	A	LGBTQなど、性の多様性についてしっかり明記されている。いじめやコミュニケーションなどについても詳しく表記されていて分かりやすい。いじめに関する内容やSOGIなどについての探求があり、現代的な諸課題にも着目している。	A

【様式 3】

中学校 種目 保健体育

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 1

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	東京書籍 (東書)	・運動やスポーツとの多様なかかわり方について、グラフや絵などを使用し、様々な場面で多様な関わり方が示してある。「活用する場面」の設定で、運動やスポーツを自分ごととして捉えやすくなるよう工夫がなされている。 ・関連する単元において、体力を高める必要性について具体的な運動例が示されていてイメージしやすい。また「活用する」で、例をもとに考えやすい工夫がされていてグループワークにも活用できる。 ・思春期における心の変化についてわかりやすく表記されている。文字量を減らす工夫がされていながらも、内容は深く作られている。スキルブックとして、QRコードの動画と共に示してあり、知識・技能を高めやすい。
教科書の 記載番号	002-72	・各単元の「活用する」を使いながら、身近な健康・安全に対することが考えられるようになっている。また、自分や他者の考えを記入するページが設けられており、学びを深める工夫がなされている。 ・各章の見出しで、健康についての課題を投げかけ実際の生活でどう取り組んでいったらよいかを考える流れとなっている。また、自然災害や環境の単元では、身近に考えられる問いにより、主体的・協働的に活動する良さに気づく工夫がされている。
書名	新編 新しい保健体育	・資料等の色合いはほどよく、誰にでも見やすい。単元毎にデジタルコンテンツが準備されており、中身も関連動画や深める資料につなげることができる。内容にリンクしたものであり、授業では役に立ち深い学びにつながるツールとなっている。 ・女子生徒がズボンを着用している絵やテニスのペアが男女ペアであったり、性の多様性に関する章末資料があったり等、性に関しては充実している。
発行者 (略称)	大日本図書 (大日本)	・様々な単元でスポーツや運動に関連づけたものがある。話し合いが行える発問が設けられ、発展的な考え方ができる工夫がある。見開きでのページ掲載のため、わかりやすい構成となっている。身近な例からスポーツをとらえやすい工夫がなされている。 ・章末資料を活用することでストレス対処について身近に考えることができる。「トピックス」には近年話題になる用語が取り上げられており健康について身近に感じやすい工夫がなされている。 ・資料や図などを使い、身近な課題や発見につながるよう工夫されている。「学びを活かそう」では単元ごとに仲間と共に振り返りを行いやすい工夫がある。自分の考えを記入する箇所も設けられており学びを深めやすい内容である。
教科書の 記載番号	702	・単元ごとに自己の健康について主体的に考えられる発問があり、わかりやすい。章末の資料などで、主体的に自分がどのように健康や安全に行動していけばよいか考える個所がある。 ・単元ごとにトピックスがあり、身近な健康問題について肯定的に考えられる内容になっている。また、章末の資料は豊富で、語句のまとめもあり分かりやすい。
書名	中学校保健体育	・実技種目の学び方や体力の高め方をイラストと共に明示した資料があり、保健と体育の結びつきを意識した内容となっている。 ・多様性の尊重、人権尊重など現代的な諸課題について工夫された内容となっている。

【様式 3】

中学校 種目 保健体育

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 2

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	大修館書店 (大修館)	・実写が多く、イメージを持たせながら学ぶことができる工夫がなされていた。子どもたちが身近にスポーツを捉えやすく感じるよう、技能の例を多用しており、深い学びにつながる内容となっている。 ・ストレスへの対処について、具体的な場面が多く設定されており、SNSとの関わりなど社会問題との連携もしている。困ったときの緊急相談先も明確に表記されており、命の大切さに迫ることができる内容である。 ・カラフルなページが多く、個人でイメージをもってグループ活動に取り組みやすい工夫がなされている。「章のまとめ」には、思考・判断・表現に関するページが設けられ、振り返りを行いやすい工夫がなされている。
教科書の 記載番号	0 5 0 - 7 2	
書名	最新 中学校保健体育	
発行者 (略称)	G a k k e n (学研)	・単元毎にあるデジタルコンテンツによるクイズで復習ができ、教科書の内容にリンクしたものであるため、深い学びにつながるツールとなっている。章末の実習でもQRコードがあり、動画で分かりやすく学習できる。 ・LGBTQについて、身近な制服について書かれているなど、詳しく表記されていて分かりやすい。性的マイノリティの人たちが抱える不安や悩みなど「性の多様性」についての話があり、性に関しては充実している。
教科書の 記載番号	2 2 4 - 7 2	
書名	新・中学保健体育	

令和 6 年度教科用図書第二採択地区調査委員会 報告書

令和 7 年度使用 中学校 種目 技術・家庭（技術分野）

提出書類	別添	様式 1 (1) 枚
		様式 2 (2) 枚
		様式 3 (2) 枚

【様式 1】

中学校 種目 技術・家庭(技術分野) 令和7年度使用教科用図書調査研究観点(案) 第二採択地区

項目	観 点	観点の内容
1 観点	A 知識及び技能 生活や社会で利用されている材料加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるなど、技術と生活や社会、環境との関わりについて	1 ・材料加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての科学的な原理や法則、基礎的な仕組みが分かる表や図、写真は分かりやすく記述されているか。
		2 ・製作や栽培又は飼育、点検などの技能に関する基礎的な内容は分かりやすく記述されているか。
	B 思考力・判断力・表現力等 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力について	3 ・生活や社会の中から技術に関わる問題について考えさせるようにされているか。
		4 ・課題を設定し解決する一連の学習過程について具体的な学習の流れや実践例がわかりやすく記述されているか。
	C 学びに向かう力・人間性等 問題解決とその過程の振り返り、改善、修正や生活への活用の仕方、環境や経済、社会と技術との関わりやよりよい生活、持続可能な社会の構築に関する実践的な態度について	5 ・問題解決とその過程を振り返り、改善、修正や生活への活用の仕方について取り上げているか。
		6 ・環境や経済、社会と技術との関わりやよりよい生活、持続可能な社会の構築に関して取り上げているか。
2 か資 か料 わ・ る学 構習 成指 等導 に	7 教材・資料の構成等について	・実習の方法や工程をわかりやすく示すことで、意欲的に学習を進めさせる工夫がされているか。 ・教材、資料が生徒の技術に対する関心を高めたり、技術と社会や環境との関わりについて理解を深めたりするように工夫されているか。 ・デジタルコンテンツは生徒が学習を進める上での参考となり、さらに教材に興味・関心を持って、深い学びにつなげていく資料であるか。
3 地第 区二 観採 点択	8 「多様性の尊重」、「人権尊重」、「世界平和」、「いじめ」「環境」等の現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているか	・ユニバーサルデザインの視点から適切な配慮がなされているか。 ・図や写真はバランスよく入っており、文字の大きさが適切であるか。

【様式 2】

中学校 種目 技術・家庭科(技術分野)

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 1

観点 番号	発 行 社 (略 称) と 書 名			
	東京書籍(東書) 新編新しい技術・家庭科 技術分野 未来を創るTechnology	評 価	教育図書(教図) 新技術・家庭科 技術分野 明日を創造する	評 価
①	・技術についての科学的な原理や法則などを記述する際に表や図が適切に挿入されており、知識理解の手助けとなっている。	A	・技術についての科学的な原理や法則などを記述する図表がやや過多気味であり、代わりに文章での詳細な情報が記述されるスペースが削られている。	B
②	・製作や生物育成、点検などの実習の流れが理解しやすくまとめられており、実習後のふり返り等、PDCAサイクルを自ら実践することができるような内容になっている。	A	・実習に関する内容の記述に関しては別冊の小冊子にするという構成をしており、座学と実習との授業の切りかえが生徒にも伝わりやすい。	A
③	・学習の導入となる「レッツスタート」という活動が設けられており、生徒が学習内容への関心を高め、「学習課題」へとつなぎ、主体的に学習に取り組むことができるようになっている。また、「考えてみよう、話し合ってみよう、調べてみよう、やってみよう」と呼びかける言葉で、主体的・対話的に活動に取り組めるよう工夫されている。	A	・学習の導入に「見つける」が設定されており、生徒が技術を見つめるきっかけと、学習の目的を明確に示されている。また、「考えてみよう」や「やってみよう」という項目が設けられており、主体的・対話的に活動に取り組めるよう工夫されている。	A
④	・問題解決例には、具体的な事例をもとに「問題の発見、課題の設定」「解決策の構想」「評価、改善・修正」「新たな問題の発見」の流れが示され、見通しと意欲をもって、生徒自ら問題解決に取り組むことができるようになっている。	A	・巻末に「設計・計画(育成)シート」が用意されており、見本も提示されていることで表現することに難しさを感じる生徒も設計や計画を記入しやすいように配慮されている。また、漫画で身近な問題解決の事例が取り上げられており、生徒が親しみをもって問題解決の流れを学ぶことができ、生徒自身が主体的に問題解決に取り組むことができるよう工夫されている。	A
⑤	・学習のまとめでは、観点が明確に記載されており、観点ごとの学びの確認に有効である。 ・さまざまな専門分野、職種の「技術の匠」の紹介から将来の未来像を描ききっかけとなる。	A	・章末の振り返りテストから観点の評価をするのに有効である。 ・小項目ごとに「やってみよう」等のふり返りがあり、適宜内容を深めることができる。	A
⑥	・技術の最適化の観点から持続可能な社会の構築のために技術が果たしている役割が示されている。	A	・技術のプラス面とマイナス面の観点から技術の役割や影響を理解し、持続可能な社会の創造について示されている。	A
⑦	・十分な基本的内容に加え、関連資料が豊富。 ・「問題解決のプロセス」が常に掲載されており、見通しを持った学習活動ができる。 ・デジタル教材は、説明と字幕の両方あることからわかりやすい。	A	・基本的な内容を厳選して掲載することで、統一感のある見やすい紙面となっている。 ・教科書に即した技能資料が付属しており、作業手順などを容易に確認できる。 ・教科書と技能資料が分かれていることで、目的のページを開くのに時間がかかったり、紛失したりする可能性がある。 ・デジタル教材は広い範囲をカバーしており、情報が豊富である。	B
⑧	・フォント、配色、図の配置や大きさなど工夫、配慮されており、見やすい紙面となっている。 ・小口のつめがあることで検索性が高く、学びの見通しを持ちやすい。	A	・フォント、配色、図の配置や大きさなど工夫、配慮されており、見やすい紙面となっている。 ・小口のつめがあることで検索性が高く、学びの見通しを持ちやすい。	A

【様式 2】

中学校 種目 技術・家庭科(技術分野)

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 2

観点 番号	発 行 社 (略 称) と 書 名			
	開隆堂出版(開隆堂) 技術・家庭科 技術分野 テクノロジーに希望をのせて	評 価		評 価
①	・技術についての科学的な原理や法則などを記述する際に表や図が適切に挿入されており、知識理解の手助けとなっている。	A		
②	・製作や生物育成、点検などの実習の流れが理解しやすくまとめられている。また、「安全」に関するマークが多く配置されており、事故の未然防止に向けた配慮が見られる。	A		
③	・学習の導入において「学習課題」が設定されており、学習の目標を達成するために必要な内容を具体的な問いかけにすることで、生徒が積極的に取り組めるように配慮されている。また、既存の製品を通して、技術の見方・考え方をはたらかせ、最適化に向けたさらなる改善点を考えるページが設けられている。	A		
④	・見開きで示された実習例では、問題解決の流れとそれに合わせた解決例を「問題の発見と課題の設定」「構想と設計(計画)」「製作(制作、育成)」「成果の評価と改善」として手順や考え方を明確に示されており、イメージしながら活動を進められるように工夫されている。	A		
⑤	・技術に関わる人のインタビューを掲載し、将来がイメージができるようしている。 ・問題解決のふり返しから、技術の改善や生活への活用につなげることができる。	A		
⑥	・技術の学習と社会のつながりについて理解を深められる話題が豊富に示されている。	A		
⑦	・十分な内容に加え、評価に応じた章立ては生徒の学びやすさにつながる。 ・内容は十分であるが、生徒の活動が小項目ごとにならない。 ・デジタル教材は生徒の予習復習にも使えるよう工夫されている。合成音声聞きにくい。	B		
⑧	・フォント、配色、図の配置や大きさなど工夫、配慮されており、見やすい紙面となっている。 ・単語が途中で改行されず、単語として認識しやすい。 ・小口につめがなく、検索性はやや低い。	B		

【様式 3】

中学校 種目 技術・家庭(技術分野)

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 1

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	東京書籍 (東書)	基礎的・基本的な知識と技能について、各章の内容に関連する資料を見開きページに掲載した「技術のとびら」に科学的な原理・法則がまとめられており、学習内容をより深めることができる。また、表や図が適切に挿入されており、知識理解習得の手助けとなっている。 実習に関して、「TECHLab」として製作や生物育成、点検などの実習の流れが理解しやすくまとめられており、実習後の振り返り等、PDCAサイクルを自ら実践することができるような内容になっている。 学習の導入となる「レッツスタート」という活動が設けられており、学習内容への関心を高め、学習課題へとつなぎ、主体的に学習に取り組むことができる。また、「考えてみよう、話し合ってみよう、調べてみよう、やってみよう」と呼びかける言葉で、主体的・対話的に活動に取り組めるよう工夫されている。 「問題解決のプロセス」が常に表示されており、見通しを持った学習活動ができる。 デジタル教材は、説明と字幕の両方あることからわかりやすい。 フォント、配色、図の配置や大きさなど工夫、配慮されており、見やすい紙面となっている。 小口のつめがあることで検索性が高く、学びの見通しを持ちやすい。 各内容の最後に「持続可能な社会の構築」についてふれ、生徒自身が環境について考える機会を設けている。
教科書の 記載番号	002-72	
書名	新編 新しい技術・ 家庭科 技術分野 未 来 を 創 る Technology	
発行者 (略称)	教育図書 (教図)	基礎的・基本的な知識と技能について、科学的な原理や法則などを説明する大きな図や写真等が掲載されているが、文章での詳細な記載が少ない。安全や衛生に配慮して活動に取り組めるよう、各編に安全等のページが設けられている。 実習に関して、別冊の技能資料「スキルアシスト」が用意されており、授業の切りかえが生徒に伝わりやすい。ただ、教科書と技能資料が分かれていることで、目的のページを開くのに時間がかかったり、紛失したりする可能性がある。 各編に「見つける」「学ぶ」「ふりかえる」「考えてみよう」「やってみよう」の項目が設けられており、生徒が技術を見つけるきっかけと、学習の目的を明確にすることができる。巻末に「設計・計画(育成)シート」が用意されており、見本も提示されていることで表現することに難しさを感じる生徒も設計や計画を記入しやすいように配慮されている。また、漫画で身近な問題解決の事例が取り上げられており、生徒が親しみを持って問題解決の流れを学ぶことで、主体的に問題解決に取り組むことができるよう工夫されている。 内容の最後にある、技術のプラス面とマイナス面の観点から行う学習のふりかえりは、技術の役割や影響を理解し、持続可能な社会の創造について学びを深める内容となっている。 フォント、配色、図の配置や大きさなど工夫、配慮されており、見やすい紙面となっている。 小口のつめがあることで検索性が高く、学びの見通しを持ちやすい。
教科書の 記載番号	006-73 006-74	
書名	新 技術・家庭科 技術分野 明日を 創造する 新 技術・家庭科 技術分野 明日を 創造する スキル アシスト	

【様式 3】

中学校 種目 技術・家庭(技術分野)

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 2

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	開隆堂出版 (開隆堂)	基礎的・基本的な知識と技能について、科学的な原理や法則、基礎的な仕組みが分かる図や写真が数多く掲載されている。図や写真のサイズも大きいため、生徒が学習内容を理解しやすくなっている。 作業の内容を示したページには、「安全」マークをわかりやすく示し、事故未然防止の配慮が見られる。また、作業している人物の視点から撮影した写真が使用されているため、作業のイメージを持ちやすい。学習のまとまりごとに「学習の目標」とそれに対応した「CHECK」がある。 見開きで示された実習例では、問題解決の流れを「問題の発見と課題の設定」「構想と設計(計画)」「製作(制作、育成)」「成果の評価と改善」として手順や考え方を明確にすることで活動に取り組みやすくしている。「アイデアを実現するためのヒント」のページが用意されており、課題解決のためのヒントとすることができる。生徒の活動が小項目毎にない。 持続可能な社会の実現に向けて、環境マークで関連するポイントを示し、各内容にSDG s との関連について考える機会を設けている。 デジタル教材は生徒が自宅で予習復習にも使えるよう工夫されている。合成音声聞きとりにくい。文中の単語が途中で改行されず、単語として認識しやすい。小口につめがなく、検索性はやや低い。
教科書の 記載番号	009-72	
書名	技術・家庭科 技術 分野 テクノロジ ーに希望をのせて	
発行者 (略称)		
教科書の 記載番号		
書名		

令和 6 年度教科用図書第二採択地区調査委員会 報告書

令和 7 年度使用 中学校 種目 技術・家庭(家庭分野)

提出書類	別添	様式 1 (1) 枚
		様式 2 (3) 枚
		様式 3 (2) 枚

【様式 1】

中学校 種目 技術・家庭(家庭分野) 令和7年度使用教科用図書調査研究観点 第二採択地区

項目	観 点		観点の内容	
1 観 点	A	知識及び技能	①	・家族・家庭、衣食住、消費や環境について基礎的な理解ができる教材となっているか。
			②	・調理や製作などの技能を習得できる実践例や実習例が工夫されているか。
	B	思考力・判断力・表現力等	③	・家庭や地域で活用するための教材や学習活動が設定され、既習内容との関連を図りながら課題を設定し、実践的な活動を家庭や地域で行えるような工夫がなされているか。
			④	・問題解決的な学習の一連の学習活動を取り上げ、考察した意見を他者と交換する活動を通して、多角的に検討できるような工夫がなされているか。
	C	学びに向かう力・人間性等	⑤	・幼児や高齢者などとの関わり、日本の生活文化の継承、豊かな生活の創造、将来の家庭生活や職業との関わりについて取り上げ、実践的な態度を養うことができるような工夫がなされているか。
			⑥	・各教科等の内容や、道徳の内容、小学校での学習内容と関連をもたせた指導に関する内容が設定され、生徒が生活とのつながりを重視し、家庭や地域における実践に結びつけることができるような工夫がなされているか。
2 か資 か料 わ・ る学 構習 成指 等導 に	⑦	教材・資料の構成等について	・ユニバーサルデザインの視点から適切な配慮がなされているか。 ・図や写真がバランスよく掲載されており、文字の大きさが適切であるか。また、生徒の学習意欲を喚起するものになっているか。 ・分量や重さ、大きさが適切であるか ・デジタルコンテンツは生徒が学習を進めるうえでの参考となり、さらに教材に興味・関心をもって、深い学びにつなげていく資料であるか。	
3 地第 区二 観採 点択	⑧	「多様性の尊重」、「人権尊重」、「世界平和」、「いじめ」「環境」等の現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているか	・第二採択地区は外国籍生徒が多く在籍することから、多様性を尊重したわかりやすい資料や写真が使われているか。 ・持続可能な社会の創り手となることを意識した内容が含まれているか。	

【様式 2】

中学校 種目 技術・家庭(家庭分野) 令和7年度使用教科用図書観点別評価第二採択地区 No. 1

観点 番号	発 行 社 (略 称) と 書 名	
	東京書籍 (東書) 新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	評価
①	・基礎的・基本的な知識を身に付ける内容が多く記載されている。 ・QRコンテンツの種類も多くあり、基礎的・基本的な理解を進める工夫がされている。	A
②	・「いつも確かめよう」では、技能の基礎基本がまとまっており、実践例が多く載っている。 ・写真や図表・資料・グラフや参考例・実習例も充実しており分かりやすく、実感の持て資料が多くある。	A
③	・学習内容と生活の課題を結びつけられる発問が少ない。 ・「学習を深めよう」が編ごとに設定されており、学習内容を活用しながら、生活の中にある問題を発見する手がかりとなるように工夫されている。	B
④	・課題の設定から、まとめと発表の仕方、計画やまとめの読み方・聞き方までのポイントがわかりやすく示されている。 ・問題発見・解決までのイメージがつくような工夫がされている。 ・発表方法をレポート、プレゼンテーションソフトウェア、新聞などの例を挙げ、考えをまとめやすくする工夫がされている。	A
⑤	・「プロに聞く！」では、学習を深めるアドバイスや中学生へのメッセージが丁寧に語られており、将来や社会とのつながりを感じることができる。 ・日本の文化(和食・織物)を継承する人々の声も掲載しており、文章量も適切である。	A
⑥	・「よりよくする工夫」を学ぶとともに「考えてみよう」では、発展的な学びを自分なりにつないでいけるような提案がなされている。 ・各編の扉ページに小学校家庭科で学習した内容のキーワードあり、Dマークなどにより小学校家庭科と中学校家庭分野をつなげやすく示されている。	A
⑦	・学習を広げるシュミレーションやコンテンツが充実しており、興味が深まる絵が工夫がされている。 ・QRコンテンツ(調理実習動画、製作・資料動画、基礎技能動画、オリジナルワーク、ワークシート)など工夫がされている。 ・ユニバーサルデザインの文字や色が使用されている。 ・家庭生活において、教科書の内容の並びが取り組みやすい。	A
⑧	・各分野(食生活、衣生活、住生活、消費生活、環境、家庭・地域生活)において、持続可能な社会の学習として、SDGsについて明確に項目を取り上げて掲載されている。 ・脚注に楽しく読める生活メモが多数掲載されている。 ・プライバシーや人権上の配慮、共生への配慮、右利き・左利きへの対応が掲載されている。 ・各編では、実習例など、実習と持続可能な社会と関連させたものが記載されており、生活に取り入れやすい内容となっている。	A

【様式 2】

中学校 種目 技術・家庭(家庭分野) 令和7年度使用教科用図書観点別評価第二採択地区 No. 2

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	教育図書（教図） 新技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する	評価
①	・基礎的・基本的な知識を身に付ける内容掲載が多く、補足する資料との関連性が見やく工夫されている。 ・QRコンテンツは、全実習の動画や基礎的な技能動画が工夫されている。	A
②	・調理・裁縫の基礎技能が丁寧に示されているが、文字数が多く説明文が読み取りづらい。まつり縫いの説明や写真が生徒には、わかりづらい。	B
③	・「学びを生かそう」では、問題解決的な学習例が示されている。学習内容と関連を図り、生活の中で問題を見つけ、課題に取り組むための工夫がされている。 ・「見つめる」、「見つめてみよう」では、自分の生活にある問題や課題を考えるための工夫がされている。	A
④	・「生活の課題と実践」では、他の編との関連した例が提示されており、問題解決能力を高める工夫がされている。 ・「調べてみよう」や「話し合ってみよう」から、他者の意見や新しい着想を得ることができるよう工夫されている。	A
⑤	・キャリア教育につながる、働く人のインタビュー記事「センパイに聞こう！」の内容が丁寧に豊富であるが、読むのが苦手な生徒には文章量が多く、授業で取り扱いつらい。 ・伝統文化とのつながりを気づかせる資料が豊富である。	B
⑥	・生活につながられるような発問の工夫はあるが、授業内で完結されており、資料的である。 ・各編の学びや小学校との学びともつながる工夫がされている。	A
⑦	・資料コンテンツ・動画コンテンツが豊富であり、実習においては行程の説明がわかりやすく工夫されている。 ・資料の説明文が丁寧ではあるが文章が長く、情報量が多くで読み取りづらい。 ・文字も太く濃いので強調されて読みづらい。写真の色合いが濃く、全体的に色使いが多すぎでありユニバーサルデザインの視点から外れている。	B
⑧	・文字習得の十分でない外国籍生徒等にも対応できるように写真やイラストが工夫されている。 ・今日的な課題や、消費生活と環境問題とのつながり等、身近な例が提示されており、消費生活をイメージしやすい工夫がされている。 ・多様を尊重した学習内容で提示されている家族関係を考える際のイラストが、多様性が考慮されていない。	A

【様式 2】

中学校 種目 技術・家庭(家庭分野) 令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 3

観点番号	発 行 社 (略 称) と 書 名	
	開隆堂出版 (開隆堂) 技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	評価
①	・知識および技能を実生活で活用するために、各章末で学習を振り返ることができる。 ・基礎的・基本的な知識を身に付ける内容掲載が多く、参考資料などから易から難まで習得できるように工夫されている。 ・説明文や実験の写真、資料、Q & A などから科学的根拠に基づいた知識・技能が図られるよう工夫されている。	A
②	・QRコンテンツや写真が詳しく記載されており、丁寧な説明と拡大写真・イラストにより知識・技能面の習得に繋がる工夫がされている。 ・実践例も多く取り上げられており、理解に繋がりやすい工夫がされている。	A
③	・実際の地域の取り組みや、中学生の取り組みを紹介することで、身近な問題を発見し、解決していく手がかりとなるような工夫がされている。 ・「考えてみよう」「話し合ってみよう」の内容が日常生活と結びつきやすく、互いの考えを伝え合える活動ができるよう設定されている。	A
④	・学習のまとめから「生活の課題と実践」に向けて、生活の中にある問題を発見しやすい間が設定されている ・写真やイラストを使用し、調査・実験・実習に分けて説明することで、問題解決までの過程を理解し、情報を適切に選択しながらまとめられるような工夫がされている。	A
⑤	・日本の伝統的な文化については「伝統文化マーク」を付してわかりやすい。 ・働く人のインタビュー記事「先輩からのエール」を掲載、生き方、働き方の伝わる内容であり、キャリア教育につながっている。文章量も読みやすく適切である。	A
⑥	・多様な視点から学びを深めるために様々な例を活用し自分事として考える工夫がされている。 ・「調べてみよう」「話し合ってみよう」の内容設定が、学んだことを実生活にスムーズにつなげていくよう参考資料も興味深く、工夫されている。 ・仲間との話し合いに広がりや深まりも生まれそうな内容である。 ・現代的な話題や課題などを取り入れて生徒が関心を持って学習に取り組める工夫がある。	A
⑦	・学びを広げる資料コンテンツ、動画コンテンツが充実している。 ・イラスト・写真が多く掲載され、文字量も適量で、理解しやすい内容になっている。 ・様々な家族(家庭)で取り上げられている内容として充実しているが、1年生が取り上げるには難しい。	A
⑧	・家庭生活に関する学習内容の取りかかりとして、1年生にとっては難しい。 ・多様性を尊重したわかりやすい資料が掲載されており他者理解につながる内容、人権学習や道徳と関連をもたせた内容に設定されている。 ・持続可能な社会の構築に向けてSDGs 17の目標とその取り組み例を示している。 ・普段の生活に生かす住まいの安全防災や消費生活についてはわかりやすい資料やイラストを使って工夫している。	A

【様式 3】

中学校 種目 技術・家庭科(家庭分野)

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 1

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	東京書籍 (東書)	・学習内容の理解を進める工夫がされており、参考例、実践例やグラフなどの資料が豊富に記載されている。 ・社会との繋がりを意識し、生徒が学習意欲を引き出すアドバイスが十分に記載されている。 ・学びや身につけたことや課題を生活に生かそうとする発問が少ない。 ・学びをサポートするQRコンテンツ、ワークシートが充実しており、理解が深まる工夫がされている。 ・外国籍生徒などに対応したユニバーサルデザインを意識した文字や色を使用している。また人権上の配慮、共生への配慮、多様性を尊重した資料が十分に使用されている。 ・これからの持続可能な社会の創り手を意識した学習内容を各分野の項目に取り上げている。
教科書の 記載番号	家庭 002-72	
書名	新編 新しい技術・ 家庭 家庭分野 自立と共生を目指 して	
発行者 (略称)	教育図書 (教図)	・学習内容については、小学校の学びともつながり、補足する資料が豊富に記載されている。 ・調理や製作の実習の説明文章が丁寧ではあるが、文章が長く、文字量が多すぎる。 ・自分自身の生活の中から問題・課題を発見し、自ら解決にむけて取り組むための学習の例が提示されており、問題解決能力を高めるために工夫されている。 ・学習をサポートする資料・動画コンテンツは充実しているが、資料集的な感じも受ける。 ・文字が濃く、色使いが全体的に多いため、ユニバーサルデザインの視点から考えたとき使いづらく、疲労につながる。 ・多様性を尊重した学習内容に提示されている家族関係を考える際のイラストが多様性が考慮されていない。 ・持続可能な社会の作り手としての考え方を示す資料が不十分である。
教科書の 記載番号	家庭 006-72	
書名	新技術・家庭 家庭 分野 暮らしを創 造する	

【様式 3】

中学校 種目 技術・家庭(家庭分野)

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 2

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	開隆堂出版 (開隆堂)	・学習内容については、基礎的・基本的な知識を身につける内容が多く掲載されている。実験の様子も視覚的にわかりやすく示されている。 ・具体的な生活場面から自分自身の課題を発見し、生徒が主体的に課題解決を進められるような実践やイメージが提示されている。ペアーワークを取り組みやすい発問もある。 ・多様性を意識した資料も豊富に掲載されている。人権学習や道徳との関連をもたせた内容が設定されている。 ・学び広げるコンテンツが豊富である。また写真やイラストに対する説明の文字量が適量であり、理解しやすい内容になっている。 ・SDGsの17項目の取り組み例が提示されており、持続可能な社会の構築に向けてわかりやすく説明されている。 ・ユニバーサルデザインの視点を意識し、文字量や色合いも工夫されている。
教科書の 記載番号	家庭 009-72	
書名	技術・家庭 家庭 分野 自立しとも に支え合う生活へ	
発行者 (略称)		
教科書の 記載番号		
書名		

令和 6 年度教科用図書第二採択地区調査委員会 報告書

令和 7 年度使用 中学校 種目 外国語（英語）

提出書類	別添	様式 1 （ 1 ） 枚
		様式 2 （ 6 ） 枚
		様式 3 （ 3 ） 枚

【様式 1】

中学校 種目 外国語（英語） 令和7年度使用教科用図書調査研究観点

第二採択地区

項目	観 点		観点の内容	
1 観 点	A	知識及び技能	①	・「聞くこと」「読むこと」といった技能別（領域別）活動を十分に含んだ教材となっているか。 ・「話すこと[やりとり]」「話すこと[発表]」「書くこと」といった技能別（領域別）活動を十分に含んだ教材になっているか。
	B	思考力・判断力・表現力等	②	・日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、必要な情報や考えなどを捉える活動があるか。 ・日常的な話題、社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を活用して、自分の考えや気持ちを書いたり話したりする言語活動や課題があるか。
	C	学びに向かう力・人間性等	③	・生徒が興味を持って主体的に取り組むことができるような段階的な言語活動や自己表現活動を取り入れているか、また自学自習をすすめる手立てが講じられているか。
2 か資 か料 わ・ 学 構習 成指 導に	④	教材・資料の構成等について	・内容理解のための視覚資料（写真、図、イラスト等）や、題材に関連する資料等が適量に配置されているか。 ・各単元において、基本的な表現を明確に示しすべての学習者に理解しやすいように構成されているか。 ・小学校外国語科との接続が、考慮されているか。	
	⑤	学習指導にかかわる構成等について	・総ページ数、単元毎のページ数、1時間あたりの学習内容の量、補充・発展的な内容のページ数は適当であるか。 ・学習の見通しを解説している内容があるか。 ・単元のまとめなど学習の整理に取り組める内容があるか。	
	⑥	デジタル教材、デジタル教科書について	・デジタルコンテンツは生徒が学習を進めるうえでの参考となり、さらに教材に興味・関心をもって、深い学びにつなげていく資料であるか。 ・デジタル教科書は、学習者の意欲を高め、個別最適な学びに資するものであるか。	
3 地第 区二 観採 点択	⑦	「多様性の尊重」、「人権尊重」、「世界平和」、「いじめ」「環境」等の現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているか	・現代的な課題について、生徒にとってわかりやすい内容になっていたり、生徒が自ら思考し、問題解決が図れるように、多様な価値観に触れられる構成になっていたりしているか。 ・左記の課題に触れた資料の内容や数、ページ数等は適切であるか。	

【様式 2】

中学校 種目 外国語（英語） 令和7年度使用教科用図書観点別評価第二採択地区 No. 1

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	東京書籍（東書） NEW HORIZON English Course	評 価
①	- 各UnitのActivityで新出文法の定着をはかっている。特に、「話すこと」「書くこと」の観点で自己表現をするようになっており、学習者の活動を通して、定着をはかっている。 「読むこと」について各Unitの「Read and Think」内で、Round制により、概要を掴み、詳細をおさえ、自己表現をするという3段階の活動ができるようになっている。	A
②	- 各Unitにある「Unit Activity」では学習した内容を用いて、自分の気持ちを書いたり、相手に伝えたりできる自己表現活動が設定されている。 - 学期末に、各Unitの学習で身につけた力を確かめ、自己表現活動を行う「Stage Activity」がある。思考ツールを使いながら自分の考えをまとめ、グループ発表ややりとりができる力を養うことができる。	A
③	- 各Unitの導入で「Unit Question」を示し、ページが進むにつれ豊富な「Activity」を通して題材に関して自分の考えを表現したりまとめたりしながら、「Unit Question」に対する答えを考えることができる構成になっている。 - いくつかのUnitのまとめとして、「Stage Activity」という技能統合的な活動が設定されており、それまでの学習内容を基にした自己表現活動ができる。テーマに沿った情報の収集や整理を行った上で、考えのまとめ方や参考となる表現を示しながら、生徒自身が自分の考えを英文でまとめられるように構成されている。 「学び方コーナー」や「Real Life English」など身近な英語の学習につながるページが設定されている。	A
④	- 各単元の最初に動画が用意されており、動画によって新出文法の学習に取り組みやすく工夫されている。単元の内容やドリルに関する写真やイラストが豊富で、親しみやすい。 - 小学校外国語との接続に関しては、導入として、小学校の既習の文法事項の復習を行うことをスピーキング活動で行うように設定されている。 - 題材に関する取扱い事項や外国の文化についての補足的な説明が、コラムとして豊富に掲載されている。 - 基本文が明確に提示され、ドリル練習の中に自己表現につながる問いが含まれている。	A
⑤	- 各Unitは7～8ページで構成されている。1年生はUnit4までは全てダイアログ形式であり会話の中で既習事項を確認できる。各Unitの扉に目標が明示されており、「Unit Activity」で題材に関連した学習活動が設定されている。巻末に「Unit Activity」の補助教材があり、生徒の主体的な学習を促す工夫がされている。 - 単元のまとまりごとに、「Stage Activity」が設定されており、既習事項を活用した言語活動を展開することができる。また、各PartごとにActivityが用意されており、単元末活動までのステップも丁寧である。「Stage Activity Plus」では、さらに発展的な学習活動ができる。 - 教科書の初めに年間の学習内容の見通しが持てるページが設定されている。	A
⑥	- デジタル教科書のどの箇所をクリックしても音声の流れ操作性が良い。QRコードからのコンテンツが豊富である。 - 文法解説動画は、実写とアニメのやり取りを取り入れるなどの工夫がみられる。 - 新出単語はマスク機能があり、生徒の自学自習に有効である。 - チャンクごとのスラッシュ機能、日本語訳の表示などがあり、読み取りに有効である。 - 用例辞典などがあり、ある単語について3年間の教科書から本文を検索できる。	A
⑦	「人権尊重」「環境」「多様性」について、現代的な課題を題材として取り入れている。 - 関連する題材を読むだけでなく、課題について考え自分の意見を発表する活動が多い。	A

【様式 2】

中学校 種目 外国語（英語） 令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 2

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	開隆堂出版（開隆堂） Sunshine English Course	評 価
①	- 各PROGRAMの「Scenes for Basic Dialogs」で「聞くこと」「話すこと」「書くこと」の技能を使って文法事項の学習ができるようになっている。 - 各Partでは目的意識をもって「聞くこと」「読むこと」ができるように問いかけがある。 - PROGRAMの最後の「Action」で題材に関連して「読むこと」「書くこと」「話すこと」の技能を使ってアウトプットできるようになっている。	A
②	- 各PROGRAMの最後には、「Review and Retell」「Action」が設定されている。それぞれ3ステップでリテリングができるようになっており、自分の気持ちを表現し伝える内容になっている。 - 学期末に行う「Our Project」では、3stepで自分の考えをまとめ、グループで発表をしあうなど、4技能を統合的に使う内容になっている。	A
③	- PROGRAMの構成は、最初に「Scenes」で身近な話題についてわかりやすい漫画形式で新出表現の習得を図り、のちに各Partを読み進めて、本文の内容について理解を進める形になっている。最後に、「Review & Retell」で学習内容のまとめができる。 - いくつかのPROGRAMのあとの「Our Project」では学んだ表現を用いた統合的なパフォーマンス活動を行う。テーマに対して最初にモデルが提示され、マッピングなどの手法を用いて学んだ事をまとめたりする構成になっている。 「Coffee Break」と題して、時事問題を取り上げ興味関心の想起を図っている。	A
④	- 教科書の構成がユニークで、「Scenes」は2ページにまたがり、横向きに学習する構成になっている。また、マンガ形式の短い対話で新出表現を理解させる工夫がされている。マンガの対話の中で新出文法は赤字になっており、基本文が視覚的にも分かりやすいが、ドリルなどの新出文法を使った練習がない。 - Can-Doがイラストも一緒に提示してあり、具体的な場面での目標がイメージがしやすい。 - 中学生が親しみを感じるキャラクターや写真が使用されている。 - 小中接続として、場面を表すマンガや動画を見ながら対話のやり取りを聞いたり、巻頭の「Get Ready」でインタビューやすごろくを通して楽しく振り返ることができる。	B
⑤	- 各PROGRAMは7, 8ページで構成されている。各PROGRAMの扉に「GOALS」が用意されており単元末での学習活動や各Partにおける学習目標が分かりやすくまとめている。 - 単元の初めに、題材に関する学習活動が「Tuning in」として設定されている。また、「Review&Retell」が単元末の活動のActionの前にあり、単元の振り返りを行ってから単元末の活動をさせている。 - 学期のまとめごとに「Our Project」が設定されている。その学習までに「Step for Our Project」として、PROGRAM終わりに学習できるページが用意されている。 - 教科書の初めに年間の学習内容の見通しが持てるページが設定されている。 - 単元末の活動と単元の題材との関連性が低い。Our Projectのページ数がやや多い。	B
⑥	- 単語学習アプリがあり4つの出題パターンで新出単語の自学自習を進めることができる。 - アニメーション動画があり、単元で学ぶ内容について視覚支援を行うことができる。 - 文法の解説アニメがあり、生徒の理解を助けるが、やや一方的な解説になっている。	B
⑦	「人権尊重」「環境」「世界平和」「多様性」に関する題材が豊富で、それらの題材に関する自分の考えや意見を発表する活動が多い。 3年生ではSDGsに関するグループディスカッションが用意されている。	A

【様式 2】

中学校 種目 外国語（英語） 令和7年度使用教科用図書観点別評価第二採択地区 No. 3

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	三省堂（三省堂） NEW CROWN English Series	評 価
①	- 文法事項は「聞くこと」「話すこと」「書くこと」の技能を使って学習できるよう工夫されており、次の「Scene」で「読むこと」につないでいる。 「Side Story」でやりとりや自己表現の練習をし、「Small Talk」で「話すこと（やりとり）」をペア活動で行うようになっている。 「Goal Activity」で「読むこと」「書くこと」「話すこと」の技能を使って、総合的に自分の意見や考えを場面や内容に合わせて表現する内容になっている。	A
②	- 各PartのSceneごとにペアワーク、自己表現ができるようになっている。パートの終わりごとに「Small Talk」と「Goal Activity」が設定されている。「Small Talk」では即興で伝え合う力を養えるように「Tips!」があり、生徒の活動の助けとなっている。 - 相手の話を聞く力や即興で伝え合う力を養うため、場面設定を明確に行い、ペアワークをする「Take Action」がある。巻末には、「Role Play Sheet」があり、それぞれの場面が細かく設定されており、生徒はなりきって演じることができる。 - 学期末に行う「Project」は3stepで自分の考えをまとめ、グループなどで発表をしあうなど複数の技能を使う内容になっている。	A
③	- Lessonごとに、平易で身近な内容について問題提起をし、段階的に自分の考えを深められるよう長文で社会的、時事的な問題を取り上げている。その過程で生徒自身が自ら調べたり考えたりできるような課題設定がされている。 - いくつかの単元をまとめて「Project」を設定し、自分なりの考えを英文でまとめて発表する活動が組まれている。チャート式になっている活動ではアイデアを構成しやすいように例が示されたり、表を用いて考えをまとめたりできるようになっている。	A
④	- 写真やイラストは見やすく豊富である。中学生にとって身近な話題についての写真が多く掲載されており、親しみやすい。各単元のPart 3はマンガが描かれていることによって話の流れがつかみやすい。 「Take Action」の情報量が多く、やや見にくさを感じる。 1年生の巻頭に小学校で体験した場面での会話がいろいろなパターンでできるように多く扱われている。また、動画を見て小学校の復習やその場面で使われている新出文法や表現を学ぶ場面が設けられている。 - 基本文は分かりやすく提示してあるが、文字の大きさが小さく見にくさを感じる。	B
⑤	- 各Lessonは7, 8ページで構成されている。各Lessonの扉に、Goal Activityの説明がされているが、やや見にくい印象がある。各Lessonの導入部であるPart1, 2では、題材や学習内容に関するSmall Talkが設定されている。 - 単元末の活動である「Goal Activity」は、「読むこと」から「話すこと」につなげる内容であることが多い。英語が苦手な生徒にとっては負担感につながるかもしれない。 - 単元ごとの文法事項をまとめた「Language Focus」では、言語材料の場面や状況が分かりやすく伝わるように、イラストや漫画が用意されている。	B
⑥	- 新出単語の学習機能では、英語から日本語、日本語から英語などで確認できたり、その単語を覚えられたかをチェックしたりすることができる。練習問題では、音声を聞いて単語を選んだり、単語を見て当てはまる語を選んだりするなど、語彙定着に自分で取り組める工夫がある。 - 英和辞典があり、品詞や語句、発音や用例などを調べることができる。 - 基本文のドリルは、スモールステップで練習できる工夫がされている。 - 文法解説動画はやや一方的であり、アニメーションや、生徒自身の練習などの工夫がほしい。	B
⑦	「人権尊重」「世界平和」「環境」などについて扱っている。それに関する言語活動の設定がやや少ないように感じる。 2年生では飲み水に関する問題に対して、自分事と考えられるように、レポートを書く活動が用意されている。	B

【様式 2】

中学校 種目 外国語（英語） 令和7年度使用教科用図書観点別評価第二採択地区 No. 4

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	教育出版（教出） ONE WORLD English Course	評 価
①	- 各Lesson内にある「Key Sentence」のパターン練習を行ったうえで、聞く活動や話す活動が設定されている。 - それぞれのLessonのまとめとして「Grammar」で文法事項がまとめられている。 - Lessonの表現活動としてTaskで書いたり、伝え合ったりする活動が設定されている。 - 学習者が各本文の音読練習を何回したか確認できるように工夫されている。	A
②	- 各Partに「Think and Try」が設定されており、教科書の内容を自由に変えて表現するようになっている。ただ、具体的な場面設定が足りず、生徒の混乱をまねく可能性がある。 - Lessonの最後には「Task」が設定されており、リテリングができたり、学習した内容を使いながら自分の考えを表現したりすることができるようになっている。 - 学期末に行う「Project」では、ある情報をもとに自分自身の考えを書いたり、発表したりすることができる。その際、思考ツールのマッピングなどを使いながら自分の考えを整理することができるようになっている。	B
③	- 単元のつくりはベーシックで、レイアウトが整理されており読みやすい印象を受ける。また構成される英文の量が多く読み応えもある。反面、他社と比較したときに生徒の興味を惹く内容であるかについては、やや疑問である。 - 数単元をまとめた「Project」では、主に表を活用しながら課題に対して自分の考えをまとめて発表する活動が設定されており、難易度も段階的に設定されているため、基礎的な理解力から応用力まで身につけることができる。	B
④	- イラストや写真の配置が適量で、重要箇所への配色が工夫され、視覚支援がされているが中学生にとって身近な写真は少ない。 1年生の教科書のUnit 1～2はマンガ風に英語を提示し、小学校から中学校への学習の滑らかな接続がされている。 - 巻頭に小中接続のための特集があるが、スピーキング活動が少なくリスニングとアルファベットを書く活動に集中している。	B
⑤	- 各Lessonは8，9ページで構成されている。各単元の初めに学習目標と単元末の活動について確認することができる。その他のTipsやUseful Expressionsにおいても学習目標が明記されている。単元末の活動はTaskとして設定されているが、題材に関連した内容で完結しないものも見られる。 - Taskの後に「Grammar」があり、各Lessonでの文法事項の復習をすることができる。 - 単元間の学習活動にTipsなどが設定されているが、その量がやや多い。また、学期ごとのまとめであるProjectの内容と、それまでの学習との関連性がやや弱い。	B
⑥	- リーディングの機能が充実している。本文のカラオケ表示、新出単語マスク機能、スラッシュ機能、音声速度などの調整が容易である。 - 新出語句は、フラッシュカード機能や英訳・和訳のマスクつけ外し機能があり生徒の自主的な学習に効果的である。 - 音声認識機能があり、Key Sentenceを正しく発音できているか確認ができる。 - 文法動画の解説は単調であり、「Let's Use」については、実写であるとはいえ動画になっている意義が感じられない。	B
⑦	「人権尊重」「環境」「世界平和」「多様性」についての題材が豊富でバランスがよい。各単元に設定されているタスクはわかりやすい。 3年生ではフードロスについてのディベート活動が設定されており、自分の意見を発表するような言語活動が設定されている。	A

【様式 2】

中学校 種目 外国語（英語） 令和7年度使用教科用図書観点別評価第二採択地区 No. 5

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	光村図書出版（光村） Here We Go! ENGLISH COURSE	評 価
①	- Unitの各パートにおいて、本文で「聞くこと」「読むこと」の活動をし、基本文で使用している文法事項を「聞くこと」「話すこと」「書くこと」の順で学習するようになっている。 - Unit最後のGoalとして、言語使用場面等に即した活動ができるようになっている。 「Let's Talk」では年間を通じて、即興で「話すこと（やりとり）」の練習ができるようになっている。	A
②	- 各UnitのPartごとにペアワーク、自己表現ができるようになっている。また、各Unitの最後には「Goal」が設定されており、学習した内容を用いて、自分の気持ちを書いたり、相手に伝えたりできる自己表現活動が設定されている。 - 学期末には「You can do it!」があり、技能統合型の活動をすることができる。生徒は自分の考えをまとめ、表現、発表するようになっており、思考力、判断力、表現力を養うことができる。	A
③	- Unitの各Partにわかりやすい標題がつけられており、学習のゴールがイメージしやすい構成になっている。「Goal」では、Unitの内容に関連した題材をもとに、より自由度の高い表現活動が組まれている。 - 各学年の最後に「学び方ガイド」のページがあり、生徒が自学自習を進めるに当たって、非常に有益である。学習者の立場に立ったQ and A形式になっており、どの生徒にもわかりやすいつくりになっている。	A
④	- 写真やイラストは柔らかな印象で見やすく、中学生にとって身近なものや親しみやすいものが多く掲載されている。また、表や図も実生活と結びついておりリアリティを感じる。 1年生の教科書のUnit 1～3まではマンガを使った導入で、新出文法が実際の場面で使用されているので親しみやすい。 - 小学校の内容を振り返る特設ページを巻頭に設けており、豊富な内容でゲームなど楽しみながら即興でのスピーキング活動ができる。また、小学校で取り扱った教材が再度掲載されているので、小学校でできるようになったことを生かすことができる。 - 帯教材として巻末に教材の場面絵が掲載され、リテリングの活動が継続してできる。 - 多くの写真を用いて外国の文化や教材内容が見られるような付録教材が豊富である。	A
⑤	- 各Unitは9ページ程度で構成されている。教科書の見開きで三年間の学習目標と学年目標と各Unitの関連性が明記されている。また、各Unitの扉にも領域と関連させた学習目標が設定されているので、見通しを持って学習することができる。 - 三年間を通して、ダイアログ形式で行われているので、自然な流れで文法事項について学習することができる一方で、扱う英文がダイアログに偏っており、ゴールの活動への関連性がやや弱い。 「話すこと」について、巻末のRetellingや帯教材のLet's Talkなど、豊富な内容で学習することができる。	B
⑥	- 教科書のダイアログの実写ドラマがあり、臨場感がある。英文が生徒にとってより身近なものに感じられる工夫がある。 - 基本文の解説アニメーションがわかりやすく、自然なやり取りのなかで実際に生徒に発話させるような工夫がある。 - ピクチャーカードの並べ替えや、Let's Talk ルーレットなどで、生徒に画面を操作させることで意欲を高める工夫がある。 - 音声付きの「Extra Story」があり、生徒の学習意欲を高めるとともに、更なる課題や家庭学習として活用ができる。	A
⑦	「人権尊重」「環境」「世界平和」に関する題材が豊富である。 - 言語活動としてはライティングで自分の意見を伝えるものがあるが、発表するなどの活動は比較的少ない。	B

【様式 2】

中学校 種目 外国語（英語） 令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 6

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名	
	新興出版社啓林館（啓林館） BLUE SKY English Course	評 価
①	- 各Unitでは、最初に「Listen」でそのUnitのテーマとなる内容を把握できるようになっており、「Express Yourself」で、各partのTargetを使用して「書くこと」「話すこと」の技能を使って自己表現ができるように設定されている。 「話すこと」「聞くこと」「読むこと」の技能を高めるための活動が通常のUnitの他に設定されている。特にやりとりをする活動が比較的多く、「話すこと」の技能を使って身近な場面での会話が取り上げられている。	A
②	- 各Unitのパートごとにペア活動ができるようになっており、例を参考に自分の気持ちや考えを伝えることができるようになっている。また、Unitの最後には「Listen and Think」があり3 stepでミニスピーチを作ることができるようになっている。 - リスニングやライティングの箇所が3 stepで構成されており、最後には自分の考えを表現する内容になっている。 - 学期末に行う「Project」があり、3 stepで思考ツールを使いながら自分の考えをまとめグループなどで発表をするように設定されている。	A
③	- 各単元の紙面のうち、文法事項の学習のために多くの部分が割り当てられており、基礎的な内容から応用問題まで段階的に学習の積み上げができるようになっている。 「Project」では、あくまでも生徒自らが情報を収集したり、考えをまとめたりするための手順を示すことに重点を置き、主体的な学びのための例示に徹している。 - 学習段階に応じた「英語の学び方」のページが設定されており、生徒が自学自習を進めるための手立てが講じられている。	A
④	1年生の教科書の巻頭に小中接続の特設ページがあり、小学校での学びを振り返ることができる。また、小学校での表現を1年生のUnitを通して文法的に整理できる。 - 絵やイラストは親しみやすいものが多く、配置も適切である。 - 中学生の興味を引く英語の歌が豊富に掲載されている。 - 基本文はページの下部にわかりやすく掲載されている。基本文のドリルもイラスト付きで場面がイメージしやすい。 - コラムや付録としての題材の解説やイラストの代わりに、様々な写真が用いられているためイメージがしやすい。	A
⑤	- 各Unitは7, 8 ページで構成されているが、3 年は10ページ程度の構成である。Unit数はやや多めであるが、各Unitだけでなく、小中接続期やLet's～にも学習目標が明記されており、それに応じた単元末の学習活動が設定されている。また、教科書の巻末資料に文法事項をまとめたページや、学習の振り返りが確認できるCAN-DO Listが用意されている。 - 単元の終わりに「Focus on Form」で既習事項の文法についてまとめた箇所が多い。 - 学期末に設定されているProjectでは、単元のまとまりでの学習を復習できる。 - 第3学年のNew Wordsの量が多く生徒に負担感を与える恐れがある。	B
⑥	- アニメーション映像やスライドショー映像があり、生徒の内容理解の視覚支援ができる。 - 新出語句は、クリックすると和訳が出てくる工夫があり、発音と意味の習得ができるようになっている。 - 文法事項の説明は丁寧であり、生徒の家庭学習を支援するものであるが、実際に発話をさせるような場面がほしい。 - デジタル教科書ならではの機能はQRコードから入ることが多く、操作性という部分での工夫が求められる。	B
⑦	「環境問題」「世界平和」「多様性」についての題材を扱っているが、環境問題に関するものがやや多めである。 - 読み物と関連させて、現代の課題に関する自分の考えを発表したり、自分で調べてプレゼンしたりするなどの活動が設定されている。	A

【様式 3】

中学校 種目 外国語（英語）

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 1

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	東京書籍 (東書)	- 各UnitのActivityで新出文法の定着をはかっている。特に、「話すこと」「書くこと」の観点で自己表現をするようになっており、学習者の活動を通して、定着をはかっている。 - いくつかのUnitのまとめとして、「Stage Activity」という技能統合的な活動が設定されており、それまでの学習内容を基にした自己表現活動ができる。テーマに沿った情報の収集や整理を行った上で、考えのまとめ方や参考となる表現を示しながら、生徒自身が自分の考えを英文でまとめられるように構成されている。 - 各単元の最初に動画が用意されており、動画によって新出文法の学習に取り組みやすく工夫されている。単元の内容やドリルに関する写真やイラストが豊富で、親しみやすい。 - 各Unitは7～8ページで構成されている。1年生はUnit4までは全てダイアログ形式であり会話の中で既習事項を確認できる。各Unitの扉に目標が明示されており、「Unit Activity」で題材に関連した学習活動が設定されている。巻末に「Unit Activity」の補助教材があり、生徒の主体的な学習を促す工夫がされている。 - デジタル教科書のどの箇所をクリックしても音声の流れ操作性が良い。QRコードからのコンテンツの内容が豊富である。文法解説動画は、実写とアニメのやり取りを取り入れるなどの工夫がみられる。 「人権尊重」「環境」「多様性」について、現代的な課題を題材として取り入れている。関連する題材を読むだけではなく、課題について考え自分の意見を発表する活動が多い。
教科書の 記載番号	英語 002-72 002-82 002-92	
書名	NEW HORIZON English Course	
発行者 (略称)	開隆堂出版 (開隆堂)	- 各PROGRAMの「Scenes for Basic Dialogs」で「聞くこと」「話すこと」「書くこと」の技能を使って文法事項の学習ができるようになっている。また、PROGRAMの最後の「Action」で題材に関連して「読むこと」「書くこと」「話すこと」の技能を使ってアウトプットできるようになっている。 - いくつかのPROGRAMのあとの「Our Project」では学んだ表現を用いた統合的なパフォーマンス活動を行う。テーマに対して最初にモデルが提示され、マッピングなどの手法を用いて学んだ事をまとめたりする構成になっている。 - 教科書の構成がユニークで、「Scenes」は2ページにまたがり、横向きに学習する構成になっている。また、マンガ形式の短い対話で新出表現を理解させる工夫がされている。マンガの対話の中で新出文法は赤字になっており、基本文が視覚的にも分かりやすいが、ドリルなどの新出文法を使った練習がない。 - 小中接続として、場面を表すマンガや動画を見ながら対話のやり取りを聞いたり、巻頭の「Get Ready」でインタビューやすごろくを通したりして楽しく振り返ることができる。 - 単元の初めに、題材に関する学習活動が「Tuning in」として設定されている。また、「Review&Retell」が単元末の活動のActionの前にあり、単元の振り返りを行ってから単元末の活動をさせている。 - 単語学習アプリがあり4つの出題パターンで新出単語の自学自習を進めることができる。 「人権尊重」「環境」「世界平和」「多様性」に関する題材が豊富で、それらの題材に関する自分の考えや意見を発表する活動が多い。
教科書の 記載番号	英語 009-72 009-82 009-92	
書名	SUNSHINE ENGLISHCOURSE	

【様式 3】

中学校 種目 外国語（英語）

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 2

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	三省堂 (三省堂)	・文法事項は「聞くこと」「話すこと」「書くこと」の技能を使って学習できるよう工夫されており、次の「Scene」で「読むこと」につないでいる。 ・各PartのSceneごとにペアワーク、自己表現ができるようになっている。パートの終わりごとに「Small Talk」と「Goal Activity」が設定されている。「Small Talk」では即興で伝え合う力を養えるように「Tips!」があり、生徒の活動の助けとなっている。 ・相手の話を聞く力や即興で伝え合う力を養うため、場面設定を明確に行い、ペアワークをする「Take Action」がある。巻末には、「Role Play Sheet」があり、それぞれの場面が細かく設定されており、生徒はなりきって演じることができる ・いくつかの単元をまとめて「Project」を設定し、自分なりの考えを英文でまとめて発表する活動が組まれている。チャート式になっている活動ではアイデアを構成しやすいように例が示されたり、表を用いて考えをまとめたりできるようになっている。 ・単元ごとの文法事項をまとめた「Language Focus」では、言語材料の場面や状況が分かりやすく伝わるようにイラストや漫画が用意されている。 ・「人権尊重」「世界平和」「環境」などについて扱っている。それに関する言語活動の設定がやや少ないように感じる。
教科書の 記載番号	英語 015-72 015-82 015-92	
書名	NEW CROWN English Series	
発行者 (略称)	教育出版 (教出)	・各Lesson内にある「Key Sentence」のパターン練習を行ったうえで、聞く活動や話す活動が設定されている。 ・学期末に行う「Project」では、ある情報をもとに自分自身の考えを書いたり発表したりすることができる。その際、思考ツールのマッピングなどを使いながら自分の考えを整理することができるようになっている。 ・イラストや写真の配置が適量で、重要箇所への配色が工夫され、視覚支援がされているが中学生にとって身近な写真は少ない。特に、1年生の教科書のUnit 1～2はマンガ風に英語を提示し、小学校から中学校への学習の滑らかな接続がされている。 ・Taskの後に「Grammar」があり、各Lessonでの文法事項の復習をすることができる。 ・単元間の学習活動にTipsなどが設定されているが、その量がやや多い。また、学期ごとのまとめであるProjectの内容と、それまでの学習との関連性がやや弱い。 ・デジタル教科書のリーディングに関する機能が充実している。本文のカラオケ表示、新出単語マスク機能、スラッシュ機能、音声速度などの調整が容易である。また、新出語句は、フラッシュカード機能や英訳・和訳のマスクつけ外し機能があり生徒の自主的な学習に効果的である。 ・「人権尊重」「環境」「世界平和」「多様性」についての題材が豊富でバランスがよい。各単元に設定されているタスクはわかりやすい。3年生ではフードロスについてのディベート活動が設定されており、自分の意見を発表するような言語活動が設定されている。
教科書の 記載番号	英語 017-72 017-82 017-92	
書名	ONE WORLD English Course	

【様式 3】

中学校 種目 外国語（英語）

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 3

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	光村図書出版 (光村)	・Unitの各パートにおいて、本文で「聞くこと」「読むこと」の活動をし、基本文で使用している文法事項を「聞くこと」「話すこと」「書くこと」の順で学習するようになっている。 ・「Let's Talk」では年間を通じて、即興で「話すこと（やりとり）」の練習ができるようになっている。 ・学期末には「You can do it!」があり、技能統合型の活動を行うことができる。生徒は自分の考えをまとめ、表現、発表するようになっており、思考力、判断力、表現力を養うことができる。 ・各学年の最後に「学び方ガイド」のページがあり、生徒が自学自習を進めるに当たって、非常に有益である。学習者の立場に立ったQ and A形式になっており、どの生徒にもわかりやすいつくりになっている。 ・写真やイラストは柔らかな印象で見やすく、中学生にとって身近なものや親しみやすいものが多く掲載されている。また、表や図も実生活と結びついておりリアリティを感じる。1年生の教科書のUnit 1～3まではマンガを使った導入で、新出文法が実際の場面で使用されているので親しみやすい。 ・三年間を通して、ダイアログ形式で行われているので、自然な流れで文法事項について学習することができる一方で、扱う英文がダイアログに偏っており、ゴールの活動への関連性がやや弱い。 ・教科書のダイアログの実写ドラマがあり、臨場感がある。英文が生徒にとってより身近なものに感じられる工夫がある。基本文の解説アニメーションがわかりやすく、自然なやり取りのなかで実際に生徒に発話させるような工夫がある。 ・「人権尊重」「環境」「世界平和」に関する題材が豊富である。
教科書の 記載番号	英語 038-72 038-82 038-92	
書名	Here We Go! ENGLISH COURSE	
発行者 (略称)	新興出版社啓林館 (啓林館)	・「話すこと」「聞くこと」「読むこと」の技能を高めるための活動が通常のUnitの他に設定されている。特にやりとりをする活動が比較的多く、「話すこと」の技能を使って身近な場面での会話が取り上げられている。 ・「Project」では、あくまでも生徒自らが情報を収集したり、考えをまとめたりするための手順を示すことに重点を置き、主体的な学びのための例示に徹している。 ・学習段階に応じた「英語の学び方」のページが設定されており、生徒が自学自習を進めるための手立てが講じられている。 ・基本文はページの下部にわかりやすく掲載されている。基本文のドリルもイラスト付きで場面がイメージしやすい。また、コラムや付録としての題材の解説やイラストの代わりに、様々な写真が用いられているためイメージがしやすい。 ・単元の終わりに「Focus on Form」で既習事項の文法についてまとめてある箇所が多い。 ・デジタル教科書ではアニメーション映像やスライドショー映像があり、生徒の内容理解の視覚支援ができる。新出語句は、クリックすると和訳が出てくる工夫があり、発音と意味の習得ができるようになっている。 ・「環境問題」「世界平和」「多様性」についての題材を扱っているが、環境問題に関するものがやや多めである。読み物と関連させて、現代の課題に関する自分の考えを発表したり、自分で調べてプレゼンしたりするなどの活動が設定されている。
教科書の 記載番号	英語 061-72 061-82 061-92	
書名	BLUE SKY English Course	

令和 6 年度教科用図書第二採択地区調査委員会 報告書

令和 7 年度使用 中学校 種目 特別の教科道徳

提出書類	別添	様式 1 (1) 枚
		様式 2 (4) 枚
		様式 3 (4) 枚

【様式 1】

中学校 種目 特別の教科 道徳 令和7年度使用教科用図書調査研究観点 第二採択地区

項目	観 点		観点の内容	
1 内 容 の 取 扱 い	A	知識及び技能	①	・読み物教材以外の、道徳的価値の理解を深める教材が適切に設定されているか。 (例) コラム、先人の名言等を取り上げている箇所
			②	・生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応(情報モラル)等の現代的な課題などに関する内容等に工夫や配慮がされているか。 (「多様性の尊重」「人権尊重」「世界平和」「いじめ」「環境」を除く)
	B	思考力・判断力・表現力等	③	・物事を多面的・多角的に考えるための学習活動が進められるよう、教材に工夫や配慮がされているか。(例) 友達のいいところ見つけ等、多様な考えが生まれる活動
			④	・多様な考え方を生かすための言語活動が進められるよう、書き込み部分や話し合い活動を具体的に設定した部分に工夫や配慮がされているか。
	C	学びに向かう力・人間性等	⑤	・自らを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりできるよう、教材に工夫や配慮がされているか。
			⑥	・道徳科と各教科等との関連を持たせた指導、日常生活における実践につなげることができるよう、教材に工夫や配慮がなされているか。
2 か 資 料 わ ・ 学 構 習 成 指 導 に		教材・資料の構成等について	⑦	・ユニバーサルデザインの視点から適切な配慮がされているか。 ・図や写真のバランスよく入っており、文字の大きさが適切であるか。 ・分量や重さ、大きさが適切であるか。 ・二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツは理解を深める内容になっているか。
3 地 第 区 二 観 採 点 択		「多様性の尊重」、「人権尊重」、「世界平和」、「いじめ」「環境」等の現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているか	⑧	・主に「多様性の尊重」、「人権尊重」、「世界平和」、「いじめ」「環境」等の現代的な課題が具体的に記載され、学習を深める工夫や配慮がされているか。

【様式2】

中学校 種目 特別の教科道徳

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 1

観点 番号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名			
	東京書籍（東書） 新編 新しい道徳	評 価	教育出版（教出） 中学道徳 とびだそう未来へ	評 価
①	・コラム「Plus」では、心温まる話やソーシャルスキル、キャリア教育や防災など様々なジャンルが取り扱われ、テーマを深化・拡充させる充実した内容となっている。防災のコラムでは、災害に備えるための知識が得られるよう工夫されている。	A	・コラム「ひろば」では、コミュニケーションや持続可能な社会、情報モラルについて全学年で掲載されている。「やってみよう」では、直前の教材に関連した役割演技やリフレーミングなどの体験的な学習を取り入れている。	B
②	・情報モラルや防災等を現代的な課題として取り上げ、様々な角度から内容項目と結び付けて考えられるように工夫されている。その他、ごみ問題や高齢者問題、自然との共生などについても幅広く取り扱っている。	B	・SDGsや情報モラル、生命の尊さなど、現代的な課題について幅広く扱われており、防災や多様性を取り上げている教材では、学んだことを実生活につなげて考えられるように工夫されている。	B
③	・コラム「Plus」では、役割演技やグループ学習で共に学びながら問題の発見・解決ができるように設定されており、生徒の多様な考えが生まれるよう工夫されている。学習の流れや発問も明確である。	A	・「やってみよう」のページでは、役割演技をすることで、お互いの心情を考えやすくなるよう設定されている。「学びの道しるべ」では、考えを深める問いが示されており、自分以外の立場や心情に目を向けさせる工夫がされている。	B
④	・各教材の「つぶやき」の欄やユニット教材に設けられている書き込み欄に自分の考えをまとめたり整理したりして記述することができ、気づきや変容を確認したり、仲間と自分の考えを比較したりすることができるよう工夫されている。	B	・「ひろば」のページの中にある書き込み欄や教材の中の書きこみ欄に、自分の考えを整理するとともに、他の人の意見や考えを比べたりすることで、多様な意見について考えられるよう工夫されている。	B
⑤	・巻末に付されたワークシートで学期ごとの振り返りができ、コラムや終末の補助発問で、自身を振り返りつつ課題や目標に迫ることができる。活動や振り返りのために、分量を調整し朗読時間を削減するなどの工夫がある。	B	・巻末に「道徳科の学びを振り返ろう」のページで、毎学期や1年間の振り返りができるようになっている。コラムに自身を見つめたり振り返ったりする項がある。付された自己評価シートの項目によってはスペースが十分でない。	B
⑥	・登場人物に自我関与できるよう挿絵や漫画等を大胆に配置し、自身や生活との結びつきを明瞭に視覚化している。教材終末の「見つめよう」では日常生活につなげる発問がある。巻末の教材一覧表により各教科等との関連をまとめている。	A	・教材の初めには、日常を振り返る発問が掲載されており、終末の「学びの道しるべ」には学習したことを実生活にどのようにつなげていくかを考える発問が明快に設定されている。巻末に内容項目一覧により各教科等との関連をまとめている。	A
⑦	・平均197ページ、AB判。左右見開きページで単元が変わることがある。上下二段組になっている教材がある。 ・全ての教材冒頭に二次元コードがあり、朗読音声で内容に没入できる。リンク先でデジタルコンテンツを一覧できる。映像資料や漫画資料で学びを深化でき、「デジタル心情円」で思いを視覚化できるなど内容が充実している。	A	・平均194ページ、B5判。左右見開きページで単元が変わることはない。上下二段組になっている教材がある。 ・全ての教材に二次元コードがあり、教材のあらすじを確認できるようになっており、事前学習に役立てることができる。教材によっては補足資料があり、関連サイトにリンクしている。	B
⑧	・現代的な課題について、読み物教材以外の多様な教材から様々な価値観を学べるように配置されている。「いじめ」と「いのち」については、3年間系統的に学ぶことができるよう各ユニットの学習時期が3学年で統一されている。	B	・いじめや人権、平和等の現代的な課題について、「いじめをなくそう」「つながり合って生きる」「いのちをかがやかせる」は、2つの教材とコラムでユニットを組み、全学年を通して学ぶ機会が設定されている。	B

【様式 2】

中学校 種目 特別の教科道徳

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 2

観点 番号	発 行 社 (略 称) と 書 名			
	光村図書出版 (光村) 中学道徳 きみがいちばんひかるとき	評 価	日本文教出版 (日文) 中学道徳 あすを生きる 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート	評 価
①	・人権問題と環境については、各学年でコラムとして取り上げており、SDGsとの関連で示されている。またすべての学年の付録で伝統文化の尊重を特集として取り上げており、重点的に学べるよう工夫が見られる。	B	・コラム「明日へのメッセージ」では、様々な分野で活躍する人物からのメッセージが掲載されており、その他にも「視野を広げて」「学びを深めよう」で、学んだ道徳的価値についてさらに考えを深められるような工夫がされている。	A
②	・テーマごとにユニットとして2～6つの教材をまとまりにしており、単発ではなく関連を持たせて考えられるようになっている。情報モラルについては身近な例から実生活につなげて考えられるよう工夫されている。	B	・ユニット「よりよい社会を考える」では、現代的な課題について2～3の教材をまとめて学習できるように編成されている。また、複数回に分けて学ぶ計画になっており、期間を空けて道徳的価値について繰り返し考えられるよう工夫されている。	B
③	・「やってみよう」や「チャレンジ」のページでは、役割演技で異なる立場の心情を考えられるよう設定されている。また、生徒自ら問いを立て、話し合いながら考えられるよう、流れや発問が明確に示されている。	A	・「学びを深めよう」のページでは、教材を追体験できるような具体的な道徳行為の場面設定や、役割演技、話し合いを通して多様な考えに触れられるよう工夫がされている。また活動をさらに深めるための様々なヒントも掲載されている。	B
④	・教材の終末の「考えよう」や「見方を変えて」、「まなびをプラス」では、教材で学んだことをさらに深め、多様な視点から考えられるような発問の工夫がされている。また、学習の手順が示されている。	B	・別冊道徳ノートがあり、書き込み欄が充実している。発問に対する自分の考えを記入した後、友達の考えや気づいたことを記入できる「自分にプラスワン」の欄や「自由欄」を設けるなど、多様な考えを生かす工夫がされている。	A
⑤	・巻末の「まなびの記録」に1年間のめあてと振り返りを記入したり、毎時間の振り返りを記入したりできる。1年で自分が成長したと思うことを「道徳で学ぶ22のキーワード」と関連して記入できるよう工夫されている。	B	・別冊道徳ノートで記録が一冊にまとまっているため、生徒自身も学びの跡を実感しやすい。また毎時間の「自分への振り返り」の欄や学期末の振り返りのページでは、自身の成長や変化を記入することができる構成となっており、充実している。	A
⑥	・教材の終末に設けられた「つなげよう」という補助発問では、学習内容を実生活につなげて考えることができるよう工夫がされている。巻末の「この教科書が目指した姿」により各教科等との関連をまとめている。	B	・コラム「視野を広げて」にも関連教科が明記されており、生徒にも伝わりやすい工夫がされている。教材終末の「自分にプラスワン」では、学んだことを前向きに生かすための発問が掲載されており、実践につながるよう工夫されている。	A
⑦	・平均189ページ、B5判。左右見開きページで単元が変わることがある。上下二段組になっている教材がある。 ・二次元コードが付されている教材があり、主に心情を考える読み物教材には朗読が掲載されている。その他、資料や動画が掲載されているものもあり、解説・映像資料は整然としている。	B	・平均184ページ、B5判。左右見開きページで単元が変わることはない。全ての教材でタイトルの下に登場人物の写真やイラストがあり、内容理解の助けとなっている。 ・どの教材にも二次元コードが付されており、朗読とワークシート、道具箱 (シンキングツール) のデジタルコンテンツが豊富に用意されている。生徒の興味を引くような写真や動画、人物の紹介、外部サイトへのリンクがあるなど充実している。	A
⑧	・いじめ、人権等の現代的な諸課題について教材やコラム、チャレンジなど多様な教材から考えられるようユニットを組んでいる。学年間の系統性も考えながら、やってみようでは対人関係のスキルを高める支援についても掲載されている。	B	・ユニット「いじめと向き合う」を、各学年複数回、実施時期を考慮して配置されている。学年間の系統性を考えながら直接的・間接的教材を用いて人権に関する知識やスキルを身に付けさせる工夫があり、充実している。多様性や環境、共生等についてもユニット「よりよい社会を考える」で取り上げられている。	A

【様式 2】

中学校 種目 特別の教科道徳

令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 3

観点 番号	発 行 社 (略 称) と 書 名			
	Gakken (学研) 新版 中学生の道徳 明日への扉	評 価	あかつき教育図書 (あか図) 中学生の道徳	評 価
①	・教材の内容項目に関連した「クローズアップ」では生徒に興味をもたせられるよう幅広い人選によるコラムや多様な意見、関連情報などがまとめられており、道徳的価値を深めることができるようになっている。	B	・コラム「Thinking」では、補助資料として授業の終末や事後に読むことで思考を深める工夫がされている。「SDGsの視点から」と「ふるさとに学びをひろげよう」は全学年にあり、生徒の視野を広げることにつながる工夫がされている。	B
②	・現代的な課題であるSDGs、多様性、キャリアの学習を重点としており、内容項目の異なる複数の教材で連続して学べるよう、ユニットとして配置されている。	B	・全ての学年でキャリア、情報モラルについて複数の教材をまとめて考えるユニットが生まれ、3年間の学びがつながるように工夫されている。2・3年ユニット「共に生きる社会」では共生について考える機会になっている。	B
③	・「深めよう」のページでは、役割演技や話し合いを通して、異なる立場や新たな考え方を知ることができるよう、「見つけよう」「考えよう」「話し合おう」「生き方につなげよう」の順で学習の手順と発問が明確に示されている。	B	・各学年3教材ずつ「マイ・プラス」のページがあり、体験的学習や役割演技、話し合い活動を通して、多様な見方・考え方ができるような工夫がされている。	B
④	・各教材の「メモ欄」に自分の考えを整理したりまとめたりすることができ、それをもとに話し合いにつなぐことができるよう工夫されている。	B	・教材ごとに「自分を見つめて考える」「いろいろな見方で考える」「考えを深める」等の発問があり、自分自身のことと異なる立場の意見と多様な考え方ができる工夫がされている。それらの後に「自分との対話」の発問がある。	B
⑤	・巻末には、日々の授業について気づいたことを記録する「学びのメモ」や学期ごとに振り返る「学びの記録」のページが設けられており、生徒自身が成長を実感したり、道徳的価値に気づけたりできるように設定されている。	B	・巻末に各学期や1年間の振り返りができるよう「学習の記録」のページが設けられており、成長を実感したり、これからの生活に生かしたいことが記入できるよう設定されているが、毎時間考えたことを記録に残すワークシート等のツールがない。	B
⑥	・教材「考えよう」の欄には2つの発問があり、実生活につなげるにはどうすればよいかを考えられるような発問が示されている。コラム「クローズアップ」でさらに内容を深め、日常生活との関連を持たせている。	B	・教材終末の「自分との対話」の欄には自分自身を振り返ることができるよう工夫されている。「マイ・プラス」のページでは、具体的な活動場面を設定して、日常生活での実践につなげる工夫がされている。巻末の内容一覧により各教科等との関連をまとめている。	B
⑦	・平均184ページ、AB判。左右見開きページで単元が変わることはない。上下に二段組になっている教材がある。欄外に注釈等の説明があり、教材理解に配慮が見られる。 ・10教材程度に二次元コードがついており、動画、写真、年表、ワークシートのいずれかが掲載されている。	B	・平均184ページ、B5判。左右見開きページで単元が変わることがない。図や写真も整然としており、見やすい印象がある。読み物教材には登場人物のイラストによる説明があり、内容理解の助けになっている。 ・二次元コードにより、外部サイトに移ることができる。コンテンツがあるものは、導入・終末・資料の動画もある。	A
⑧	・「いのち」を最重要テーマに設定し、全学年で3教材取り扱われている。「いのちを尊び、いじめを生まない」という考えである。多様性については、福祉やLGBTQの視点から考えを深めるよう工夫されている。	B	・全ての学年で「いじめを考える」という、複数の教材をまとめて考えるユニットが組まれており、3年間の学びがつながるように工夫されている。現代的な課題についてはユニット化され、役割演技や話し合いを取り入れるなど工夫されている。	B

【様式 2】

中学校 種目 特別の教科道徳 令和7年度使用教科用図書観点別評価

第二採択地区 No. 4

観 点 番 号	発 行 社 （ 略 称 ） と 書 名				評 価
	日本教科書（日科）				
	道徳 中学校 1	生き方から学ぶ			
	道徳 中学校 2	生き方を見つめる			
	道徳 中学校 3	生き方を創造する			
①					
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

【様式 3】

中学校 種目 特別の教科道徳

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 1

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	東京書籍 (東書)	○情報モラルや防災、ごみ問題や高齢者問題、自然との共生など幅広く現代的な課題を取り上げ、様々な角度から内容項目と結び付けて考えられるように工夫されている。 ○コラム「Plus」では、心温まる話やソーシャルスキル、キャリア教育や防災など様々なジャンルが取り扱われ、テーマを深化・拡充させる充実した内容となっている。
教科書の 記載番号	道徳 002-72 002-82 002-92	○役割演技やグループ学習をとおして問題の発見・解決ができるように設定されており、生徒の多様な考えが生まれるよう工夫されており、学習の流れや発問も明確である。 ○各教材の「つぶやき」の欄やユニット教材に設けられた書き込み欄に自分の考えを記述することができる。 ○巻末のワークシートで学期ごとの振り返りができ、コラムや終末の補助発問で、自身を振り返りつつ課題や目標に迫ることができる。活動や振り返りのために、分量を調整するなどの工夫がある。
書名	新編 新しい道徳	○自我関与できるよう挿絵や漫画等を大胆に配置し、自身や生活との結びつきを明瞭に視覚化している。 ○全ての教材冒頭に二次元コードがあり、リンク先でデジタルコンテンツを一覧でき、豊富な内容である。 ○「いじめ」と「いのち」については、ユニットとして3つの教材を組み合わせ、3年間系統的に学ぶことができるように配置しており、学習時期も統一されている。 ○平均197ページ、AB判。左右見開きページで単元が変わることがある。
発行者 (略称)	教育出版 (教出)	○SDGsや情報モラル、生命の尊さなど、現代的な課題について幅広く扱われており、防災や多様性を取り上げている教材では、学んだことを実生活につなげて考えられるように工夫されている。 ○コラム「ひろば」でも、コミュニケーション、持続可能な社会、情報モラルについて全学年で掲載されている。「やってみよう」では、直前の教材に関連した役割演技や体験的な学習を取り入れている。
教科書の 記載番号	道徳 017-72 017-82 017-92	○「ひろば」の書き込み欄や教材の書きこみ欄で、多様な意見について考えられるよう工夫されている。 ○巻末に「道徳科の学びを振り返ろう」のページで、毎学期や1年間の振り返りができるようになっている。自己評価シートの項目によってはスペースが十分でない。 ○教材の初めには、日常生活を振り返る発問が掲載されており、終末の「学びの道しるべ」には学習したことを実生活にどのようにつなげていくかを考える発問が明快に設定されている。
書名	中学道徳 とびだそう未来へ	○全ての教材に二次元コードがあり、教材のあらすじを確認できるようになっており、事前学習に役立てることができる。教材によっては補足資料があり、関連サイトにリンクしている。 ○いじめや人権、平和等の現代的な課題について、「いじめをなくそう」「つながり合って生きる」「いのちをかがやかせる」をテーマに、2つの教材とコラムでユニットを組み、全学年を通して同時期に学ぶ機会が設定されている。 ○平均194ページ、B5判。左右見開きページで単元が変わることはない。

【様式 3】

中学校 種目 特別の教科道徳

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区

No. 2

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	光村図書出版 (光村)	○テーマごとにユニットとして2～6つの教材をまとまりにしており、関連を持たせて学習できるよう配列されている。情報モラルについて身近な例から実生活につなげて考えられるよう工夫されている。 ○人権問題と環境については、各学年でコラムとして取り上げており、SDG s との関連で示されている。またすべての学年の付録で伝統文化の尊重を特集として取り上げられている。 ○「やってみよう」や「チャレンジ」のページでは、役割演技で異なる立場の心情を考えられるよう設定されている。また、生徒自ら問いを立て、話し合いながら考えられるよう流れや発問が明確に示されている。
教科書の 記載番号	道徳 038-72 038-82 038-92	○教材の終末の「考えよう」や「見方を変えて」、「まなびをプラス」では、教材で学んだことをさらに深め、多様な視点から考えられるような発問の工夫がされている。 ○巻末の「まなびの記録」に1年間のめあてと振り返りを記入したり、毎時間の振り返りを記入したりできる。
書名	中学道徳 きみがいちばん ひかるとき	○教材終末の補助発問「つなげよう」では、学習内容を実生活につなげて考えるよう工夫されている。 ○二次元コードが付されている教材があり、主に心情を考える読み物教材には朗読が掲載されている。 ○いじめ、人権について教材やコラム、「チャレンジ」など多様な教材から考えられるようユニットを組んでいる。「やってみよう」では対人関係のスキルを高める支援についても掲載されている。 ○平均189ページ、B5判。左右見開きページで単元が変わることがある。
発行者 (略称)	日本文教出版 (日文)	○ユニット「よりよい社会を考える」では、SDG s も踏まえ「自立と共生」「環境と未来」をテーマに現代的な課題について2～3の教材とコラムをまとめて学習できるよう編成されている。 ○コラム「明日へのメッセージ」では、様々な人物からのメッセージが掲載され、その他「視野を広げて」「学びを深めよう」で、学んだ道徳的価値についてさらに考えを深められるよう工夫がされている。
教科書の 記載番号	道徳 116-73 116-74 116-83 116-84 116-93 116-94	○「学びを深めよう」では、役割演技、話し合いを通して多様な考えに触れられるよう工夫がされている。 ○別冊道徳ノートでは、記録を一冊にまとめられるため、生徒自身も学びの跡を実感しやすい。また毎時間の「自分への振り返り」の欄や学期末の振り返りのページでは、自身の成長や変化を記入することができる。 ○教材終末の「自分にプラスワン」では、ノートと連動して実践につながるよう工夫されている。
書名	中学道徳 あすを生きる 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート	○どの教材にも二次元コードが付されており、朗読とワークシート、道具箱（シンキングツール）のデジタルコンテンツが豊富に用意されている。外部リンクやコンテンツ間の移動も容易である。 ○「いじめと向き合う」をテーマに、ユニットを編成し、自分事として考えられるよう各学年複数回、実施時期を考慮して配置されている。学年間の系統性を考えながら直接的・間接的教材を用いて知識やスキルを身に付けさせる工夫がある。多様性や環境、共生等についても充実している。 ○平均184ページ、B5判。左右見開きページで単元が変わることはない。全ての教材でタイトルの下に登場人物の写真やイラストがあり、内容理解の助けとなっている。

【様式 3】

中学校 種目 特別の教科道徳

令和7年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 3

教科書		教科書の特色
発行者 (略称)	Gakken (学研)	○現代的な課題であるSDGs、多様性、キャリアの学習を重点としており、内容項目の異なる複数の教材で連続して学べるよう、ユニットとして配置されている。 ○コラム「クローズアップ」では生徒に興味をもたせられるよう幅広い人選による多様な意見や関連情報などがまとめられており、道徳的価値を深めることができるようになっている。 ○「深めよう」のページでは、役割演技や話し合い活動を通して、異なる立場や新たな考えを知ることができるよう学習の手順と発問が示されている。
教科書の 記載番号	道徳 224-72 224-82 224-92	
書名	新版 中学生の道徳 明日への扉	
発行者 (略称)	あかつき教育図書 (あか図)	○10教材程度に二次元コードがついており、動画、写真、年表、ワークシートのいずれかが掲載されている。 ○「いのち」を最重要テーマに設定し、「いのちを尊び、いじめを生まない」という考え方で、全学年で3教材取り扱われている。多様性については、福祉やLGBTQの視点から考えを深めるよう工夫されている。 ○平均184ページ、AB判。左右見開きページで単元が変わることはない。欄外に注釈等の説明がある。
教科書の 記載番号	道徳 232-73 232-83 232-93	
書名	中学生の道徳	
		○全ての学年で「キャリア」「情報モラル」を複数の教材にまとめてユニットが組まれ、3年間の学びがつながるよう工夫されている。2、3年では「共生」についてもユニットが組まれている。 ○コラム「Thinking」では、補助資料として授業の終末や事後に読むことで思考を深める工夫がされている。巻末「SDGsの視点から」「ふるさとに学びをひろげよう」では、生徒の視野を広げる工夫となっている。 ○各学年3教材ずつ「マイ・プラス」のページがあり、体験的学習や役割演技、話し合い活動を通して、多様な見方や考え方ができるよう工夫されている。また、学んだことを日常生活で生かせるよう工夫がされている。 ○教材終末に「自分を見つめて考える」「いろいろな見方で考える」「考えを深める」等の発問があり、自分と異なる立場の意見と多様な考え方について学べるよう工夫されている。 ○巻末に各学期や1年間の振り返りができるよう「学習の記録」のページが設けられている。毎時間考えたことを記録に残す欄やワークシート等のツールがない。 ○二次元コードにより外部サイトに移ることができる。導入・終末・資料の動画がある。 ○全ての学年で「いじめを考える」という、複数の教材をまとめて考えるユニットが組まれており、3年間の学びがつながるように工夫されている。2、3年では「共に生きる社会」についてユニット化されている。 ○平均184ページ、B5判。左右見開きページで単元が変わることがない。図や写真も整然としており、読み物教材には登場人物のイラストによる説明がある。

【様式 3】

中学校 種目 特別の教科道徳

令和 7 年度使用教科用図書調査研究結果

第二採択地区 No. 4

教 科 書		教 科 書 の 特 色
発行者 (略称)	日本教科書 (日科)	
教科書の 記載番号	道徳 233-72 233-82 233-92	
書名	生き方から学ぶ 生き方を見つめる 生き方を創造する	
発行者 (略称)		
教科書の 記載番号		
書名		